



地方独立行政法人
神奈川県立病院機構
Kanagawa Prefectural Hospital Organization

令和元年度

神奈川県立

足柄上病院年報

令和2年9月

足柄上病院の病院理念

1 「あ」：安全で安心な医療を提供します。

医療事故防止、診療情報の提供

1 「し」：社会の要請を担う政策医療を展開します。

救急医療、小児医療、HIVを含む感染症医療

1 「か」：患者中心の医療を実践します。

インフォームド・コンセントの徹底、患者満足度の高い医療、患者の権利擁護

1 「み」：魅力ある自立した病院を目指します。

患者さんにとっても、医療従事者にとっても経営的にも、環境面でも

患者権利章典

医療は誰の為にあるのか、何の為にあるのかを深く認識し、常に患者さんサイドに立った医療の実践を目指して、患者さんの権利に関して県立足柄上病院は次のことがらを大切に考え行動します。

1 平等で公正な医療を受ける権利

患者さんは医療を受けるにあたり、人格、価値観、人生観、死生観が尊重され、差別なしに良質な医療を受ける権利があります。患者さんは人権、国籍、信条、宗教、社会的地位等を問わず、平等で公正な医療を受ける権利があります。

2 選択の自由の権利

患者さんはいずれの医療機関でも保健サービス機関でも自由に選択し、又変更する権利があります。患者さんは、いかなる治療段階でもセカンド・オピニオン(他の医師の意見)を受ける権利があります。

3 自己決定権

患者さんは誰でも十分なインフォームド・コンセントの後に、自分の受ける全ての医療に関し、選択の自由(インフォームド・チョイス)が保障され自分で決定する権利があります。

4 プライバシーの保護を受ける権利

患者さんは一人の人間としてその人間が尊重され、個人情報・秘密が保持され、その人の私生活がみだりに第三者にさらされず乱されない権利があります。

5 情報を得る権利

患者さんは自分の医療上のいかなる情報も受ける権利、健康状態に関し十分な説明を受ける権利があります。

6 健康教育を受ける権利

患者さんは疾病やその治療法、保健、予防等について学習する権利があります。

7 医療参加の権利

医療は患者さんと医療提供者とが信頼関係に基づき協力して作り上げていくものです。患者さんは誰でも最適な医療が実践されるよう主体的に医療に参加する権利があります。

8 どんな状況下でも、適切な判断の下に意思が尊重され支援される権利

最善の努力をしても時として病気が進展して治癒が期待できない状況下となることがあります。そのような場合、患者さんの意思と最良のQORを得る努力が尊重され、強く支援される権利があります。

目 次

第1章 病院の概況

1	位置等	1
(1)	位 置	1
(2)	県の人口と世帯数	2
(3)	神奈川県立病院一覧	3
2	沿革等	4
(1)	沿 革	4
(2)	各種学会認定状況	5
(3)	承認事項等	5
3	機 構	9
(1)	組 織	9
(2)	職種別配置表	10
(3)	院内各種会議	11
4	令和元年度の職員の状況	12
(1)	年度当初現員数	12
(2)	病床100床当たりの部門別職員数	12
(3)	部門別1人1日平均取扱患者数	13
5	診療体制	14
(1)	開設の許可・承認等	14
(2)	診療体制	15
(3)	使用料及び手数料（中期計画第9）	15
6	配置図	16
7	施設の概況	17
(1)	土 地	17
(2)	建 物	17
(3)	設 備	18

第2章 経理の状況

(1)	収益・費用の構成	22
(2)	収 益	23

(3) 費用	23
(4) 経営分析状況	24

第3章 患者の概況

(1) 年齢別患者数	25
(2) 地域別患者数	26
(3) 診療科別患者数	27
(4) 診療科別入院・外来患者及び収益の状況	28
(5) 診療科別月別患者数	31
(6) 病棟別患者数の状況	33
(7) 稼動状況	33
(8) 救急患者取扱状況	34
(9) 年度別に見た診療科別救急患者	34
(10) 年度別に見た事由別救急患者	34
(11) 患者死亡件数	34

第4章 業務の状況

1 栄養管理科業務	35
(1) 病棟別栄養アセスメント結果	35
(2) 入院前の栄養評価	35
(3) 栄養相談	35
(4) 給食実施状況	36
(5) 食種別構成比率	36
(6) ランチ講習会	36
2 手術	37
(1) 総手術件数	37
(2) 麻酔別手術件数	37
(3) 分娩件数	37
(4) 各診療科手術件数	38
3 内視鏡	41
(1) 内視鏡検査件数	41
(2) 内視鏡処置件数	41
(3) 泌尿器科外来検査件数	41
4 リハビリテーション科業務	42
(1) ア 診療科別実数	42

イ 令和元年度診療科別実数割合	43
(2) 訓練業務の推移(延件数・単位)	43
(3) 実習生受入状況	44
5 放射線技術科業務	45
(1) 月別X線撮影実績(人数及び件数)	45
(2) X線撮影実績(人数及び件数)	47
(3) 時間外救急実績(人数及び件数)	47
(4) 高度医療機器共同利用実績(人数)	47
6 検査技術科業務	48
(1) 臨床検査件数(大分類)	48
(2) 緊急検査(土日祝日・時間外)件数	48
(3) 委託	48
(4) 血液製剤使用量	48
(5) 院内研修等	48
(6) 実習生受入状況	48
(7) 月別臨床検査数	49
7 薬剤科業務	51
(1) 処方箋発行状況	51
(2) 薬効別使用状況	51
(3) 製剤数	51
(4) 麻薬使用量(麻薬年間届の数量)	52
(5) 注射薬	53
(6) 採用品目数	53
(7) 後発品移行状況(後発品採用品目数)	53
(8) 医薬品情報(DI)業務	53
(9) 薬剤管理指導業務	53
(10) 薬剤管理指導・関連業務収益	54
(11) 無菌製剤業務(抗がん剤混合等)	54
(12) 実習生受入状況	54
8 地域医療センター業務	55
【地域医療連携室】	55
(1) 地域医療連携室業務実績の推移と地域活動の状況	55
(2) 診療科別紹介患者(受け)件数	56
(3) 診療科別紹介患者(出し)件数	57
(4) 診療科別紹介患者報告率	57
(5) 紹介率の推移	58
(6) 逆紹介率の推移	58
(7) 紹介患者(受け)年齢別件数	58

(8) 紹介患者（受け）地域別件数	59
(9) 相談依頼受付状況	59
(10) 神奈川県在宅難病患者受入病床確保事業・受入状況	60
(11) 患者さん相談室活動状況	61
【入退院支援センター】	63
【在宅療養支援部門】	66
【救命救急部門】	66
9 看護局業務	67
(1) 看護局ミッション	67
(2) 看護局ビジョン	67
(3) 令和元年度看護局目標	67
(4) 令和元年度看護局目標評価	67
(5) 看護外来業務	68
(6) 令和元年度研修・実習実績	69
院内研修実績	69
学会・院内研修参加実績	71
研修等受入実績	76
施設見学等受入実績	77
かもめのたまご計画(就職前支援)開催実績	77
復職支援研修開催実績	78
看護学実習受入実績	79
10 助産関連業務	80
11 各種活動報告	81
(1) 感染症対策会議（感染管理室）活動報告	81
(2) 医療安全推進活動報告	83
(3) クリニカルパス検討会議	86
(4) 災害医療対策室	87
(5) 褥瘡対策会議	88
(6) ボランティア活動報告	88
(7) 臨床病理検討会（CPC）	89
(8) 「医学講座」・「出前講座」	89
第5章 研究等	90

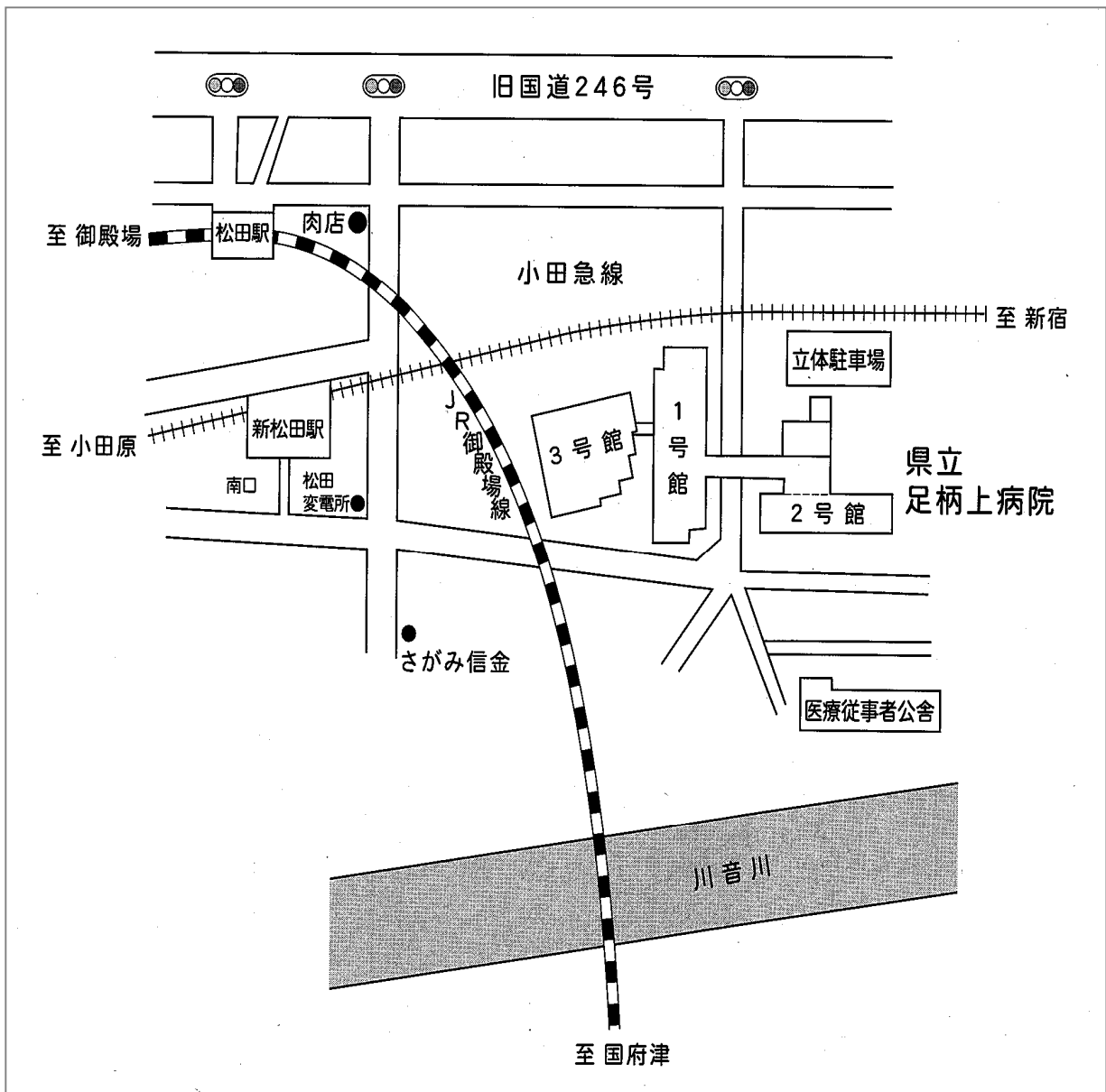
第 1 章 病院の概況

1 位 置 等

(1) 位 置

足柄上病院は県西地域に位置し、西に富士山を仰ぎ、箱根外輪山から丹沢連峰に連なる美しいやまなみに抱かれ、川音川の流れ近くにあります。

当地は温暖で、みかんやお茶などの産地として知られ、また、小田急線と J R 御殿場線が交差しており、当病院は両線の駅からいずれも徒歩10分以内という便利なところにあります。

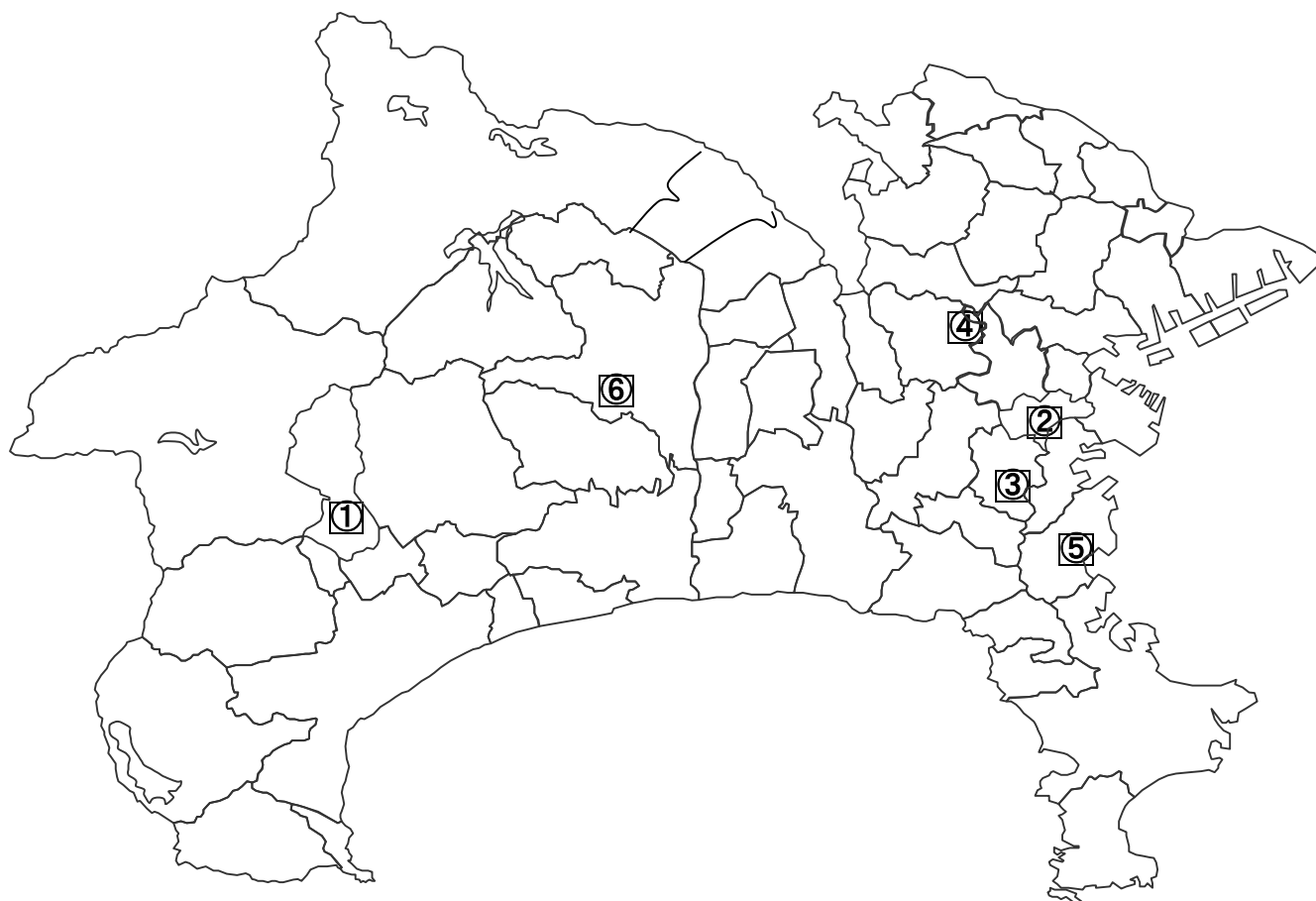


- 1 小田急「新松田駅」下車徒歩 5 分
- 2 J R 御殿場線「松田駅」下車徒歩約 1 0 分

(2) 県の人口と世帯数

市 区 町 村	平成31年4月1日(A)			平成30年4月1日(B)			比較増減(A-B)		
	世帯数	人口	1世帯当たり人員数	世帯数	人口	1世帯当たり人員数	世帯数	人口	1世帯当たり人員数
県 計	4,137,738	9,180,510	2.22	4,088,341	9,161,113	2.24	49,397	19,397	-0.02
市部 計	4,018,689	8,891,819	2.21	3,970,047	8,871,010	2.23	48,642	20,809	-0.02
郡部 計	119,049	288,691	2.42	118,294	290,103	2.45	755	-1,412	-0.03
横浜市	1,700,306	3,741,317	2.20	1,680,768	3,731,706	2.22	19,538	9,611	-0.02
川崎市	734,501	1,522,241	2.07	722,881	1,509,887	2.09	11,620	12,354	-0.02
相模原市	325,018	721,910	2.22	321,067	722,334	2.25	3,951	-424	-0.03
横須賀市	167,028	394,060	2.36	166,869	397,736	2.38	159	-3,676	-0.02
平塚市	111,427	257,499	2.31	110,410	257,962	2.34	1,017	-463	-0.03
鎌倉市	74,622	172,321	2.31	73,939	172,194	2.33	683	127	-0.02
藤沢市	189,394	433,060	2.29	186,157	429,317	2.31	3,237	3,743	-0.02
小田原市	81,444	190,454	2.34	80,764	191,325	2.37	680	-871	-0.03
茅ヶ崎市	102,286	241,723	2.36	101,149	241,532	2.39	1,137	191	-0.03
逗子市	24,587	56,950	2.32	24,561	57,218	2.33	26	-268	-0.01
三浦市	17,528	42,840	2.44	17,485	43,469	2.49	43	-629	-0.05
秦野市	71,597	164,998	2.30	70,978	165,560	2.33	619	-562	-0.03
厚木市	99,669	224,655	2.25	98,638	225,194	2.28	1,031	-539	-0.03
大和市	107,200	236,078	2.20	105,574	235,357	2.23	1,626	721	-0.03
伊勢原市	45,310	102,248	2.26	44,809	102,416	2.29	501	-168	-0.03
海老名市	56,673	132,889	2.34	55,658	131,950	2.37	1,015	939	-0.03
座間市	58,778	130,160	2.21	57,663	129,387	2.24	1,115	773	-0.03
南足柄市	16,542	42,005	2.54	16,482	42,427	2.57	60	-422	-0.03
綾瀬市	34,779	84,411	2.43	34,195	84,039	2.46	584	372	-0.03
三浦郡葉山町	12,693	31,737	2.50	12,643	31,902	2.52	50	-165	-0.02
高座郡寒川町	19,630	48,273	2.46	19,365	48,138	2.49	265	135	-0.03
中郡	24,010	59,141	2.46	23,949	59,451	2.48	61	-310	-0.02
大磯町	12,617	31,338	2.48	12,602	31,504	2.50	15	-166	-0.02
二宮町	11,393	27,803	2.44	11,347	27,947	2.46	46	-144	-0.02
足柄上郡	24,954	64,911	2.60	24,671	64,999	2.63	283	-88	-0.03
中井町	3,446	9,427	2.74	3,430	9,483	2.76	16	-56	-0.02
大井町	6,457	17,001	2.63	6,360	16,941	2.66	97	60	-0.03
松田町	4,510	10,872	2.41	4,487	10,962	2.44	23	-90	-0.03
山北町	3,838	9,768	2.55	3,840	10,017	2.61	-2	-249	-0.06
開成町	6,703	17,843	2.66	6,554	17,596	2.68	149	247	-0.02
足柄下郡	20,006	42,019	2.10	20,089	42,687	2.12	-83	-668	-0.02
箱根町	6,122	11,191	1.83	6,217	11,433	1.84	-95	-242	-0.01
真鶴町	3,044	6,860	2.25	3,044	6,991	2.30	0	-131	-0.05
湯河原町	10,840	23,968	2.21	10,828	24,263	2.24	12	-295	-0.03
愛甲郡	17,756	42,610	2.40	17,577	42,926	2.44	179	-316	-0.04
愛川町	16,606	39,498	2.38	16,431	39,788	2.42	175	-290	-0.04
清川村	1,150	3,112	2.71	1,146	3,138	2.74	4	-26	-0.03

(3) 神奈川県立病院一覧



地方独立行政法人神奈川県立病院機構 県立病院

- ① 足柄上病院 (松田町)
- ② こども医療センター (横浜市南区)
- ③ 精神医療センター (横浜市港南区)
- ④ がんセンター (横浜市旭区)
- ⑤ 循環器呼吸器病センター (横浜市金沢区)

神奈川県健康医療局所管の
県立病院(指定管理施設)

- ⑥ 神奈川リハビリテーション病院 (厚木市)

足柄上地域医療関係施設数
(令和2年4月1日現在)

	病院	診療所	歯科診療所
南足柄市	2	24	18
中井町	1	8	4
大井町	1	10	7
松田町	1	9	6
山北町	0	6	3
開成町	1	19	10
総数	6	76	48

2 沿 革 等

(1) 沿 革

昭和 20 年 10 月	日本医療団の設置(松田町惣領1191番地の 1 元旅館の建物を改造)
昭和 23 年 4 月	日本医療団設置の医療施設を同医療団解散に伴い県に移管
昭和 25 年 3 月	松田町惣領 315 番地に移転・新築
〃 4 月	県立足柄上病院として一般病床 22 床、伝染・結核病床 22 床、 病床数 44 床をもって発足
昭和 27 年 3 月	第 1・第 2 病棟を新築、一般病床 43 床、伝染・結核病床 22 床、 病床数 65 床
昭和 37 年 12 月	松田町松田惣領 866 番地の 1 (現在地)に移転・新築(本館 2 階建) 病床数 80 床をもって開院
昭和 39 年 8 月	救急指定病院
昭和 41 年 3 月	2 号館病棟を増築。一般病床 120 床、伝染・結核病床 20 床、 病床数 140 床
昭和 48 年 12 月	3 号館完成
昭和 50 年 1 月	総合病院として、稼動病床数 180 床をもって運営を開始
〃 5 月	3 号館 4 階西病棟 30 床を開床。稼動病床数 210 床
昭和 51 年 4 月	伝染病棟 10 床を開床。稼動病床数 220 床
昭和 52 年 1 月	3 号館 5 階西病棟 40 床を開床。稼動病床数 260 床
昭和 53 年 5 月	3 号館 2 階西病棟 40 床を開床。稼動病床数 300 床
平成元年 12 月	1 号館完成
平成 3 年 4 月	3 号館 3 階南病棟 40 床を開床。稼動病床数 340 床
平成 7 年 11 月	エイズの中心的受入病院
平成 10 年 3 月	災害拠点病院指定
平成 11 年 4 月	第二種感染症指定医療機関指定。感染症病床 4 床減、 稼動病床数 336 床
〃 10 月	一般病床 30 床休床。稼動病床数 306 床
平成 13 年 3 月	新 3 号館完成
平成 15 年 2 月	駐車場完成
〃 11 月	臨床研修病院の指定
平成 17 年 4 月	リハビリテーション特例病床 40 床を廃止。稼動病床数 296 床
〃 8 月	病院機能評価(Ver・4)の認定
平成 20 年 4 月	一般病床 32 床休床。稼動病床数 264 床
平成 22 年 4 月	地方独立行政法人神奈川県立病院機構に移行
平成 28 年 10 月	3 号館 4 階 4 B 病棟 41 床を地域包括ケア病棟として開始
平成 29 年 12 月	3 号館 3 階 3 A 病棟地域包括ケア病棟 60 床、4 B 32 床休床

(2) 各種学会認定状況

認定・指定内容	指定年月日	認定施設番号
日本整形外科学会認定医制度研修施設	昭和58年 4月11日	第 0025号
日本眼科学会専門医制度研修施設	昭和59年 4月 1日	第 3917号
日本麻酔科学会認定病院	昭和60年 4月24日	第 369号
日本泌尿器科学会専門医教育施設	昭和62年 1月30日	第860278号
日本内科学会認定医教育関連病院	平成17年 7月23日	第 992号
日本外科学会外科専門医制度修練施設	平成18年 1月 1日	第140119号
日本消化器外科学会専門医修練施設	平成18年 1月 1日	第14050号
日本消化器病学会専門医制度認定施設	平成18年 1月 1日	第14072号
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	平成18年 5月 1日	第 1213号
日本がん治療認定機構認定研修施設	平成19年11月 1日	第 20423号
日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	平成20年 4月 1日	第 1242号
日本神経学会専門医制度准教育施設	平成21年 4月 1日	第6188-0号
日本乳癌学会認定医専門医制度関連施設	平成22年 1月 1日	第3041-02号
日本高血圧学会専門医認定施設	平成22年 4月 1日	第 0385号
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	平成24年12月 1日	第20120014号

(3) 承認事項等

昭和26年1月1日	生活保護法医療機関指定
10月9日	結核予防法医療機関指定
昭和37年12月1日	基準給食承認(食第174号)
	基準寝具設備承認(寝第85号)
	健保、国保、保健医療機関指定(足上医第50号)
昭和38年1月1日	基準看護承認特2(病看87号)
昭和39年8月7日	救急病院指定(特2)
昭和41年11月11日	養育医療機関指定
昭和45年4月1日	原子爆弾被爆者等健康診断委託契約
昭和49年10月1日	基準看護承認(特2変更)
昭和50年4月1日	総合病院の名称使用承認
昭和51年4月1日	助産施設設置承認
昭和54年7月1日	運動療法等の施設基準に係わる承認(運第39号)
昭和56年8月1日	重症者看護及び重症者の収容の基準実施承認(重収第3号)
昭和63年4月1日	基準看護承認 特3(棟看13号)

平成元年 9 月 1 日	基準看護承認（特 3 変更） 優生保護法第 14 条による指定医師の指定
平成 3 年 4 月 1 日	基準看護承認（特 2 変更） 一般病棟 40 床増床 重症者の収容の実施施設基準（内容の変更） 個室 13 床 2 人室 2 床
平成 3 年 12 月 1 日	作業療法の実施承認（作第 48 号）
平成 4 年 1 月 1 日	投薬の実施承認（薬第 19 号）
平成 4 年 4 月 1 日	基準看護承認（内容変更） 特 3 類 7 病棟、特 2 類 1 病棟（3 南病棟）
平成 6 年 10 月 1 日	新看護の届出
平成 7 年 11 月 16 日	エイズの中心的受入病院
平成 11 年 4 月 1 日	第二種感染症指定医療機関指定
平成 13 年 3 月 13 日	診療用放射性同位元素設置届
平成 15 年 3 月	I S O 1 4 0 0 1 認証取得
平成 15 年 11 月 19 日	臨床研修病院指定
平成 17 年 8 月	病院機能評価の認定
平成 22 年 4 月 1 日	地方独立行政法人神奈川県立病院機構への移行 開設許可 保険医療機関指定（足上医第 150 号） 労災保険指定医療機関指定（1410181 号） 救急病院等の指定 災害医療拠点病院の指定 自立支援医療機関（育成医療、更生医療、精神通院医療）指定 D P C 対象病院に認定
平成 25 年 2 月 6 日	神奈川 D M A T 指定病院の指定
平成 31 年 4 月 1 日	神奈川県難病医療支援病院の指定
令和 2 年 4 月 1 日	新型コロナウイルス感染症「神奈川モデル」重点医療機関に指定

施設基準届出項目一覧

令和2年3月31日現在

【基本診療料の施設基準】

歯科初診料注1にかかる施設基準

急性期一般入院料1

超急性期脳卒中加算

診療録管理体制加算2

急性期看護補助体制加算25対1

看護職員夜間配置加算12対1

療養環境加算

重症者等療養環境特別加算

医療安全対策加算1/医療安全対策地域連携加算1

感染防止対策加算1 / 地域連携加算/抗菌薬適正使用支援加算

褥瘡ハイリスク患者ケア加算

総合評価加算

後発医薬品使用体制加算1

病棟薬剤業務実施加算1

データ提出加算2イ

入退院支援加算1/地域連携診療計画加算/入院時支援加算

認知症ケア加算2

精神疾患診療体制加算

ハイケアユニット入院医療管理料1

地域包括ケア病棟入院料2

【特掲診療料の施設基準】

ウイルス疾患指導料
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
院内トリアージ実施料
救急搬送看護体制加算
ニコチン依存症管理料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
在宅療養後方支援病院
検体検査管理加算(Ⅰ)
検体検査管理加算(Ⅳ)
時間内歩行試験
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
CT透視下気管支鏡検査加算
画像診断管理加算1
CT撮影及びMRI撮影
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理科
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
認知療法・認知行動療法2
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
乳がんセンチネルリンパ節加算2

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)
内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術(内視鏡によるもの)
胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
体外衝撃波胆石破碎術
体外衝撃波膀胱石破碎術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術(胃瘻造設術、経皮的内視鏡下及び腹腔鏡下胃瘻造設術)
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
輸血管理料2
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
麻酔管理料(Ⅰ)
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作成

【その他の施設基準】

■入院時食事療養

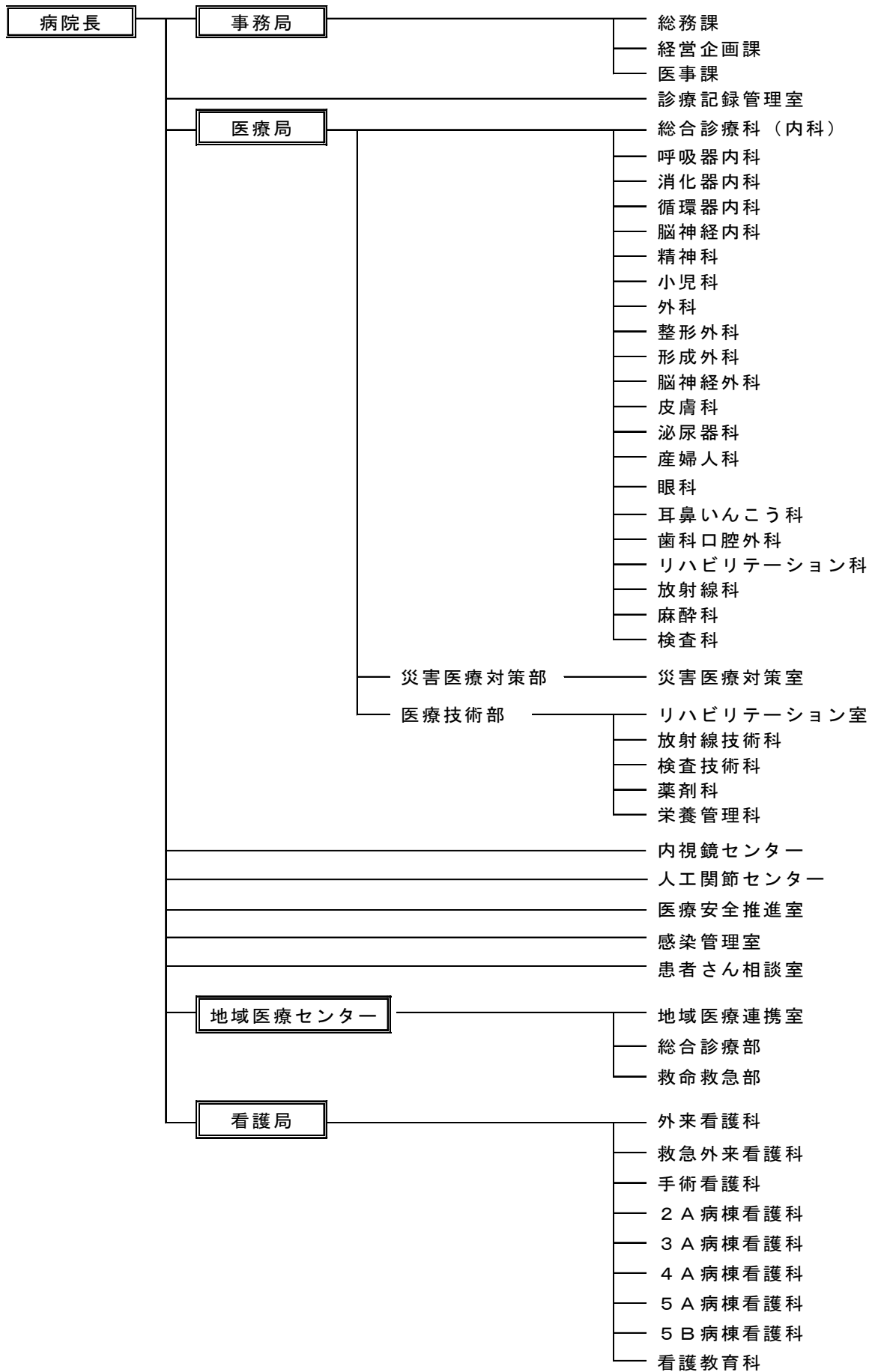
入院時食事療養(Ⅰ)

■保険外併用療養費(選定療養)

200床以上病院の未紹介患者の初診
特別の療養環境の提供(室料差額)
180日を超える入院の特定療養費

3 機 構

(1) 組 織



(2) 職種別配置表

令和2年4月1日現在

職 種 組 織		総 数	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	薬 剤 師	診 療 放 射 線 職	臨 床 検 査 技 師	栄 養 士	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 職	看 護 職	看 護 補 助	電 話 交 換 職	自 動 車 運 転 員	病 棟 技 能 職
病 院 長		1			1												
副 院 長 (兼 医 療 局 長)		1			1												
副 院 長 (兼 看 護 局 長)		1											1				
事 務 局	事 務 局 長	1	1														
	副 事 務 局 長	1	1														
	総 務 課	6(1)	4(1)												1		1
	経 営 企 画 課	7(1)	7(1)														
医 事 課		6(1)	6(1)														
診 療 記 録 管 理 室		1<2>	1<2>														
医 療 局	総 合 診 療 科 (内 科)	4			4												
	呼 吸 器 内 科	1			1												
	消 化 器 内 科	4<1>			4<1>												
	循 環 器 内 科	3<1>			3<1>												
	脳 神 経 内 科	1			1												
	精 神 科	0			0												
	小 児 科	1			1												
	外 科	5			5												
	整 形 外 科	5<1>			5<1>												
	形 成 外 科	0			0												
	脳 神 経 外 科	3			3												
	皮 膚 科	1			1												
	泌 尿 器 科	3			3												
	産 婦 人 科	0			0												
	眼 科	2			1							1					
	耳 鼻 い ん こ う 科	0			0												
	歯 科 口 腔 外 科	0			0												
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	0			0												
	放 射 線 科	1			1												
	麻 酔 科	1			1												
	検 査 科	1			1												
災害医療対策部																	
災害医療対策室		<1>			<1>												
局	医療技術部																
	リハビリテーション室	11<1>			<1>					9	2						
	放射線技術科	14					14										
	検査技術科	15						15									
	薬剤科	19				19											
	栄養管理科	2(1)						2(1)									
内 視 鏡 セ ン タ ー		1			1												
人 工 関 節 セ ン タ ー		1			1												
医 療 安 全 推 進 室		1(1)	(1)										1				
感 染 管 理 室		1											1				
患 者 さ ん 相 談 室		(1)		(1)													
地域医療センター																	
地 域 医 療 連 携 室		10(1)<1>		1(1)	<1>								9				
総 合 診 療 部																	
救 命 救 急 部		1			1												
看 護 局	副 看 護 局 長	2											2				
	外 来	6											6				
	救 急 外 来	16(1)											16(1)				
	手 術 室	15											15				
	病 棟	172(4)											169(1)	(3)			3
看 護 教 育 科		3											3				
そ の 他		15											15				
現 員 計		366(12) <8>	20(4) <2>	1(2)	40 <6>	19	14	15	2(1)	9	2	1	238(2)	(3)	1	1	3
定 員		359	20	1	47	18	14	16	3	9	2	1	218	—	2	1	7

※診療情報管理士は一般事務職に含む

()は外数で契約職員

< >は外数で兼務職員

(3) 院内各種会議

病院の管理運営の円滑化を図るため、次の会議を設置している。

令和2年4月1日現在

会議等の名称		会長・委員長等	事務局	構成員数	開催時期
1	幹部会議	病院長	総務課	12	毎週水曜日
2	運営会議	病院長	総務課	46	毎月第3木曜日
3	将来計画委員会	病院長	—	10	随時
4	医療従事者負担軽減会議	副院長	総務課	14	随時
5	病棟運営会議	医師	医事課	20	随時
6	外来運営会議	医師	医事課	13	随時
7	診療報酬適正検討会議(兼コーディング委員会)	病院長	医事課	8	随時
8	診療録管理委員会	副院長	医事課	9	随時
9	倫理会議	副院長	総務課	8	随時
10	感染対策会議	病院長	感染管理室	11	毎月第4水曜日
11	H I V / A I D S 委員会	医師	薬剤科	10	隔月
12	治験審査委員会	副院長	薬剤科	9	随時
13	受託研究審査会議	副院長	薬剤科	9	随時
14	災害医療対策会議	医師	総務課	27	5, 9, 3 月第2月曜日
15	診療材料検討会議	病院長	経営企画課	9	随時
16	栄養管理会議	看護局長	栄養管理科	11	毎月第2火曜日
17	輸血療法委員会	医師	検査技術科	14	年6回
18	薬事検討会議	副院長	薬剤科	9	年4回
19	医療安全管理会議	医師	医療安全推進室	17	毎月第4水曜日
20	医療ガス安全管理会議	事務局長	経営企画課	16	随時
21	医療機器安全管理会議	事務局長	経営企画課	16	随時
22	リスクマネジメント会議	医師	医療安全推進室	20	毎月第3金曜日
23	臨床検査検討会議	医師	検査技術科	8	随時
24	手術室運営会議	医師	手術室	10	隔月
25	内視鏡運営会議	医師	救急外来	9	年4回
26	救命救急運営会議	医師	医事課	14	随時
27	クリニカルパス検討会議	医師	看護局・医事課	20	毎月第4月曜日
28	臨床研修委員会	副院長	総務課	16	随時
29	院内臨床研修管理委員会	副院長	総務課	16	随時
30	内科専攻医研修委員会	医師	総務課	10	随時
31	衛生委員会	事務局長	総務課	9	毎月第1月曜日
32	ボランティア調整会議	副事務局長	総務課	9+ α	年4回
33	機種等選定会議	病院長	経営企画課	8	随時
34	医療情報システム運用調整会議	副院長	医事課	14	随時
35	放射線運営会議	医師	放射線技術科	9	随時
36	放射線安全管理会議	医師	放射線技術科	9	随時
37	がん化学療法検討会議	医師	薬剤科	13	隔月
38	糖尿病検討会議	医師	看護局	9	5, 9, 2 月第1火曜日
39	静脈注射実施検討会議	副院長	看護局	8	随時
40	認知症ケア推進会議	看護師	看護局	9	随時
41	臨床・病理症例検討会	医師	検査技術科	4	随時
42	特定行為業務検討会議	副院長	看護局	8	随時
43	特定行為研修管理委員会	副院長	看護局	9	随時
44	地域医療支援病院準備会議	医師	医事課	10	随時
45	地域医療センター運営会議	医師	地域医療連携室	15	随時
46	院内助産運営委員会	病院長	副事務局長	3	随時
47	地域包括ケア病棟運営会議	医師	医事課	7	随時
48	褥瘡対策会議	医師	看護局	11	毎月
49	NST・摂食嚥下対策会議	医師	栄養管理科	12	5, 9, 12, 3 月第1金曜日
50	HCU運営会議	医師	医事課	3	随時
51	超音波検査検討会議	医師	検査技術科	9	随時

4 令和元年度の職員の状況

(1) 年度当初現員数

部門	職種	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(参考) 令和2年度
医 師	医師	42	43	43	40
看 護	看護師	211(7)	230(7)	232(4)	238(2)
	病棟技能職	5(2)	5	4	3
	看護補助	(1)	(3)	(3)	(3)
薬 剤	薬剤師	17	21	22	19
事 務	一般事務職	18	19(3)	18(3)	20(4)
給 食	栄養士	3	3	2(1)	2(1)
	調理職	—	—	—	—
放射線	診療放射線職	14	14	14	14
検 査	臨床検査技師	14(2)	15(1)	15(1)	15
その他	福祉職	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)
	理学療法士	10	9	9	9
	作業療法士	2	2	2	2
	マッサージ師	—	—	—	—
	視能訓練士	1	1	1	1
	保育士	—	—	—	—
	自動車運転員	1	1	1	1
	電話交換職	1	1	1	1
		340(14) 計 354	365(16) 計 381	365(14) 計 379	366(12) 計 378

各年度当初(4月1日現在)の現員。()は契約職員で外数。レジデント含む。
※診療情報管理士は一般事務職に含む。

(2) 病床100床当たりの部門別職員数

	平成29年度 (264床)		平成30年度 (264床)		令和元年度 (264床)		(参考)令和2年度 (264床)	
	職員数	100床当たり 職員数	職員数	100床当たり 職員数	職員数	100床当たり 職員数	職員数	100床当たり 職員数
医 師	42	15.9	43	16.3	43	16.3	40	15.2
看護師	218	82.6	237	89.8	236	89.4	240	90.9
薬剤師	17	6.4	21	8	22	8.3	19	7.2
事務職	18	6.8	22	8.3	21	8.0	24	9.1
栄養士	3	1.1	3	1.1	3	1.1	3	1.1
放射線	14	5.3	14	5.3	14	5.3	14	5.3
検 査	16	6.1	16	6.1	16	6.1	15	5.7
その他	26	9.8	25	9.5	24	9.1	23	8.7
総 数	354	134.1	381	144.3	379	143.6	378	143.2

- (注) 1. 職員数は、年度当初(4月1日現在)現員であり、契約職員を含む。
2. 「病床100床当たりの職員数」の算定の基準となる病床数は、稼動病床数を利用した
なお、年度内に稼動病床数の変動が生じた場合には、年度末の病床数を用いた。

(3) 部門別 1 人 1 日平均取扱患者数

	平成29年度			平成30年度				令和元年度			
	入院	外来 (244日)	計	入院	外来 (244日)	計	対前年度比 (%)	入院	外来 (242日)	計	対前年度比 (%)
患者延数	74,812	128,681	203,493	80,740	123,589	204,329	※+836人	75,710	112,808	188,518	※△15,811人
医 師	4.9	12.6	17.5	5.1	11.9	17.0	97.1	4.8	10.8	15.6	91.8
看護師	0.9	2.4	3.3	0.9	2.2	3.1	93.9	0.9	2.0	2.9	93.5
薬剤師	12.1	31	43.1	10.5	24.3	34.8	80.7	9.4	21.2	30.6	87.9
事務職	11.4	29.3	40.7	10.1	23.2	33.3	81.8	9.9	22.2	32.1	96.4
栄養士	68.3	—	68.3	73.7	—	73.7	107.9	69.0	—	69.0	93.6
全職員	0.6	1.5	2.1	0.6	1.3	1.9	90.5	0.5	1.2	1.7	89.5

注1) ※は前年度との増減数を記載

注2) ()は外来診療日数

注3) 令和元年度は閏年のため366日

$$(\text{注}) \quad 1 \text{ 人 } 1 \text{ 日平均取扱患者数 } \quad \text{入院} = \frac{\text{入院患者延数}}{\text{部門別職員数 (年度当初現員)}} \times \frac{1}{366} \quad \text{注3)}$$

$$\text{外来} = \frac{\text{外来患者延数}}{\text{部門別職員数 (年度当初現員)}} \times \frac{1}{\text{外来診療日}}$$

5 診療体制

(1) 開設の許可・承認等

令和2年4月1日

区 分		内 容	
開 設 年 月 日		昭和25年4月1日 (独立行政法人化後の病院開設許可 平成22年4月1日)	
診 療 科 目		総合診療科（内科）、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、 循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、 泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、 放射線科、麻酔科、歯科口腔外科	
病 床 数	一 般	(許可) 290床	(稼動) 258床
	感 染 症	6床	6床
	計	296床	264床
一般病棟入院基本料		急性期一般入院基本料1	
特定入院料		ハイケアユニット入院医療管理料1、地域包括ケア病棟入院料2	
業 務 内 容		1. 患者の診察（助産を含む）及び看護 2. 健康相談及び保健衛生指導 3. 検査の受託	
指定医療機関の種類		健保、国保、生保、結核、労災、養育、育成、更生、原爆、救急、精神、 公害	

(2) 診療体制

令和2年4月1日

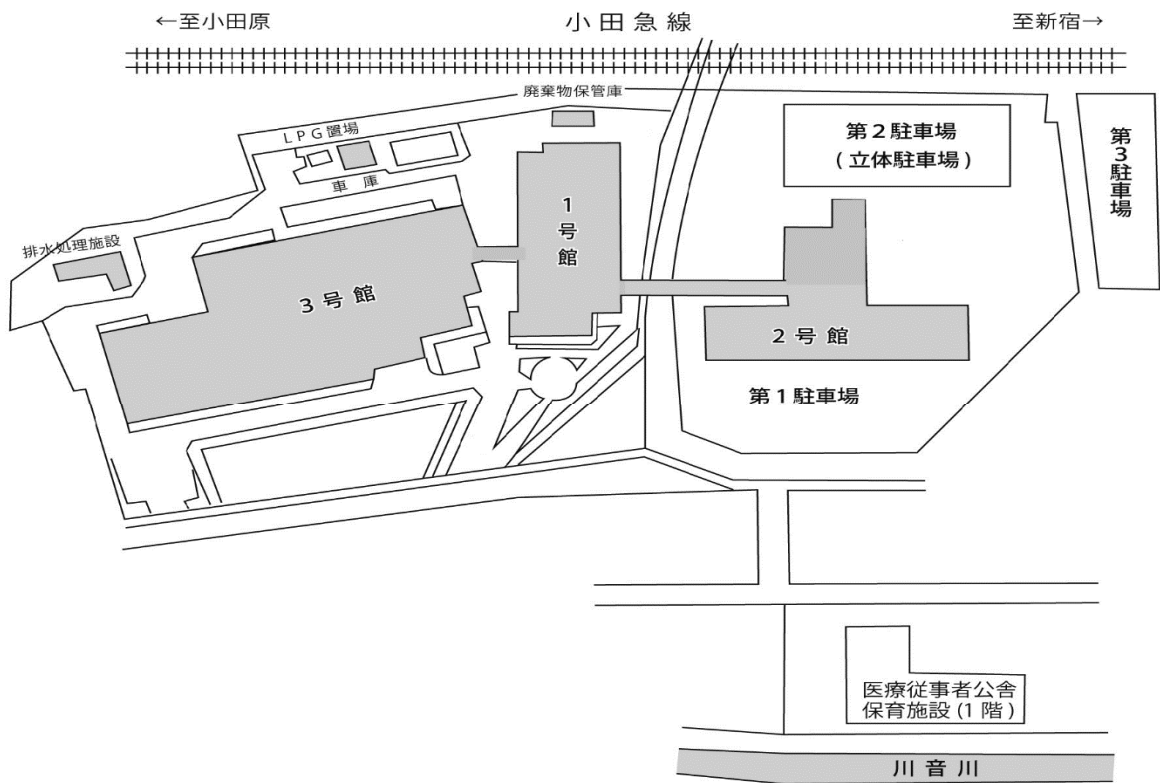
区 分		内 容
診 療 の 基 準		県立病院における診療は、健康保険法第72条に定める診療の基準に従って行なっている。
診療の受付時間等	診療の受付時間	新 患 午前8時30分～午前11時まで（平日） 再来患者 午前7時30分～午前11時まで（平日） （自動再診受付機で受付）
	休 診 日	1. 国民の祝日に関する法律に規定する休日 2. 土曜日及び日曜日 3. 1月2日、同月3日及び12月29日～同月31日まで
	急 患 受 付	24時間の当直体制をとっている。
面 会 時 間		一般病棟 14時～19時30分（土・日・祝日は13時～）
特 別 入 院 施 設 の 提 供		区 分
		個室B 個室C 個室D 個室E 2人室
		室 料 (1日につき)
		9,900円 8,900円 8,200円 7,700円 3,500円
		6床 1床 7床 1床 2床

(3) 使用料及び手数料（中期計画第9）

区 分	種 別		単 価
使 用 料	一般診療・労災診療・公害健康被害診療 医療観察診療		地方独立行政法人神奈川県立病院機構 中期計画第9 料金に関する事項による
	自動車損害診療		健康保険診療費等に1.5を乗じて得た額
	分べんの介助	時間内 (()内多胎加算)	180,000(90,000)円
		時間外・休日等 (")	216,000(108,000)円
	初診特定療養費		2,750円
	新生児の保育		800円
	新生児被服の貸与		400円
	えな、その他出産に伴う産あい物の処理		2,000円
手 数 料	診断書	普 通 診 断 書	1,700円
		身体障害者診断書・意見書	5,000円
		自 賠 責 診 断 書	5,000円
	証明書	通 院 証 明 書	1,150円
		家族療養費支給証明書	1,700円
		自賠責診療費明細書	3,300円
	死 亡 診 断 書		3,400円
診 察 券 の 再 交 付			150円

6 配置図

土地（令和2年4月1日現在）



建物断面図（令和2年4月1日現在）

	3号館		1号館	2号館
5 階	5A病棟	5B病棟	病院長室 事務局長室 副院長室 副院長兼看護局長室 総務課 経営企画課 医局 看護局	
4 階	4A病棟	4B病棟(休床) 医療安全推進室長室 医療安全推進室 感染管理室 言語訓練室	内視鏡室 生理検査室	
3 階	3A病棟	地域医療連携室 作業療法室 (足柄上医師会) 足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター	外来 外来化学療法室 栄養指導室 患者さん相談室 地域医療センター	外来ナースステーション 薬剤科分室 研修医医局
2 階	2A病棟(救急・HCU) 手術室		外来 中央処置室 内視鏡センター 人工関節センター	リハビリテーション科 講義室・研修室
1 階	1A病棟 放射線科(X線・CT・MRI・血管造影) 検体検査室 輸血検査室 解剖室 入退院支援センター 機能訓練室 緊急処置室 救急受付 売店		総合案内 総合受付 医事課 薬局	病理検査室 細菌検査室 診療情報管理室 図書室 食堂
地 階	中央監視室 栄養管理科 厨房 放射線科(RI・リニアック) 機械室 電気室 洗浄滅菌室 物品供給室		カルテ庫 空調機械室	

7 施設の概況

(1) 土 地

科目	所 在 地	用 途	面 積
土 地	足柄上郡松田町松田惣領 866番地の1 ほか1筆	2号館、立体駐車場	7,230.72㎡
	足柄上郡松田町松田惣領 1030番地の2 ほか42筆	1号館、3号館	8,984.02㎡
	足柄上郡松田町松田惣領 875番地 ほか2筆	医療従事者公舎敷地	2,851.86㎡
	計		19,066.60㎡

(2) 建 物

科目	所 在 地		構 造	面 積
建 物	足柄上郡松田町 松田惣領1030番地の2	1号館	S R C 地下1階 地上5階	5,343.35㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	2号館	R C 地上3階	3,402.99㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領1030番地の2	3号館	S R C 地下1階 地上5階	15,093.72㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領875・882・883番地	医療従事者公舎 (預かり施設併設)	R C 地上6階	6,014.00㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	立体駐車場	S 地上1階	1,725.00㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1	連絡棟	R C 地上3階	170.04㎡
	足柄上郡松田町 松田惣領866番地の1ほか	その他付帯施設		379.94㎡
	計 (19棟)			32,129.04㎡

(3) 設 備

ア 衛生設備

(ア) 給水設備	受水槽	250m ³	1基
	高架水槽	16m ³	1基
	〃 (井水)	21m ³	1基
	〃	5m ³	2基
(イ) 給湯施設	給湯槽	4,500 ℓ (2・3号館)	2基
	〃	1,500 ℓ (1号館)	2基
(ウ) 排水設備	厨房排水処理		1基
	感染排水処理		1基
	R I 排水処理		1基
(エ) 医療ガス設備	酸素、笑気、窒素、吸引、空気 (液酸タンク256.5m ³)		
	医療用コンプレッサー		2基
	エアードライヤー		2基

イ 機械設備

(ア) 熱源設備	炉筒煙管ボイラー2.5トン (常用圧力0.78MPa) 伝熱面積29.5m ²	2基
(イ) 熱交換設備	445.12kW・0.149m ³	2基
(ウ) 冷房設備	水冷チーリングユニット冷凍機能力 348kW フロンガスR22 (3号館24時間系統)	2基
(エ) 冷暖房設備	吸収式冷温水発生機 (冷房1196.0kW・暖房1045.0kW (2・3号館))	2基
	〃 ヒートポンプチラー冷凍能力191,000kcal/h (1号館) フロンガスR22	2基
(オ) 空調設備	空調機 (エアハンドリングユニット)	41台
	パッケージ型空調機	80台
	ファンコイル	556台
(カ) オイルタンク (灯油) 1号館 (48,000ℓ) 3号館 (112,000ℓ)		

ウ 防災設備

(ア) 警報設備	自動火災報知機	88回線
	ガス漏れ感知器	45回線
	防火戸・防煙・排煙・防火ダンパ	98回線
(イ) 消火設備	屋内消火栓設備	
	スプリンクラー設備 (1・2号館全館、3号館全館)	
	二酸化炭素消火設備 (変電室・コンピュータールーム)	
(ウ) 防火監視設備	中央監視室、管理当直室、総務課事務室に設置	
(エ) 防火用井戸	水中ポンプ250ℓ/分 (受水槽 12m ³)	

エ 電気設備

(ア) 受変電設備	受電方式	3相3線式 6.6KV	1回線
	契約電力	1,180KW	
(イ) 自家発電設備	3相6.6KV	750KVA	1台
	3相6.6KV	1250KVA	1台
	3相6.6KV	500KVA (保守用)	1台
(ウ) 蓄電池設備	据置シール鉛蓄電池	54セル 100Ah (1号館用)	
(エ) 幹線設備	動力3相3線		
	〃	210V (蓄熱動力、X線、医療用、コンピュータ)	
	〃	210V (動力用)	
	単相3線210V/105V	(電灯用)	
(オ) 弱電設備			
放送設備	業務放送、防災放送兼用型		
ナースコール	壁掛ボード型同時通話兼交互通話式		

オ 主な備付医療機器等 (1,000 万円以上)

設置箇所	名称	会社名	機種	数量
放射線技術科	デジタルX線TVシステム ①	東 芝	ZEXIRA/DREX-ZX80	1 式
	R I 体外測定装置 (ガンマカメラ) ②	シーメンス	Symbia E	1 式
	乳房X線撮影装置 ③	G E	Senographe Pristina	1 式
	多目的X線透視撮影装置	日立メディコ	Versi Flex VISTA	1 式
	コンピュータ画像処理装置 ④	富 士	CALNEO U.MT	1 式
	血管撮影装置 ⑤	シーメンス	Artis Zee BA PURE	1 式
	磁気共鳴断層撮影装置 ⑥	シーメンス	MAGNETOM Skyra	1 式
	全身用 CT 撮影装置 ⑦	フィリップス	Brilliance iCT SP	1 式
	骨密度測定装置 ⑧	ホロジック	Discovery HORIZON	1 式
手術室	眼科用手術顕微鏡装置	カールツァイス	OPMI VISU160	1 式
	手術用顕微鏡装置	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1 式
	超音波白内障手術装置	日本アルコン	インフィニティ	1 式
	手術用ナビゲーションシステム	ストライカー	NAV3i	1 式
内視鏡室	内視鏡用超音波観測装置	オリンパス	EU-ME2、GF-UCT260	1 式
検査技術科	心臓用超音波診断装置	フィリップス	iE33	1 式
眼科外来	マルチカラーレーザー光凝固装置	日本ルミナス	ノーバスヴァリア	1 式

①デジタルX線TVシステム ZEXIRA/DREX—ZX80



検出面サイズ43×43cmのFPD (Flat Panel Detector X線平面検出器) を搭載している。半切サイズを含む大きな領域での透視・撮影が可能であるため、泌尿器および大腸全体などを容易に観察することができる。

②RI体外測定装置 ガンマカメラSymbia E—CAM



ガンマカメラはガンマ線を放出する少量の放射性医薬品を利用し、体内臓器や組織の生化学的機能の変化をコンピュータにより画像化し診断する。脳血流の測定や狭心症の判定など全身を非侵襲的に検査が行える。

③乳房X線撮影装置 Senographe Pristina



量子検出効率が高いフラットパネルの使用により低線量で検査できる装置である。また感度と特異度を向上させるトモシンセス機能も備えている。撮影の操作性が向上したことにより、検査時間が短縮された。

④コンピュータ画像処理装置 CALNEO U. MT



CALNEOシステムはFPDを搭載したデジタルラジオグラフィ装置で、診断目的に合わせた画像処理や画像の保管、画像の再出力などが容易に行え、被曝軽減にも役立つ。

⑤血管撮影装置 Artis Zee BA PURE



X線検出器（フラットパネルディテクタ：FPD）を搭載している。画像解像度が高く、診断・治療の精度向上が期待される。パイプラインによる2方向の同時撮影が可能で、被曝線量の低減に貢献している。搭載されている様々なアプリケーションは各科の検査手技の補助に有効活用されている。

⑥磁気共鳴断層撮影装置 MAGNETOM Skyra（3テスラ）



磁気共鳴断層装置（MRI装置）は、放射線は一切使用せずに、強力な磁石と電波を用いて人体の様々な情報を画像化、解析が可能な画像診断装置である。また、高磁場3テスラMRI装置なので、より高精細で組織内部の識別能が高く、様々な部位の検査や疾患の診断に大変有用である。

⑦全身用CT装置 Brilliance iCT SP、64列128スライス



CT装置は、従来に比べ非常に細かく検査でき64列128スライスで1ミリ程度の微細病変も検出可能となり、更に同時3方向表示による観察ができる。短時間検査とX線量の低減を実現し更なる診断能力の向上を目指すことを目標にしている。検査した画像は瞬時に配信する事により外来や病棟にてモニター画像で確認でき、検査後に必要な部位を3次元画像に再構成する機能も幅広く活用できるようになっている。

⑧骨密度測定装置 Discovery HORIZON



骨粗しょう症の診断及び治療効果判定の精度に優れているDEXA法を用いた装置である。体位変換することなく、腰椎側面の検査ができる機能も有しており、患者さまに負担の少ない検査が可能となっている。

第2章 経理の状況

(1) 収益・費用の構成

収益構成（単位％）

年度

	入院収益	外来収益	その他 営業収益	その他医業収益	営業外収益・臨時利益
平成29年度	59.7	22.2	14.5	1.6	1.9
平成30年度	61.4	20.9	14.4	1.6	1.7
令和元年度	59.9	20.2	16.0	1.4	2.4

費用構成（単位％）

年度

	給与費	材料費	その他営業費用	営業外費用・臨時損失
平成29年度	56.2	18.0	24.2	1.6
平成30年度	56.3	17.1	25.2	1.3
令和元年度	55.9	16.4	26.4	1.3

(2) 収 益

(単位:円)

年度 区分 項 目		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
収 益 構 成	営業収益	5,930,679,651	98.1%	6,232,874,645	98.3%	5,976,925,082	97.6%
	医業収益	5,051,585,479	83.5%	5,317,768,020	83.8%	4,995,923,482	81.6%
	入院収益	3,609,335,622	59.7%	3,891,947,856	61.4%	3,669,675,067	59.9%
	外来収益	1,342,926,769	22.2%	1,327,162,559	20.9%	1,238,019,760	20.2%
	その他医業収益	99,323,088	1.6%	98,657,605	1.6%	88,228,655	1.4%
	運営費負担金収益	849,746,000	14.1%	883,496,000	13.9%	948,654,000	15.5%
	補助金等収益	12,749,000	0.2%	17,504,000	0.3%	19,823,000	0.3%
	資産見返戻入	16,199,172	0.3%	13,706,625	0.2%	12,246,294	0.2%
	寄附金収益	400,000	0.0%	400,000	0.0%	278,306	0.0%
	営業外収益	116,713,036	1.9%	109,667,673	1.7%	146,260,311	2.4%
	運営費負担金収益	69,188,000	1.1%	61,382,000	1.0%	53,320,000	0.9%
	不用品売却益	716,514	0.0%	334,122	0.0%	287,382	0.0%
	受取利息及び配当金	217	0.0%	230	0.0%	221	0.0%
	雑 益	46,808,305	0.8%	47,951,321	0.8%	92,652,708	1.5%
	臨時利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計		6,047,392,687	100.0%	6,342,542,318	100.0%	6,123,185,393	100.0%

(3) 費 用

(単位:円)

年度 区分 項 目		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
費 用 構 成	営業費用	6,619,596,848	98.4%	7,027,486,580	98.7%	6,801,560,819	98.7%
	医業費用	6,410,164,788	95.3%	6,807,244,792	95.6%	6,567,747,838	95.3%
	給与費	3,781,793,359	56.2%	4,011,483,912	56.3%	3,850,451,796	55.9%
	材料費	1,208,282,441	18.0%	1,219,430,665	17.1%	1,128,294,798	16.4%
	経 費	1,026,626,328	15.3%	1,061,409,771	14.9%	1,095,684,260	15.9%
	減価償却費	379,059,765	5.6%	500,195,901	7.0%	478,284,965	6.9%
	研究研修費	14,402,895	0.2%	14,724,543	0.2%	15,032,019	0.2%
	寄附金支出	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	控除対象外消費税	209,432,060	3.1%	220,241,788	3.1%	233,812,981	3.4%
	営業外費用	104,839,483	1.6%	93,090,546	1.3%	88,820,630	1.3%
	支払利息	104,839,483	1.6%	93,090,546	1.3%	80,740,019	1.2%
	雑支出	0	0.0%	0	0.0%	8,080,611	0.1%
	臨時損失	4,351,897	0.1%	1,570,791	0.0%	1,565,737	0.0%
	計	6,728,788,228	100.0%	7,122,147,917	100.0%	6,891,947,186	100.0%
材 料 費 内 訳	薬品費	625,620,146	51.8%	629,990,291	51.7%	587,314,864	52.1%
	診療材料費	522,274,862	43.2%	536,511,896	44.0%	489,687,391	43.4%
	たな卸資産減耗費	1,820,502	0.2%	1,654,226	0.1%	1,823,891	0.2%
	給食材料費	47,779,337	4.0%	49,387,896	4.1%	47,573,062	4.2%
	医療消耗備品費	10,787,594	0.9%	1,886,356	0.2%	1,895,590	0.2%
収益費用差額		△ 681,395,541	-	△ 779,605,599	-	△ 768,761,793	-

(4)経営分析状況

(単位：円、％)

年度 区分 項目		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		金額等	前年比(％)	金額等	前年比(％)	金額等	前年比(％)
損益額		△ 681,395,541	72.4	△ 779,605,599	114.4	△ 768,761,793	98.6
患者一人当たり	医業収益	24,824	102.3	26,026	104.8	26,501	101.8
	入院収益	48,245	99.2	48,203	99.9	48,470	100.6
	外来収益	10,436	103.1	10,739	102.9	10,975	102.2
	医業費用	31,501	100.1	33,315	105.8	34,839	104.6
	材料費	5,938	100.1	5,968	100.5	5,985	100.3
	薬品費	3,074	98.7	3,083	100.3	3,115	101.0
	診材費	2,567	100.5	2,626	102.3	2,598	98.9
	経費	5,045	107.0	5,195	103.0	5,812	111.9
医業収益百円あたりにかかる費用	医業費用	126.9	97.8	128.0	100.9	131.5	102.7
	給与費	74.9	98.6	75.4	100.8	77.1	102.2
	材料費	23.9	97.9	22.9	95.9	22.6	98.5
	薬品費	12.4	96.5	11.8	95.7	11.8	99.2
	診材費	10.3	98.2	10.1	97.6	9.8	97.2
	経費	20.3	104.6	20.0	98.2	21.9	109.9
病床利用率（稼働）		77.6	102.0	83.8	108.0	78.4	93.6
平均通院日数（日）		3.8	100.0	3.7	97.4	3.5	94.6
平均在院日数（日）		14.4	108.3	14.9	103.5	15.1	101.3
延患者数	患者総数（人）	203,493	97.8	204,329	100.4	188,518	92.3
	入院患者数（人）	74,812	102.0	80,740	107.9	75,710	93.8
	外来患者数（人）	128,681	95.5	123,589	96.0	112,808	91.3

第3章 患者の概況

令和元年度

(1) 年齢別患者数

(単位：人：％)

年度	区分	合計	10歳未満		10歳以上 20歳未満		20歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満	
			患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
H29	入院	5,364	31	0.6	54	1.0	89	1.7	119	2.2	245	4.6
	外来	34,120	794	2.3	1,064	3.1	1,436	4.2	1,815	5.3	2,996	8.8
	計	39,484	825	2.1	1,118	2.8	1,525	3.9	1,934	4.9	3,241	8.2
H30	入院	5,602	28	0.5	60	1.1	96	1.7	144	2.6	279	5.0
	外来	33,651	711	2.1	993	3.0	1,351	4.0	1,679	5.0	2,978	8.8
	計	39,253	739	1.9	1,053	2.7	1,447	3.7	1,823	4.6	3,257	8.3
R元	入院	5,193	10	0.2	57	1.1	97	1.9	121	2.3	240	4.6
	外来	31,909	605	1.9	841	2.6	1,192	3.7	1,458	4.6	2,565	8.0
	計	37,102	615	1.7	898	2.4	1,289	3.5	1,579	4.3	2,805	7.6

年度	区分	50歳以上 60歳未満		60歳以上 70歳未満		70歳以上 80歳未満		80歳以上	
		患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
H29	入院	388	7.2	884	16.5	1,553	29.0	2,001	37.3
	外来	3,490	10.2	6,106	17.9	8,773	25.7	7,646	22.4
	計	3,878	9.8	6,990	17.7	10,326	26.2	9,647	24.4
H30	入院	348	6.2	945	16.9	1,658	29.6	2,044	36.5
	外来	3,363	10.0	5,701	16.9	9,043	26.9	7,832	23.3
	計	3,711	9.5	6,646	16.9	10,701	27.3	9,876	25.2
R元	入院	351	6.8	806	15.5	1,558	30.0	1,953	37.6
	外来	3,331	10.4	5,097	16.0	8,991	28.2	7,829	24.5
	計	3,682	9.9	5,903	15.9	10,549	28.4	9,782	26.4

(2) 地域別患者数

入院

(単位：人：％)

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
市 町	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
南足柄市	1,314	24.5	1,367	24.4	1,284	24.7
足柄上郡	2,518	46.9	2,563	45.8	2,455	47.3
中井町	69	1.3	104	1.9	74	1.4
大井町	590	11.0	640	11.4	640	12.3
松田町	633	11.8	616	11.0	577	11.1
山北町	602	11.2	551	9.8	570	11.0
開成町	624	11.6	652	11.6	594	11.4
1市5町計	3,832	71.4	3,930	70.2	3,739	72.0
秦野市	397	7.4	432	7.7	340	6.5
小田原市	832	15.5	877	15.7	773	14.9
その他	151	2.8	208	3.7	166	3.2
県内計	5,212	97.2	5,447	97.2	5,018	96.6
県外計	152	2.8	155	2.8	175	3.4
合計	5,364	100.0	5,602	100.0	5,193	100.0

外来

(単位：人：％)

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
市 町	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
南足柄市	7,532	22.1	7,618	22.6	7,301	22.9
足柄上郡	17,307	50.7	17,007	50.5	16,017	50.2
中井町	445	1.3	515	1.5	448	1.4
大井町	4,306	12.6	4,293	12.8	4,089	12.8
松田町	4,811	14.1	4,805	14.3	4,443	13.9
山北町	3,477	10.2	3,285	9.8	3,069	9.6
開成町	4,268	12.5	4,109	12.2	3,968	12.4
1市5町計	24,839	72.8	24,625	73.2	23,318	73.1
秦野市	2,441	7.2	2,311	6.9	2,125	6.7
小田原市	4,777	14.0	4,751	14.1	4,552	14.3
その他	1,172	3.4	1,184	3.5	1,077	3.4
県内計	33,229	97.4	32,871	97.7	31,072	97.4
県外計	891	2.6	780	2.3	837	2.6
合計	34,120	100.0	33,651	100.0	31,909	100.0

(3) 診療科別患者数

入院

(単位：人：%)

	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比
総合診療科	30,754	84.3	41.1	33,547	91.9	41.5	31,370	85.7	41.4
精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
脳神経内科	3,263	8.9	4.4	2,944	8.1	3.6	3,081	8.4	4.1
呼吸器科				1,121	3.1	1.4	1,222	3.3	1.6
循環器科	7,240	19.8	9.7	6,112	16.7	7.6	7,222	19.7	9.5
小児科	0	0.0	0.0	46	0.1	0.1	16	0.0	0.0
外科	6,592	18.1	8.8	7,201	19.7	8.9	6,469	17.7	8.5
整形外科	16,341	44.8	21.8	18,261	50.0	22.6	16,988	46.4	22.4
形成外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
脳神経外科	5,374	14.7	7.2	5,951	16.3	7.4	5,437	14.9	7.2
皮膚科	503	1.4	0.7	832	2.3	1.0	462	1.3	0.6
泌尿器科	4,050	11.1	5.4	4,022	11.0	5.0	2,946	8.0	3.9
産婦人科	333	0.9	0.4	408	1.1	0.5	215	0.6	0.3
眼科	362	1.0	0.5	295	0.8	0.4	282	0.8	0.4
耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
放射線科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
麻酔科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
合計	74,812	205.0	100.0	80,740	221.2	100.0	75,710	206.9	100.0

外来

(単位：人：%)

	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比
総合診療科	39,836	163.3	31.1	37,923	155.4	30.9	33,848	139.9	30.2
精神科	181	0.7	0.1	100	0.4	0.1	97	0.4	0.1
脳神経内科	5,584	22.9	4.4	5,262	21.6	4.3	5,587	23.1	5.0
呼吸器科				1,949	8.0	1.6	1,423	5.9	1.3
循環器科	11,563	47.4	9.0	11,049	45.3	9.0	9,795	40.5	8.8
小児科	1,837	7.5	1.4	1,598	6.5	1.3	1,430	5.9	1.3
外科	10,613	43.5	8.3	10,221	41.9	8.3	9,375	38.7	8.4
整形外科	21,712	89.0	17.0	20,656	84.7	16.8	18,562	76.7	16.6
形成外科	175	0.7	0.1	105	0.4	0.1	144	0.6	0.1
脳神経外科	5,625	23.1	4.4	5,930	24.3	4.8	6,209	25.7	5.5
皮膚科	9,063	37.1	7.1	8,239	33.8	6.7	7,926	32.8	7.1
泌尿器科	12,379	50.7	9.7	11,741	48.1	9.6	10,625	43.9	9.5
産婦人科	3,265	13.4	2.6	2,574	10.5	2.1	1,920	7.9	1.7
眼科	2,869	11.8	2.2	2,465	10.1	2.0	2,327	9.6	2.1
耳鼻咽喉科	2,466	10.1	1.9	2,353	9.6	1.9	2,107	8.7	1.9
リハビリテーション科	309	1.3	0.2	241	1.0	0.2	208	0.9	0.2
放射線科	421	1.7	0.3	318	1.3	0.3	341	1.4	0.3
麻酔科	29	0.1	0.0	13	0.1	0.0	9	0.0	0.0
合計	127,927	524.3	100.0	122,737	503.0	100.0	111,933	462.5	100.0

歯科口腔外科	754	3.1	0.6	852	3.5	0.7	875	3.6	0.8
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(4) 診療科別入院・外来患者及び収益の状況

平成29年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	30,754	84.3	1,231,937,046	40,058	39,836	163.3	538,572,713	13,520
精神科	0	0.0	0	---	181	0.7	996,269	5,504
神経内科	3,263	8.9	125,916,488	38,589	5,584	22.9	61,734,090	11,056
循環器科	7,240	19.8	407,050,851	56,222	11,563	47.4	122,535,375	10,597
小児科	0	0.0	421,520	---	1,837	7.5	39,811,080	21,672
外科	6,592	18.1	420,982,755	63,863	10,613	43.5	168,873,231	15,912
整形外科	16,341	44.8	921,140,765	56,370	21,712	89.0	173,575,170	7,994
形成外科	0	0.0	0	---	175	0.7	661,264	3,779
脳神経外科	5,374	14.7	252,043,630	46,901	5,625	23.1	43,805,203	7,788
皮膚科	503	1.4	15,544,179	30,903	9,063	37.1	17,660,238	1,949
泌尿器科	4,050	11.1	196,659,472	48,558	12,379	50.7	148,652,135	12,008
産婦人科	333	0.9	21,883,770	65,717	3,265	13.4	20,070,720	6,147
眼科	362	1.0	27,738,570	76,626	2,869	11.8	14,872,708	5,184
耳鼻咽喉科	0	0.0	0	---	2,466	10.1	10,779,530	4,371
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	309	1.3	554,530	1,795
放射線科	0	0.0	136,200	---	421	1.7	7,448,070	17,691
麻酔科	0	0.0	0	---	29	0.1	55,570	1,916
合 計	74,812	205.0	3,621,455,246	48,407	127,927	524.3	1,370,657,896	10,714

歯科口腔外科	754	3.1	3,919,800	5,199
--------	-----	-----	-----------	-------

平成30年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	33,547	91.9	1,354,104,526	40,364	37,923	155.4	497,543,388	13,120
精神科	0	0.0	0	---	100	0.4	634,054	6,341
神経内科	2,944	8.1	120,053,986	40,779	5,262	21.6	55,800,320	10,604
呼吸器科	1,121	3.1	62,879,702	56,093	1,949	8.0	62,909,580	32,278
循環器科	6,112	16.7	353,080,168	57,768	11,049	45.3	122,603,890	11,096
小児科	46	0.1	1,102,780	23,973	1,598	6.5	33,204,500	20,779
外科	7,201	19.7	521,804,660	72,463	10,221	41.9	165,680,523	16,210
整形外科	18,261	50.0	947,471,760	51,885	20,656	84.7	166,945,195	8,082
形成外科	0	0.0	0	---	105	0.4	762,059	7,258
脳神経外科	5,951	16.3	317,579,745	53,366	5,930	24.3	52,481,109	8,850
皮膚科	832	2.3	25,535,368	30,692	8,239	33.8	16,245,374	1,972
泌尿器科	4,022	11.0	209,954,782	52,202	11,741	48.1	136,713,996	11,644
産婦人科	408	1.1	22,727,360	55,704	2,574	10.5	13,493,000	5,242
眼科	295	0.8	21,735,812	73,681	2,465	10.1	12,055,140	4,891
耳鼻咽喉科	0	0.0	0	---	2,353	9.6	11,531,305	4,901
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	241	1.0	417,890	1,734
放射線科	0	0.0	0	---	318	1.3	6,198,395	19,492
麻酔科	0	0.0	0	---	13	0.1	29,390	2,261
合 計	80,740	221.2	3,958,030,649	49,022	122,737	503.0	1,355,249,108	11,042

歯科口腔外科	852	3.5	4,559,440	5,351
--------	-----	-----	-----------	-------

令和元年度診療科別入院・外来患者数及び収益の状況

	入 院				外 来			
	患者延数(人)		収益(円)		患者延数(人)		収益(円)	
診療科	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費	患者延数	1日 当たり 患者数	金額	1人 当たり 診療費
総合診療科	31,370	85.7	1,287,381,227	41,039	33,848	139.9	459,400,371	13,572
精神科	0	0.0	0	---	97	0.4	684,850	7,060
脳神経内科	3,081	8.4	128,521,386	41,714	5,587	23.1	63,615,415	11,386
呼吸器科	1,222	3.3	61,342,114	50,198	1,423	5.9	44,608,960	31,349
循環器科	7,222	19.7	344,648,786	47,722	9,795	40.5	99,055,544	10,113
小児科	16	0.0	453,310	28,332	1,430	5.9	36,134,359	25,269
外科	6,469	17.7	506,256,380	78,259	9,375	38.7	163,451,414	17,435
整形外科	16,988	46.4	891,365,850	52,470	18,562	76.7	150,791,242	8,124
形成外科	0	0.0	0	---	144	0.6	881,888	6,124
脳神経外科	5,437	14.9	280,981,498	51,680	6,209	25.7	60,968,159	9,819
皮膚科	462	1.3	15,197,516	32,895	7,926	32.8	15,202,707	1,918
泌尿器科	2,946	8.0	151,312,051	51,362	10,625	43.9	126,043,000	11,863
産婦人科	215	0.6	15,755,070	73,279	1,920	7.9	9,507,510	4,952
眼科	282	0.8	20,826,370	73,852	2,327	9.6	12,632,969	5,429
耳鼻咽喉科	0	0.0	0	---	2,107	8.7	9,855,990	4,678
リハビリテーション科	0	0.0	0	---	208	0.9	358,900	1,725
放射線科	0	0.0	0	---	341	1.4	7,260,840	21,293
麻酔科	0	0.0	0	---	9	0.0	19,090	2,121
合 計	75,710	206.9	3,704,041,558	48,924	111,933	462.5	1,260,473,208	11,261

歯科口腔外科	875	3.6	5,274,678	6,028
--------	-----	-----	-----------	-------

(5) 診療科別月別患者数

入院患者

科別	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比
総合診療科	2,510	83.7	41.6	2,760	89.0	40.8	2,491	83.0	38.9	2,688	86.7	41.6	3,207	103.5	46.5	2,609	87.0	43.3
精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	103.5	0.0	0	0.0	0.0
脳神経内科	263	8.8	4.4	269	8.7	4.0	313	10.4	4.9	330	10.6	5.1	268	103.5	3.9	202	6.7	3.3
呼吸器科	238	7.9	3.9	184	5.9	2.7	125	4.2	2.0	93	3.0	1.4	84	103.5	1.2	45	1.5	0.7
循環器科	494	16.5	8.2	623	20.1	9.2	579	19.3	9.0	634	20.5	9.8	588	103.5	8.5	414	13.8	6.9
小児科	0	0.0	0.0	3	0.1	0.0	0	0.0	0.0	6	0.2	0.1	0	103.5	0.0	0	0.0	0.0
外科	451	15.0	7.5	570	18.4	8.4	594	19.8	9.3	562	18.1	8.7	667	103.5	9.7	583	19.4	9.7
整形外科	1,166	38.9	19.3	1,364	44.0	20.1	1,405	46.8	22.0	1,396	45.0	21.6	1,318	103.5	19.1	1,430	47.7	23.7
形成外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	103.5	0.0	0	0.0	0.0
脳神経外科	562	18.7	9.3	662	21.4	9.8	596	19.9	9.3	443	14.3	6.9	481	103.5	7.0	410	13.7	6.8
皮膚科	58	1.9	1.0	48	1.5	0.7	8	0.3	0.1	3	0.1	0.0	16	103.5	0.2	20	0.7	0.3
泌尿器科	250	8.3	4.1	234	7.5	3.5	247	8.2	3.9	243	7.8	3.8	224	103.5	3.2	286	9.5	4.7
産婦人科	22	0.7	0.4	27	0.9	0.4	13	0.4	0.2	48	1.5	0.7	16	103.5	0.2	7	0.2	0.1
眼科	15	0.5	0.2	27	0.9	0.4	27	0.9	0.4	15	0.5	0.2	27	103.5	0.4	24	0.8	0.4
耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	103.5	0.0	0	0.0	0.0
リハビリ科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	103.5	0.0	0	0.0	0.0
放射線科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	103.5	0.0	0	0.0	0.0
麻酔科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	103.5	0.0	0	0.0	0.0
合 計	6,029	201.0	100.0	6,771	218.4	100.0	6,398	213.3	100.0	6,461	208.4	100.0	6,896	103.5	100.0	6,030	201.0	100.0

外来患者

科別	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比	患者延数	1日平均	構成比
総合診療科	2,756	131.2	28.4	2,821	141.1	29.6	2,707	135.4	29.0	3,171	144.1	30.5	3,020	143.8	30.2	2,877	151.4	31.0
精神科	12	0.6	0.1	5	0.3	0.1	11	0.6	0.1	9	0.4	0.1	6	0.3	0.1	14	0.7	0.2
脳神経内科	537	25.6	5.5	468	23.4	4.9	536	26.8	5.7	465	21.1	4.5	537	25.6	5.4	405	21.3	4.4
呼吸器科	146	7.0	1.5	133	6.7	1.4	143	7.2	1.5	129	5.9	1.2	113	5.4	1.1	138	7.3	1.5
循環器科	985	46.9	10.1	781	39.1	8.2	871	43.6	9.3	889	40.4	8.6	824	39.2	8.2	730	38.4	7.9
小児科	124	5.9	1.3	138	6.9	1.4	134	6.7	1.4	126	5.7	1.2	137	6.5	1.4	114	6.0	1.2
外科	797	38.0	8.2	767	38.4	8.1	724	36.2	7.8	803	36.5	7.7	864	41.1	8.6	817	43.0	8.8
整形外科	1,587	75.6	16.3	1,671	83.6	17.6	1,583	79.2	17.0	1,818	82.6	17.5	1,622	77.2	16.2	1,503	79.1	16.2
形成外科	5	0.2	0.1	5	0.3	0.1	17	0.9	0.2	28	1.3	0.3	6	0.3	0.1	12	0.6	0.1
脳神経外科	522	24.9	5.4	475	23.8	5.0	488	24.4	5.2	533	24.2	5.1	528	25.1	5.3	535	28.2	5.8
皮膚科	626	29.8	6.4	673	33.7	7.1	682	34.1	7.3	850	38.6	8.2	835	39.8	8.4	671	35.3	7.2
泌尿器科	920	43.8	9.5	985	49.3	10.3	817	40.9	8.8	882	40.1	8.5	966	46.0	9.7	898	47.3	9.7
産婦人科	195	9.3	2.0	188	9.4	2.0	207	10.4	2.2	216	9.8	2.1	135	6.4	1.4	143	7.5	1.5
眼科	201	9.6	2.1	183	9.2	1.9	177	8.9	1.9	193	8.8	1.9	179	8.5	1.8	232	12.2	2.5
耳鼻咽喉科	254	12.1	2.6	174	8.7	1.8	191	9.6	2.0	210	9.5	2.0	184	8.8	1.8	153	8.1	1.6
リハビリ科	16	0.8	0.2	16	0.8	0.2	20	1.0	0.2	28	1.3	0.3	12	0.6	0.1	19	1.0	0.2
放射線科	35	1.7	0.4	36	1.8	0.4	19	1.0	0.2	31	1.4	0.3	25	1.2	0.3	31	1.6	0.3
麻酔科	1	0.0	0.0	1	0.1	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0
合 計	9,719	462.8	100.0	9,520	476.0	100.0	9,327	466.4	100.0	10,381	471.9	100.0	9,994	475.9	100.0	9,292	489.1	100.0

歯科口腔外科	58	2.8	0.6	79	4.0	0.8	74	3.7	0.8	89	4.0	0.9	63	3.0	0.6	48	2.5	0.5
--------	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----

(単位：人：％)

1 0 月			1 1 月			1 2 月			1 月			2 月			3 月			合計		
患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
2,686	86.6	43.5	2,654	88.5	40.9	2,553	82.4	39.3	2,473	79.8	38.8	2,450	84.5	39.9	2,289	73.8	42.0	31,370	85.7	41.4
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
252	8.1	4.1	381	12.7	5.9	307	9.9	4.7	202	6.5	3.2	172	5.9	2.8	122	3.9	2.2	3,081	8.4	4.1
97	3.1	1.6	54	1.8	0.8	59	1.9	0.9	80	2.6	1.3	93	3.2	1.5	70	2.3	1.3	1,222	3.3	1.6
457	14.7	7.4	644	21.5	9.9	665	21.5	10.2	816	26.3	12.8	721	24.9	11.7	587	18.9	10.8	7,222	19.7	9.5
6	0.2	0.1	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	16	0.0	0.0
485	15.6	7.9	506	16.9	7.8	618	19.9	9.5	531	17.1	8.3	496	17.1	8.1	406	13.1	7.4	6,469	17.7	8.5
1,470	47.4	23.8	1,455	48.5	22.4	1,588	51.2	24.4	1,590	51.3	24.9	1,535	52.9	25.0	1,271	41.0	23.3	16,988	46.4	22.4
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
388	12.5	6.3	403	13.4	6.2	344	11.1	5.3	366	11.8	5.7	405	14.0	6.6	377	12.2	6.9	5,437	14.9	7.2
48	1.5	0.8	104	3.5	1.6	78	2.5	1.2	27	0.9	0.4	29	1.0	0.5	23	0.7	0.4	462	1.3	0.6
236	7.6	3.8	237	7.9	3.7	260	8.4	4.0	250	8.1	3.9	204	7.0	3.3	275	8.9	5.0	2,946	8.0	3.9
21	0.7	0.3	15	0.5	0.2	13	0.4	0.2	11	0.4	0.2	13	0.4	0.2	9	0.3	0.2	215	0.6	0.3
28	0.9	0.5	29	1.0	0.4	15	0.5	0.2	27	0.9	0.4	24	0.8	0.4	24	0.8	0.4	282	0.8	0.4
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
6,174	199.2	100.0	6,482	216.1	100.0	6,500	209.7	100.0	6,374	205.6	100.0	6,142	211.8	100.0	5,453	175.9	100.0	75,710	206.9	100.0

(単位：人：％)

1 0 月			1 1 月			1 2 月			1 月			2 月			3 月			合計		
患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比	患者 延数	1日 平均	構成比
3,035	144.5	30.7	2,782	139.1	30.2	2,935	146.8	31.2	2,884	151.8	31.5	2,368	131.6	29.5	2,492	118.7	31.1	33,848	139.9	30.2
5	0.2	0.1	8	0.4	0.1	8	0.4	0.1	3	0.2	0.0	10	0.6	0.1	6	0.3	0.1	97	0.4	0.1
526	25.0	5.3	412	20.6	4.5	480	24.0	5.1	479	25.2	5.2	355	19.7	4.4	387	18.4	4.8	5,587	23.1	5.0
115	5.5	1.2	108	5.4	1.2	112	5.6	1.2	114	6.0	1.2	85	4.7	1.1	87	4.1	1.1	1,423	5.9	1.3
852	40.6	8.6	802	40.1	8.7	800	40.0	8.5	838	44.1	9.1	726	40.3	9.1	697	33.2	8.7	9,795	40.5	8.8
127	6.0	1.3	117	5.9	1.3	127	6.4	1.4	108	5.7	1.2	102	5.7	1.3	76	3.6	0.9	1,430	5.9	1.3
804	38.3	8.1	757	37.9	8.2	791	39.6	8.4	773	40.7	8.4	742	41.2	9.3	736	35.0	9.2	9,375	38.7	8.4
1,614	76.9	16.3	1,484	74.2	16.1	1,519	76.0	16.2	1,509	79.4	16.5	1,270	70.6	15.8	1,382	65.8	17.3	18,562	76.7	16.6
15	0.7	0.2	21	1.1	0.2	10	0.5	0.1	9	0.5	0.1	5	0.3	0.1	11	0.5	0.1	144	0.6	0.1
519	24.7	5.2	542	27.1	5.9	562	28.1	6.0	479	25.2	5.2	515	28.6	6.4	511	24.3	6.4	6,209	25.7	5.5
710	33.8	7.2	637	31.9	6.9	612	30.6	6.5	607	31.9	6.6	534	29.7	6.7	489	23.3	6.1	7,926	32.8	7.1
935	44.5	9.4	911	45.6	9.9	911	45.6	9.7	815	42.9	8.9	816	45.3	10.2	769	36.6	9.6	10,625	43.9	9.5
190	9.0	1.9	177	8.9	1.9	145	7.3	1.5	136	7.2	1.5	100	5.6	1.2	88	4.2	1.1	1,920	7.9	1.7
208	9.9	2.1	222	11.1	2.4	207	10.4	2.2	185	9.7	2.0	187	10.4	2.3	153	7.3	1.9	2,327	9.6	2.1
179	8.5	1.8	180	9.0	2.0	145	7.3	1.5	178	9.4	1.9	162	9.0	2.0	97	4.6	1.2	2,107	8.7	1.9
17	0.8	0.2	21	1.1	0.2	13	0.7	0.1	24	1.3	0.3	18	1.0	0.2	4	0.2	0.0	208	0.9	0.2
44	2.1	0.4	38	1.9	0.4	19	1.0	0.2	24	1.3	0.3	22	1.2	0.3	17	0.8	0.2	341	1.4	0.3
1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	0.1	0.0	1	0.1	0.0	2	0.1	0.0	1	0.0	0.0	9	0.0	0.0
9,896	471.2	100.0	9,219	461.0	100.0	9,397	469.9	100.0	9,166	482.4	100.0	8,019	445.5	100.0	8,003	381.1	100.0	111,933	462.5	100.0

54	2.6	0.5	69	3.5	0.7	84	4.2	0.9	84	4.4	0.9	72	4.0	0.9	101	4.8	1.2	875	3.6	0.8
----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(6) 病棟別患者数の状況

	病床数	平成29年度						平成30年度		令和元年度	
		患者延数 (4～11月)	利用率	患者延数 (12～3月)	利用率	患者延数 (年累計)	利用率	患者延数	利用率	患者延数	利用率
1A	6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	175	8.0
2A	46 (42)	8,597	83.9	4,418	79.4	13,015	82.3	13,575	88.6	12,448	73.9
3A	60 (37)	246	2.7	4,671	64.3	4,917	30.2	15,016	111.2	13,495	61.5
3B	0 (32)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4A	60 (46)	9,885	88.1	5,608	77.2	15,493	83.8	19,246	114.6	18,566	84.5
4B	0 (41)	9,142	91.4	0	0.0	9,142	91.4	0	0.0	0	0.0
5A	46	10,796	96.2	5,338	95.9	16,134	96.1	16,417	97.8	15,472	91.9
5B	46	10,713	95.4	5,398	97.0	16,111	96.0	16,463	98.1	15,495	92.0
合計	264 (296)	49,379	76.7	25,433	79.6	74,812	77.6	80,717	83.8	75,651	78.4
CPA	—	—	—	—	—	—	—	—	—	59	—

()内は平成29年度12月以前の病床数。なお、3B病棟については平成20年度以降の病床数となっている。

心肺機能停止（CPA）状態にて搬送された患者が急患室において死亡した場合、入院したものとして扱う。

利用率は稼働病床数により算定。

(7) 稼働状況

		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		一般	感染症	計	一般	感染症	計	一般	感染症	計
条例病床数		A 290	6	296	290	6	296	290	6	296
実稼働病床数		B 258	6	264	258	6	264	258	6	264
入院患者	患者延数	C 74,812	0	74,812	80,717	0	80,717	75,476	175	75,651
	前年度からの繰越入院患者数	D 165	0	165	191	0	191	183	0	183
	当年度内新入院患者数	E 5,200	0	5,200	5,390	0	5,390	4,937	14	4,951
	当年度内退院患者数	F 5,174	0	5,174	5,398	0	5,398	4,968	10	4,978
	病床利用率 (条例) $\frac{C}{A \times \text{診療日数}} \times 100$	70.7%	0.0%	69.2%	76.3%	0.0%	74.7%	71.1%	8.0%	69.8%
	稼働利用率 (稼働) $\frac{C}{B \times \text{診療日数}} \times 100$	79.4%	0.0%	77.6%	85.7%	0.0%	83.8%	79.9%	8.0%	78.3%
	平均在院日数 $\frac{C}{1/2(E+F)}$	G 14.4	—	14.4	14.9	—	14.9	15.2	14.6	15.2
	病床回転数 $\frac{\text{暦日}}{G}$	25.3	—	25.4	24.5	—	24.5	24.0	25.1	24.0
外来患者	患者実数	H —	—	34,120	—	—	33,651	—	—	31,909
	患者延数	I —	—	128,681	—	—	123,589	—	—	112,808
	平均通院日数 (I/H)	—	—	3.8	—	—	3.7	—	—	3.5
	入院外来患者数比率 (I/C)	—	—	1.72	—	—	1.53	—	—	1.49
CPA患者数		—	—	—	—	—	—	—	—	59

CPA患者数とは、心肺機能停止状態にて搬送された患者が急患室において死亡した場合の患者数。

(8) 救急患者取扱状況

年度	区分	来院区分				内訳		対前年比(%)	
		時間内	時間外	休日	計	交通事故	その他	交通事故	その他
H29	患者延数	2,910	2,260	3,431	8,601	307	8,294	106.6	98.0
	(うち入院数)	996	567	751	2,314	21	2,293	-	-
	月平均患者数	243	188	286	717	26	691	-	-
H30	患者延数	3,114	2,522	3,322	8,958	339	8,619	110.4	103.9
	(うち入院数)	1,033	645	765	2,443	17	2,426	-	-
	月平均患者数	260	210	277	747	28	691	-	-
R元	患者延数	2,935	2,031	2,847	7,813	262	7,551	77.3	91.0
	(うち入院数)	1,007	569	705	2,281	11	2,270	-	-
	月平均患者数	245	169	237	651	22	629	-	-

(9) 年度別に見た診療科別救急患者

年度	内科	脳神経内科	呼吸器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他	合計
H29	3,899	188	0	1,257	68	345	1,792	527	102	334	82	4	2	1	8,601
H30	4,148	146	10	1,265	68	477	1,693	647	106	290	100	5	1	2	8,958
R元	3,645	187	12	1,122	56	462	1,428	533	98	206	60	2	0	2	7,813

(10) 年度別に見た事由別救急患者

年度	急病	交通事故	一般事故	分娩	その他	合計
H29	5,864	307	1,885	53	492	8,601
H30	6,294	339	1,712	66	547	8,958
R元	5,538	262	1,505	37	471	7,813

(11) 患者死亡件数

診療科	区分	退院患者数			患者死亡件数					
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
					死亡件数	割合(%)	死亡件数	割合(%)	死亡件数	割合(%)
総合診療科		2,128	2,175	2,097	174	8.2	195	9.0	191	9.1
精神科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
脳神経内科		135	100	103	9	6.7	3	3.0	6	5.8
呼吸器科			112	101			10	8.9	21	20.8
循環器科		540	492	449	41	7.6	41	8.3	67	14.9
小児科		0	11	6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
外科		574	696	667	48	8.4	33	4.7	31	4.6
整形外科		741	769	727	1	0.1	2	0.3	5	0.7
形成外科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
脳神経外科		269	316	287	6	2.2	8	2.5	12	4.2
皮膚科		38	49	38	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泌尿器科		583	542	433	4	0.7	1	0.2	5	1.2
産婦人科		45	60	35	0	0.0	0	0.0	0	0.0
眼科		121	98	94	0	0.0	0	0.0	0	0.0
耳鼻咽喉科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
リハビリテーション科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
放射線科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
麻酔科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歯科口腔外科		0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		5,174	5,420	5,037	283	5.5	293	5.4	338	6.7

(注) 割合 = $\frac{\text{死亡件数}}{\text{退院患者数}} \times 100$

第4章 業務の状況

1 栄養管理科業務

(1) 病棟別栄養アセスメント結果

管理栄養士が入院指示連絡票及び栄養管理リスクアセスメントに基づき、病棟及びベッドサイド訪問等を行うなど入院患者さんの栄養状況を把握し、栄養管理計画書を作成、栄養アセスメントを行い、栄養障害リスクのレベル分けを行いました。

病棟別栄養アセスメント結果(中高リスクのみ)

[人数]

年度	高リスク	中リスク	中高リスク合計	1A	2A	3A	4A	4B	5A	5B
平成29年度	411	1,939	2,350		473	135	392	246	543	561
平成30年度	214	451	665		116	94	133		151	171
令和元年度	474	719	1,193	5	93	230	299		338	228

(2) 入院前の栄養評価

入院を予定している方に入院前、外来において管理栄養士による食事摂取に関する確認・栄養状態の評価を実施しました。

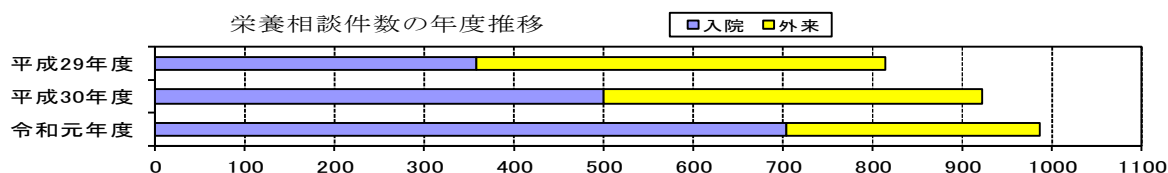
期 間	件 数
平成29年4月～平成30年3月	1,697件
平成30年4月～平成31年3月	1,822件
平成31年4月～令和2年3月	1,522件

(3) 栄養相談

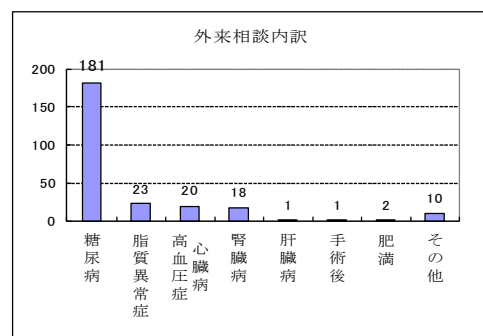
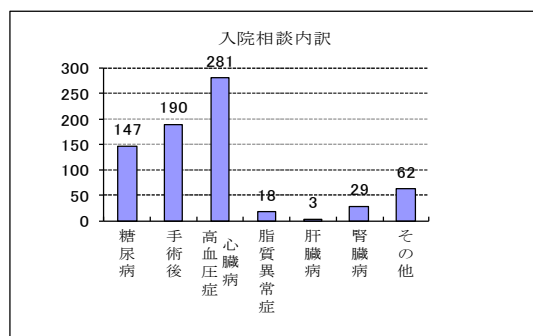
ア 栄養相談件数と人数の年度推移

管理栄養士が、医師の指示により入院患者及び外来患者に栄養相談を行いました。

年度	入 院		外 来		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成29年度	359	501	454	542	813	1,043
平成30年度	500	638	432	574	932	1,212
令和元年度	704	805	282	302	986	1,107



イ 令和元年度相談件数の内訳

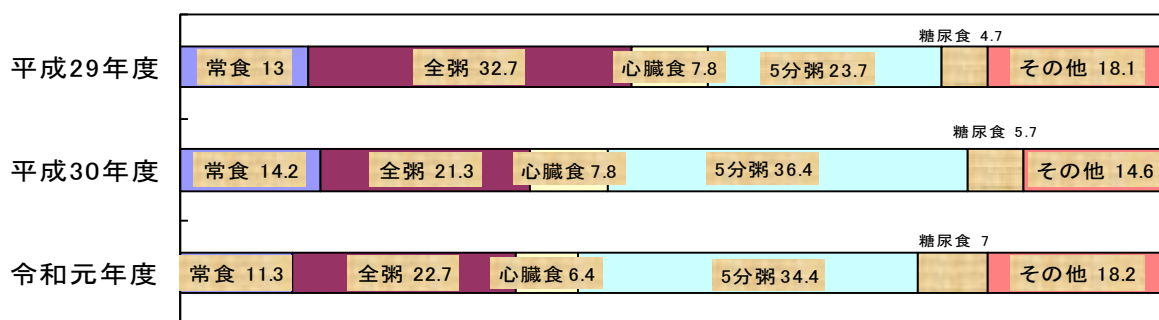


(4) 給食実施状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般食		127,056	147,063	126,659
	常食	23,317	28,433	20,637
	*全粥	58,541	43,583	41,388
	*5分粥	42,443	72,770	62,652
	3分粥	1,062	820	678
	流動	1,693	1,457	1,304
特別食		48,520	52,756	55,305
	特別食加算	31,740	36,204	37,478
	潰瘍食	4,094	3,404	4,644
	肝臓食	1,824	636	562
	糖尿食	8,537	11,520	12,750
	膵臓食	66	1,523	1,627
	腎臓食	1,604	1,177	1,417
	ネフローゼ食	0	0	0
	心臓食	13,953	15,631	11,801
	検査食	207	204	172
	濃厚流動食	0	292	15
	貧血食	1,455	1,817	4,490
	特別食非加算	16,780	16,552	17,827
	高血圧食	4,226	8,436	11,801
	離乳食	1	0	0
	濃厚流動食	7,067	8,116	6,026
	その他	5,486	0	0
患者食合計 A		175,576	199,819	181,964
検査及び保存食 B		3,285	3,285	3,294
総合計 A + B		178,861	178,861	185,258

*嚥下訓練食を含む

(5) 食種別構成比率



(6) ランチ講習会

栄養教室【健康づくりのためのおいしく楽しいランチ講習会】の実施

高齢者及び生活習慣病患者とその家族に、栄養バランス等の目的に応じた食事を実際に食べて頂き、健康・栄養に関する理解と正しい知識の習得を図ってもらうための講習会を行いました。

- 第1回 令和元年7月30日 : テーマ「食べて元気・骨元気」
- 第2回 10月29日 : テーマ「元気で長生きー栄養不足にならないためにー」
- 第3回 12月17日 : テーマ「病気予防と食事」
- 第4回 令和2年2月18日 : テーマ「スペシャル糖尿食」

2 手 術

（１）総手術件数

年度	総件数	外科	整形外科	産婦人科	泌尿器科	脳外科	眼科	形成外科	皮膚科	耳鼻科	その他
平成29年度	1,714	357	668	0	434	115	129	5	2	0	4
平成30年度	1,804	459	607	0	395	174	124	2	1	0	42
令和元年度	1,776	531	656	0	325	140	97	9	1	0	17

（２）麻酔別手術件数

麻酔種類 \ 年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度
全身麻酔	全身麻酔のみ	881	962	1,067
	＋硬・脊・伝	160	153	114
	小計	1,041	1,115	1,181
局所麻酔	脊椎麻酔	147	70	60
	脊椎＋硬膜外麻酔	0	0	0
	浸潤麻酔	526	549	469
	小計	673	619	529
総計		1,714	1,804	1,776
麻酔科管理手術件数		1,188	1,185	1,247

（３）分娩件数

区分	院内助産
平成29年度	44
平成30年度	53
令和元年度	29

(4) 各診療科手術件数 (各診療科集計)

手術名	年度	H29	H30	R元	手術名	年度	H29	H30	R元
外科					整形外科				
食道癌		1	0	2	脊椎脊髄外科				
胃癌 (腹腔鏡)		26 (0)	25 (5)	26 (2)	頸 椎				
胃十二指腸潰瘍		6	6	5	前方固定術		0	0	0
胃腸吻合、バイパス		0	3	0	椎弓固定術		0	0	0
結腸癌 (腹腔鏡)		42 (5)	48 (2)	54 (15)	椎弓形成術		5	3	5
大腸・直腸腫瘍		4	1	0	腰 椎				
結腸切除 (穿孔・捻転)		5	15	9 (2)	椎弓形成		14	30	19
腸閉塞 (腹腔鏡)		15 (0)	23 (2)	23 (5)	椎弓切除術		1	1	2
直腸癌 (腹腔鏡)		11 (2)	16 (0)	16 (2)	腰椎後方椎間板摘出術		3	5	3
人工肛門造設・閉鎖		16	25	11 (6)	腰椎後側方固定		5	6	1
小腸潰瘍、小腸切除		8	15 (1)	17 (2)	腰椎後方椎体間固定		7	5	4
肝腫瘍		2	10	2	脊椎脊髄腫瘍		1	0	0
胆道癌		1	0	2	その他		1	4	2
胆石症・胆嚢ポリープ		50 (28)	88 (53)	79 (59)	関節外科				
(腹腔鏡)					股関節				
総胆管結石		0	4	1	人工関節置換術		55	26	28
膵癌、十二指腸癌		0	0	1	人工関節再置換術		5	3	2
肺癌 (腹腔鏡)		5	2	4 (4)	人工骨頭置換術		79	78	59
気胸、血胸、膿胸 (腹腔鏡)		1	2	5 (5)	股関節形成術		0	0	0
痔核 痔瘻		3	1	4	股関節脱臼整復術		0	2	0
直腸脱		1	1	1	膝関節				
虫垂炎 (腹腔鏡)		27 (22)	47 (43)	34 (31)	人工関節全置換術		47	50	51
乳癌		13	10	13	人工膝関節単顆置換術		4	0	0
腹壁癒痕ヘルニア、臍ヘルニア		4	16	9 (8)	人工関節再置換術		1	0	1
鼠径ヘルニア成人 (腹腔鏡)		79 (62)	114 (110)	103 (99)	鏡視下半月板切除		0	0	0
大腿ヘルニア (腹腔鏡)		1	4	7 (7)	鏡視下滑膜切除術		0	1	3
腹腔内腫瘍・腹膜炎		2	4	22	脛骨骨切り術		7	2	3
試験開腹、ドレナージ		9	9	4	足関節				
気管切開		0	1	1	関節形成術・固定術		1	1	1
cvポート		15	13	16	肩関節				
他 小手術		21	30	43	人工関節置換術		0	0	0
計		368	533	514	人工骨頭置換術		1	2	0
					関節授動術・制動術		0	1	0
					肘関節・手関節・指関節				
					関節形成術・固定術		1	1	5
					関節授動術				3
					外傷				
					骨盤骨折		1	0	0
					大腿骨骨折				
					頸部 (人工骨頭を除く)		21	22	25
					転子部		73	91	79
					骨幹部		4	3	4
					顆 部		3	2	5
					膝蓋骨骨折		8	4	13
					下腿骨骨折				
					顆 部		6	6	7
					骨幹部		12	2	3
					果 部		21	28	13
					足部骨折				
					足根部		5	4	5
					足 趾		6	1	1
					鎖骨骨折		10	9	11
					肩鎖関節脱臼		0	1	1
					肩甲骨骨折		1	0	1
					肩関節脱臼		0	0	0
					上腕骨骨折				
					頸 部		14	15	18
					骨幹部		6	6	6

手術名	年度	H29	H30	R元	手術名	年度	H29	H30	R元
顎 部		10	13	5	皮膚科				
前腕骨骨折					母斑切除術		4	3	1
近位部（橈骨頭）		0	1	1	色素性母斑		4	3	1
近位部（肘頭）		6	9	3	皮膚良性腫瘍等切除術		12	13	16
骨幹部		4	4	1	上皮性腫瘍		7	5	7
遠位部		40	34	33	脂漏性角化症		1	1	3
手					類表皮囊肿		3	1	3
手根骨		1	4	2	石灰化上皮腫		0	1	0
手 指		17	27	24	エクリン汗孔腫		1	0	0
手複合損傷					毛包上皮腫		1	0	0
（骨折・腱・靱帯・断裂等）		1	1	3	ケラトアカントーマ		0	1	0
その他					Pilar cyst		1	0	0
偽関節手術		2	0	3	良性付属器腫瘍		0	1	0
手の外科、足の外科手術					Squamous cell papilloma		0	0	1
腱縫合術		5	4	3	神経嚢起原性細胞性腫瘍		2	2	3
腱移行術・腱移植術		2	0	0	神経線維腫		2	2	3
靱帯断裂縫合術			4	4	間葉系腫瘍		3	6	6
デュプイトラン拘縮		0	0	0	皮膚繊維腫		1	0	1
腱剥離術		0	0	1	軟性線維腫		0	1	1
腱鞘炎手術		11	13	12	脂肪腫		0	2	1
骨棘切除術			3	1	線維脂肪腫		0	1	1
その他		4		2	血管腫		1	0	0
末梢神経					毛細血管拡張性肉芽腫		1	2	2
手根管症候群手術		14	22	23	悪性腫瘍切除術		5	2	5
肘部管症候群手術		1	8	8	基底細胞癌		2	2	2
神経剥離術		1	1	1	有棘細胞癌		3	0	2
神経縫合術				1	メルケル細胞癌		0	0	1
アキレス腱縫合術		11	15	5	皮膚生検術		20	19	5
軟部腫瘍手術					日光角化症		3	2	0
良性軟部腫瘍手術		15	6	9	尋常性天疱瘡		1	0	0
骨腫瘍手術					水疱性類天疱瘡		0	1	0
良性骨腫瘍手術		4	1	1	好酸球性筋膜炎		0	0	1
転移性骨腫瘍手術		0	0	0	血管炎		3	3	0
感染症手術					転移性皮膚腫瘍		1	1	0
化膿性関節炎・骨髄炎手術		0	2	3	乳房外Paget病		0	1	0
筋・軟部組織感染症手術		9	4	3	悪性リンパ腫		8	3	3
切断術					薬疹		1	1	0
下 肢		5	3	0	Stevens-Johnson症候群		1	1	0
その他		2	5	3	Sarcoidosis		1	0	1
（手指・足趾・断端形成含む）					うっ滞性皮膚炎		0	1	0
抜釘術		61	80	73	乾癬		0	2	0
異物除去		0	4	1	皮膚筋炎		0	1	0
その他（陥入爪、褥創、植皮など）		3	0	3	アミロイドーシス		0	1	0
計		714	958	616	紅皮症		0	1	0
					その他		1	0	0
					植 皮 術		1	2	2
					皮膚潰瘍植皮術		1	0	1
					熱傷植皮術		0	2	1
					冷凍凝固術		272	253	237
					計		314	292	266

手術名	年度	H29	H30	R元	手術名	年度	H29	H30	R元
脳神経外科					泌尿器科				
脳腫瘍摘出術					腎、尿管				
原発性		6	5	4	尿管全摘除術（ラパロ）		1	3	1
転移性		0	0	0	腹腔鏡下腎摘出（後腹膜）		4	1	0
脳血管障害					腹腔鏡下腎摘出術（経膜）		1	0	3
脳動脈瘤クリッピング術		6	4	6	経皮的腎瘻造設術		17	11	7
脳動静脈奇形摘出術		0	0	0	尿管ステント		107	88	41
脳内血腫除去術		1	3	2	逆行性腎盂造影RP		40	43	33
脳室ドレナージ（出血）		0	3	2	順行性尿路造影AP		1	3	1
頭蓋内外血管吻合術		0	3	0	腎膿瘍穿刺ドレナージ		2	0	0
頭部外傷					経皮的腎のう胞穿術		2	1	0
急性硬膜下血腫除去術		0	2	0	腎ろう内瘻化				1
慢性硬膜下血腫除去術		23	24	15	腎盂鏡		1	0	0
機能的脳神経外科手術					腹腔鏡下ヘルニア根治術			1	0
微小血管減圧術		0	1	1	膀 胱				
ITBポンプ植え込み術		0	4	3	膀胱鏡		38	39	20
SCS装置植え込み術		0	5	2	膀胱全摘		2	2	0
脊髄脊椎手術		52	62	66	経皮的膀胱瘻造設術		1	2	5
その他					回腸導管		1	1	0
水頭症手術		5	8	17	ネオブラッター		1	1	0
減圧開頭術		0	0	0	経尿道的膀胱結石破碎術		7	7	10
脳室ドレナージ（出血以外）		0	4	1	膀胱切石術		0	1	0
血管内手術				5	経尿道的膀胱水圧拡張術			1	1
その他の手術		7	9	2	経尿道的膀胱止血術（TUC）		9	13	3
計		100	137	126	経尿道的膀胱切除術（TUR-BT）		66	63	72
眼科					膀胱頸部切開（TUR-Bn）		4	0	0
（眼瞼）					膀胱憩室焼灼術		1	0	0
麦粒腫切開術		1	0	0	前立腺				
マイボーム腺梗塞摘出術		1	0	0	経尿道的前立腺切除（TUR-P）		55	56	32
マイボーム腺切開術		1	3	0	ラパロ前立腺全摘		8	0	8
（結膜）					前立腺全摘除術		4	17	0
結膜結石除去術					前立腺生検査		140	133	86
1. 少数のもの（1眼瞼ごと）		6	5	6	尿 道				
（角膜、強膜）					経尿道的尿道狭窄拡張（b・d）		6	6	3
顕微鏡下角膜剥離術		0	0	0	カルンクル切除術		3	0	0
角膜・強膜異物除去術		1	0	1	陰のう				
（眼房、網膜）					高位除辜術		3	1	3
網膜光凝固術					陰のう水腫根治術		1	4	0
1 通常のもの		0	0	2	精索水腫根治術		0	2	0
2 その他特殊なもの（一連につき）		7	10	6	陰 茎				
（水晶体、硝子体）					背面切開		1	0	1
水晶体再建術					環状切除術		2	5	1
1 眼内レンズを挿入する場合		121	100	94	コンジローマ切除			1	0
硝子体切除術		2	2		皮下膿瘍切開ドレナージ		10	2	0
計		137	120	109	その他				
					ESWL		37	30	6
					経膈生検		2	0	0
					腫瘍切除術		0	4	0
					計		578	542	338

3 内視鏡

(1) 内視鏡検査件数

年度	上部消化管 内視鏡	大腸内視鏡	小腸内視鏡	気管支鏡	EUS	ERCP
平成29年度	2,415	1,285	1	39	29	206
平成30年度	2,546	1,327	3	59	34	233
令和元年度	2,307	1,192	0	48	59	307

(2) 内視鏡処置件数

年度	上部 EMR	上部 ESD	大腸 EMR	大腸 ESD	止血術	EVL	EIS	消化管 ステント	食道 バルーン拡張	胆道 ステント	胃ろう 造設	EUS FNA	イレウス 管
平成29年度	14	27	471	3	100	13	2		8	41	10		
平成30年度	3	22	581	6	122	3	0	27	10	58	16		
令和元年度	1	30	576	3	114	14	2	22	2	179	8	9	38

(3) 泌尿器科外来検査件数

区分	内視鏡			超音波							合計
年度	EF－膀胱尿道			残尿測定検査 (超音波検査による)		胸腹 (断層・心臓除く)		他 (断層・心臓除く)			
	外来	入院	小計	外来	入院	外来	入院	外来	入院	小計	
平成29年度	502	37	539	353	5	1,189	163	22	3	1,735	2,274
平成30年度	513	39	552	444	3	1,021	164	31	14	1,677	2,229
令和元年度	454	26	480	342	6	673	104	35	1	1,161	1,641

4 リハビリテーション科業務

(1) ア 診療科別実数

平成29年度

単位：人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
リハ科	0	5	5	0	4	4	0	2	2	0	0	0	0	0	0
整形外科	1	0	1	493	81	574	95	74	169	0	0	0	3	0	3
総合診療	0	0	0	535	0	535	26	1	27	7	0	7	4	19	23
脳外科	0	2	2	169	4	173	202	1	203	86	0	86	3	0	3
神経内科	0	1	1	95	2	97	70	1	71	38	1	39	1	0	1
循環器	1	0	1	153	0	153	3	0	3	1	0	1	0	0	0
泌尿器	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	18	0	18	0	0	0	2	0	2	3	0	3
皮膚科	1	0	1	3	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	8	11	1468	91	1559	397	79	476	134	1	135	14	19	33

平成30年度

単位：人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
リハ科	0	1	1	3	2	5	0	2	2	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	0	0	534	115	649	101	121	222	3	0	3	0	0	0
総合診療	1	1	2	829	0	829	42	0	42	17	0	17	12	7	19
脳外科	1	4	5	217	1	218	233	0	233	88	0	88	12	0	12
神経内科	0	2	2	81	5	86	72	1	73	37	0	37	1	0	1
循環器	1	0	1	190	0	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器	0	0	0	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	24	0	24	0	0	0	2	0	2	0	0	0
皮膚科	0	0	0	6	0	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	8	11	1893	124	2017	449	124	573	147	1	148	25	7	32

令和元年度

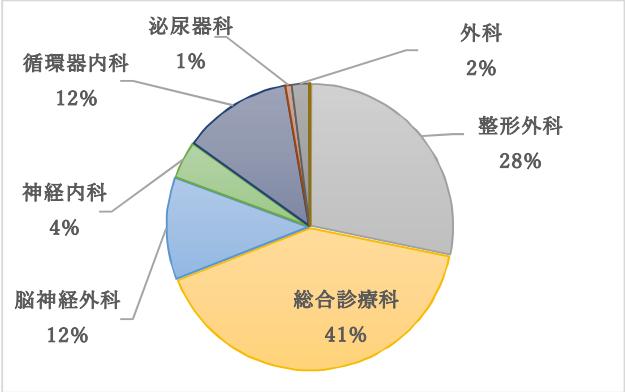
単位：人

診療科	診 察			理学療法			作業療法			言語療法			心理療法		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
リハ科	0	3	3	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	2	2	495	102	597	96	99	195	0	0	0	0	0	0
総合診療	2	1	3	718	0	718	48	1	49	20	0	20	1	16	17
脳外科	0	7	7	204	5	209	226	0	226	89	0	89	6	0	6
神経内科	0	7	7	75	5	80	63	0	63	25	1	26	0	0	0
循環器	0	0	0	218	0	218	0	0	0	1	0	1	0	0	0
泌尿器	0	0	0	12	0	12	0	0	0	1	0	1	0	0	0
外科	0	0	0	34	0	34	0	0	0	3	0	3	0	0	0
皮膚科	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	20	22	1759	114	1873	433	100	533	139	2	141	7	16	23

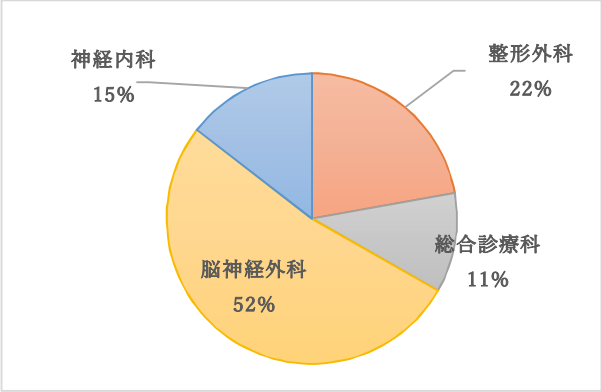
イ 令和元年度診療科別実数割合

(ア)入院

理学療法

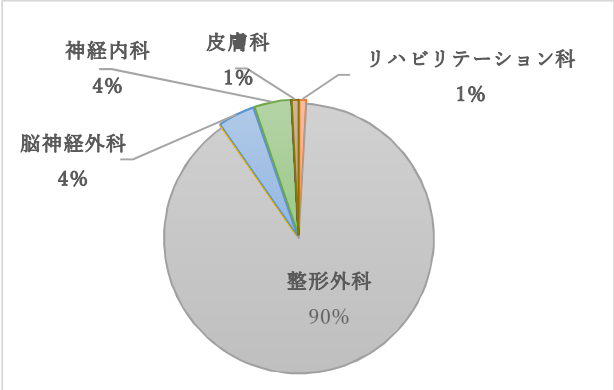


作業療法

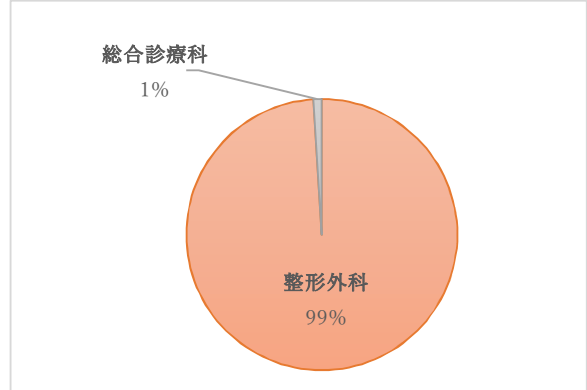


(イ)外来

理学療法



作業療法



(2) 訓練業務の推移 (延件数・単位)

理学療法

理学療法		請求項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			入院	外来	入院	外来	入院	外来
疾患別 リハビリテーション	件	運動器リハビリテーションⅠ(件)	9,412	1,160	7,113	1,045	6,332	671
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ(件)	4,445	40	4,768	8	4,955	29
		廃用症候群リハビリテーションⅡ(件)	4,689	0	4,929	0	4,485	0
		呼吸器リハビリテーションⅠ(件)	1,923	0	2,522	0	2,492	0
		運動器リハ料Ⅰ(不適合)(件)	0	75	0	87	0	0
		地域包括ケア運動器リハ等処置Ⅰ(件)	-	-	3,497	0	3,239	0
		地域包括ケア脳血管リハ等処置Ⅱ(件)	-	-	474	0	547	0
		地域包括ケア廃用リハ等処置Ⅱ(件)	-	-	1,297	0	1,006	0
		地域包括ケア呼吸器リハ等処置Ⅱ(件)	-	-	962	0	651	0
		早期加算 30日以内(件)	15,749	0	18,759	0	17,533	0
		疾患別リハビリテーション合計(件)	20,469	1,275	44,321	1,140	41,240	700
	単位	運動器リハビリテーションⅠ(単位)	-	-	8,820	1,072	8,244	674
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ(単位)	-	-	5,167	8	5,842	29
		廃用症候群リハビリテーションⅡ(単位)	-	-	5,086	0	4,731	0
		呼吸器リハビリテーションⅠ(単位)	-	-	2,582	0	2,680	0
		運動器リハ料Ⅰ(不適合)(単位)	-	-	0	87	0	0
		地域包括ケア運動器リハ等処置Ⅰ(単位)	-	-	4,194	0	3,869	0
		地域包括ケア脳血管リハ等処置Ⅱ(単位)	-	-	499	0	575	0
		地域包括ケア廃用リハ等処置Ⅱ(単位)	-	-	1,339	0	1,036	0
		地域包括ケア呼吸器リハ等処置Ⅱ(単位)	-	-	972	0	659	0
		早期加算 30日以内(単位)	-	-	21,160	0	20,601	0
		疾患別リハビリテーション合計(単位)	-	-	49,819	1,167	48,237	703
検査・評価	件	リハビリテーション総合計画評価料	405	0	966	0	904	126
		目標設定等支援管理料(初回)	-	-	130	0	103	0
		退院時リハビリテーション指導料	115	0	197	0	219	0
		認知機能その他心理検査(容易)	-	-	50	0	37	0
		検査・評価合計(件)	520	0	1,343	0	1,263	126
		総合計(件)	36,738	1,275	45,664	1,140	42,503	1,140

*平成30年度より疾患別リハビリテーションを件・単位数を記載

作業療法

作業療法		請求項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			入院	外来	入院	外来	入院	外来
疾患別 リハビリテー ション	件	運動器リハビリテーションⅠ	837	1,734	614	1,633	566	1,318
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	3,341	37	3,565	73	4,016	62
		廃用症候群リハビリテーションⅡ	80	0	108	0	58	0
		呼吸器リハビリテーションⅠ	22	0	36	0	143	0
		脳血管疾患等リハ料Ⅱ（不適合）	0	70	0	40	0	0
		地域包括ケア運動器リハ等処置Ⅰ	-	-	289	0	158	0
		地域包括ケア脳血管リハ等処置Ⅱ	-	-	226	0	182	0
		地域包括ケア廃用リハ等処置Ⅱ	-	-	66	0	4	0
		地域包括ケア呼吸器リハ等処置Ⅱ	-	-	10	0	10	0
		早期加算 30日以内	3,020	0	3,559	0	3,599	323
		疾患別リハビリテーション合計	7,300	1,841	8,473	1,746	8,736	1,703
	単位	運動器リハビリテーションⅠ	-	-	719	1,755	701	1,482
		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	-	-	4,461	108	5,167	83
		廃用症候群リハビリテーションⅡ	-	-	111	0	65	0
		呼吸器リハビリテーションⅠ	-	-	36	0	153	0
		脳血管疾患等リハ料Ⅱ（不適合）	-	-	0	40	0	0
		地域包括ケア運動器リハ等処置Ⅰ	-	-	312	0	173	0
		地域包括ケア脳血管リハ等処置Ⅱ	-	-	250	0	200	0
		地域包括ケア廃用リハ等処置Ⅱ	-	-	66	0	4	0
		地域包括ケア呼吸器リハ等処置Ⅱ	-	-	10	0	10	0
		早期加算 30日以内	-	-	4,418	0	4,627	323
		疾患別リハビリテーション合計	-	-	10,383	1,903	11,100	1,888
検査・評価	件	コース立方体知能検査	28	0	69	0	88	0
		ベントン視覚記録検査	3	0	11	0	29	0
		三宅式記録検査	1	0	32	0	22	0
		リハビリテーション総合計画評価料	-	-	262	0	366	323
		目標設定等支援管理料(初回)	-	-	27	0	15	0
		退院時リハビリテーション指導料	-	-	123	0	136	0
		認知機能その他心理検査(容易)	-	-	250	1	258	0
		検査・評価合計	32	0	774	1	914	323
総 合 計(件)		7,332	1,841	9,247	1,747	9,650	2,026	

* 平成30年度より疾患別リハビリテーションを件・単位数を記載

言語療法

単位:件

言語療法		請求項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			入院	外来	入院	外来	入院	外来
疾患別リハビリ		脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	0	0	0	0	0	0
言語検査		SLTA	20	0	22	0	18	0
		構音検査	0	0	0	2	2	4
		発声発語器官検査	108	0	113	1	117	0
		WAIS-Ⅲ	2	0	4	0	2	0
		長谷川式	0	0	0	0	1	0
心理療法		心身医学療法（入院）	573	0	557	0	587	0
		心身医学療法（外来）	0	23	0	19	0	14
		心身医学療法（再診外来）	0	38	0	50	0	49
心理検査		TEG（東大式エコグラム）	2	20	1	12	0	13
		バウム・テスト	0	0	1	0	0	0
		MMPI（CHAPS）	0	1	2	0	0	0
総 合 計			705	82	700	84	727	80

(3) 実習生受入状況

神奈川県立保健福祉大学	1年生	R1.8.15	1日	1名
理学療法学専攻				

5 放射線技術科業務

(1) 月別X線撮影実績（人数及び件数）

単 純 撮 影	部位 \ 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
	頭部	人数	9	16	9	8	15	5
		件数	20	35	22	18	34	10
	耳鼻顔面	人数	5	6	6	3	4	11
		件数	13	11	14	6	7	19
	胸部	人数	1, 513	1, 560	1, 340	1, 438	1, 349	1, 160
		件数	1, 884	1, 946	1, 685	1, 807	1, 675	1, 445
	腹部	人数	368	372	427	425	438	365
		件数	500	480	545	550	581	473
	椎骨	人数	422	452	395	391	391	354
		件数	1, 329	1, 495	1, 232	1, 269	1, 226	1, 146
	四肢骨	人数	713	696	660	663	713	649
		件数	1, 745	1, 730	1, 638	1, 664	1, 778	1, 664
	乳房	人数	40	42	81	95	85	94
		件数	150	156	308	364	319	364
	軟部	人数	2	0	2	5	4	2
		件数	5	0	4	10	8	4
	その他	人数	374	431	368	442	390	404
		件数	721	861	715	863	757	797
	計	人数	3, 446	3, 575	3, 288	3, 470	3, 389	3, 044
件数		6, 367	6, 714	6, 163	6, 551	6, 385	5, 922	
造影・透視撮影		人数	102	84	98	72	106	106
		件数	740	578	571	380	864	570
血管撮影		人数	18	19	20	20	22	15
		件数	149	172	148	311	182	124
放射線治療		人数	0	0	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0	0	0
ラジオアイソトープ検査		人数	43	45	47	68	73	47
		件数	428	438	425	634	746	474
CT	単純	人数	1, 002	1, 064	997	1, 074	1, 063	980
		件数	129, 080	137, 810	130, 370	141, 430	143, 040	127, 630
	造影	人数	198	185	172	175	179	167
		件数	36, 610	32, 240	32, 200	30, 840	32, 830	30, 280
	計	人数	1, 200	1, 249	1, 169	1, 249	1, 242	1, 147
		件数	165, 690	170, 050	162, 570	172, 270	175, 870	157, 910
MRI	単純	人数	251	242	240	284	242	221
		件数	78, 070	76, 012	74, 712	85, 455	73, 948	67, 484
	造影	人数	28	27	32	37	33	37
		件数	9, 885	9, 283	10, 835	13, 347	10, 446	14, 006
	計	人数	279	269	272	321	275	258
		件数	87, 955	85, 295	85, 547	98, 802	84, 394	81, 490
骨密度測定		人数	19	22	26	28	29	28
		件数	41	53	66	70	76	66

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	17	13	8	7	9	122
15	41	32	19	17	20	283
7	4	6	6	4	5	67
13	8	12	10	6	14	133
1,252	1,290	1,203	1,404	1,196	1,105	15,810
1,541	1,577	1,439	1,707	1,461	1,354	19,521
325	326	352	347	305	268	4,318
461	443	486	451	418	331	5,719
382	383	406	376	287	317	4,556
1,262	1,268	1,265	1,217	971	986	14,666
670	625	621	610	502	534	7,656
1,665	1,577	1,569	1,525	1,261	1,344	19,160
109	113	63	93	84	88	987
414	440	240	368	320	324	3,767
2	4	0	1	3	1	26
4	8	0	2	6	2	53
391	389	378	421	366	380	4,734
789	762	740	817	722	736	9,280
3,144	3,151	3,042	3,266	2,754	2,707	38,276
6,164	6,124	5,783	6,116	5,182	5,111	72,582
93	91	122	81	76	79	1,110
561	545	702	555	502	420	6,988
17	27	19	22	17	13	229
164	367	233	212	154	136	2,352
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
59	50	54	54	52	56	648
561	522	566	570	591	577	6,532
1,051	991	993	1,004	899	851	11,969
139,750	131,030	131,140	131,960	122,890	115,600	1,581,730
196	202	181	172	171	139	2,137
35,500	37,290	32,500	30,750	31,860	27,510	390,410
1,247	1,193	1,174	1,176	1,070	990	14,106
175,250	168,320	163,640	162,710	154,750	143,110	1,972,140
269	262	233	209	204	217	2,874
77,704	79,871	74,367	63,562	60,814	64,081	876,080
34	31	28	30	26	27	370
13,842	11,459	10,353	10,252	9,646	9,565	132,919
303	293	261	239	230	244	3,244
91,546	91,330	84,720	73,814	70,460	73,646	1,008,999
39	34	36	49	31	36	377
90	77	86	110	68	79	882

(2) X線撮影実績（人数及び件数）

年度 \ 区分		単純撮影	造影透視撮影	血管撮影	放射線治療	C T	M R I	骨密度測定
平成29年度	人数	40,421	1,055	371	146	14,002	3,266	-
	件数	75,523	5,984	4,680	146	2,563,151	873,888	-
平成30年度	人数	42,109	1,136	357	0	14,934	3,212	347
	件数	77,241	6,522	4,349	0	2,091,765	933,169	796
令和元年度	人数	38,276	1,110	229	0	14,106	3,244	377
	件数	72,582	6,988	2,352	0	1,972,140	1,008,999	882

※骨密度測定は2018年7月より検査開始

(3) 時間外救急実績（人数及び件数）

年度 \ 区分		単純撮影	C T	血管撮影
平成29年度	人数	5,874	2,732	59
	件数	9,313	418,880	957
平成30年度	人数	6,154	3,033	71
	件数	9,330	403,240	1,332
令和元年度	人数	5,371	2,783	32
	件数	8,169	367,470	431

(4) 高度医療機器共同利用実績（人数）

年度 \ 区分		C T	M R I	R I	骨密度測定
平成29年度	人数	179	60	0	-
平成30年度	人数	199	75	0	8
令和元年度	人数	191	111	4	7

6 検査技術科業務

(1) 臨床検査件数（大分類）

年度	分類	一般検査	血液学的検査	血清学的検査	臨床化学的検査	細菌学的検査	病理学的検査	生理機能検査	その他検体検査	合 計
平成29年度	件数	234,566	303,692	97,773	905,330	20,641	11,525	17,804	285	1,591,670
	構成比 (%)	14.7	19.1	6.2	56.9	1.3	0.7	1.1	0.0	100.0
平成30年度	件数	228,252	311,406	100,404	994,681	26,904	18,389	18,844	333	1,699,213
	構成比 (%)	13.5	18.3	5.9	58.5	1.6	1.1	1.1	0.0	100.0
令和元年度	件数	198,495	291,844	91,142	887,190	25,100	13,460	17,084	258	1,524,573
	構成比 (%)	13.0	19.2	6.0	58.2	1.6	0.9	1.1	0.0	100.0

(2) 緊急検査（土日祝日・時間外）件数

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件 数	7,089	7,856	7,339

(3) 委託

年度	一般検査	血液学的検査	血清学的検査	臨床化学的検査	細菌学的検査	病理学的検査	そ の 他	合 計
平成29年度	18	36	10,115	3,555	246	21	144	14,135
平成30年度	25	100	9,276	3,421	265	24	196	13,307
令和元年度	7	77	8,472	3,163	190	20	178	12,107

(4) 血液製剤使用量

年度	濃厚赤血球		全 血		洗浄赤血球		新鮮凍結血漿		濃 厚 血 小 板				自己血	
	200ml 由 来	400ml 由 来	200ml	400ml	200ml 由 来	400ml 由 来	200ml 由 来	400ml 由 来	5単位	10単位	15単位	20単位	200ml	400ml
平成29年度	38	826	0	0	0	0	0	107	0	12	1	1	0	232
平成30年度	28	678	0	0	0	1	0	86	0	13	0	2	0	181
令和元年度	2	648	0	0	0	0	0	94	0	18	1	13	0	165

(5) 院内研修等

月 日	講 師	テ ー マ
R1.5.9	町田淳	Cobas 6000で発生したアラームのつかない異常反応データについて
R1.6.12	外部講師（Sysmex）	XNシリーズの測定原理とデータのみかた
R1.8.8	町田淳	みんなで考えてみよう PART1
R1.9.5	町田淳	みんなで考えてみよう PART2
R1.10.3	大金直樹	細胞診における免疫染色の可能性
R1.12.4	外部講師（赤十字血液センター）	血液製剤の取り扱いと注意点 輸血副作用
R2.1.9	外部講師（シノテスト）	酵素項目の標準化 ～IFCC法への移行について～
R2.2.5	能條潤	ISO15189認定施設 病理検査室における試薬管理

(6) 実習生受入状況

学 校 名	科 名	学年	期 間	日数	人数
湘中央医学技術専門学校	検査科	3 年生	R1.5.13～R1.8.30	78日	1名
麻布大学	臨床検査技術学科	3 年生	R2.1.14～R2.3.6	37日	2名

(7) 月別臨床検査数

臨床検査件数調 令和元年度

大分類	中分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 一般	一般検査	18,148	19,465	16,569	17,737	17,460	16,354
	A 尿一般検査	18,022	19,303	16,413	17,672	17,381	16,298
	B 糞便検査	22	23	16	17	11	11
	C 髄液検査	72	105	106	42	42	23
	Z その他	32	34	34	6	26	22
2 血液	血液学的検査	24,994	25,845	23,985	27,119	26,295	23,645
	A 血液一般形態検査	22,755	23,470	21,938	24,807	24,121	21,649
	B 凝固線溶関連検査	2,110	2,270	1,935	2,194	2,073	1,905
	C 血液化学検査	0	0	0	0	0	0
	Z その他	129	105	112	118	101	91
3 生化学	生化学的検査	75,047	76,668	71,453	80,337	77,838	70,857
	A 蛋白・膠質反応	10,429	10,814	10,184	11,499	11,202	10,070
	B 酵素及び関連物質	21,725	22,517	20,784	23,538	22,790	20,797
	C 低分子窒素化合物	10,218	10,469	9,877	11,189	10,856	9,864
	D 糖質及び関連物質	4,106	4,176	3,892	4,418	4,242	3,953
	E 有機酸	18	32	5	9	9	9
	F 脂質及び関連物質	4,626	4,467	4,061	4,431	4,103	4,084
	G ビタミンおよび関連物質	0	0	0	0	0	0
	H 電解質・血液ガス	16,153	16,136	15,094	16,923	16,383	14,568
	I 生体微量金属	316	370	291	341	293	291
	J 生体色素関連物質	7,407	7,634	7,230	7,956	7,916	7,191
	K 毒物・産業医学的代謝物質	0	0	0	0	0	0
	L・M 薬物	37	44	27	30	40	28
	Z その他	12	9	8	3	4	2
4 内分泌	内分泌学的検査	1,458	1,215	1,171	1,310	1,209	1,148
	ホルモン（4Z以外）	865	700	698	761	711	687
	Z その他	593	515	473	549	498	461
5 免疫	免疫学的検査	7,119	7,182	6,718	7,379	7,242	6,601
	A 免疫グロブリン	249	173	177	205	189	187
	B 補体及び関連物質	97	56	63	56	62	57
	C 血しょう蛋白	3,275	3,416	3,189	3,572	3,526	3,114
	D 腫瘍関連抗原	778	723	682	762	773	707
	E 感染症（非ウイルス）関連検査	653	664	613	660	611	563
	F ウイルス感染症検査	846	877	754	848	776	773
	G 自己免疫関連検査	63	67	70	80	58	59
	H 免疫血液学的検査	1,158	1,206	1,170	1,196	1,247	1,141
	I 細胞免疫検査	0	0	0	0	0	0
	J サイトカイン	0	0	0	0	0	0
	K HLA	0	0	0	0	0	0
	Z その他	0	0	0	0	0	0
6 微生物	微生物学的検査	2,109	2,418	2,243	2,493	2,460	2,118
	A 塗抹・形態検査	262	300	284	291	277	259
	B 培養・同定検査	1,456	1,682	1,530	1,746	1,759	1,466
	B 核酸同定検査	18	12	16	14	12	14
	C 薬剤感受性検査（一般）	369	416	406	434	404	371
	C 薬剤感受性検査（抗酸菌）	0	0	0	0	0	0
	Z その他	4	8	7	8	8	8
7 病理	病理学的検査	969	1,101	955	1,205	1,215	1,030
	A 細胞診検査	183	211	187	182	164	184
	B 病理組織検査（生検組織）	595	526	526	697	569	586
	B 病理組織検査（試験切除）	0	0	0	0	0	0
	B 病理組織検査（手術切除）	191	364	242	326	482	260
	B 病理組織検査（その他）	64	72	78	89	81	164
	C 迅速凍結組織検査	0	0	0	0	0	0
	D 電子顕微鏡検査	0	0	0	0	0	0
	Z 解剖（体数）	0	0	0	0	0	0
	Z 病理組織検査（剖検）	0	0	0	0	0	0
8 その他	その他検体検査	9	13	6	3	6	15
	A 負荷試験・機能検査	9	13	6	3	6	15
	B 遺伝子関連検査（染色体）	0	0	0	0	0	0
	C 遺伝子関連検査	0	0	0	0	0	0
	Z その他	0	0	0	0	0	0
9 生理機能	生理機能検査	1,551	1,555	1,429	1,528	1,452	1,356
	A 循環器機能検査	896	874	802	873	807	709
	B 脳・神経機能検査	39	34	24	38	43	29
	C 呼吸機能検査	202	201	186	189	213	194
	D 前庭・聴力検査	0	0	0	0	0	0
	E 眼科関連機能検査	0	0	0	0	0	0
	F 超音波検査	396	434	398	422	362	405
	N 健診関連	18	12	19	6	27	19
	Z その他	0	0	0	0	0	0
合 計		131,404	135,462	124,529	139,111	135,177	123,124

1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	院内件数	委託件数	受託件数	合計
17,041	16,283	15,651	15,998	13,666	14,116	198,488	7		198,495
16,917	16,159	15,492	15,940	13,512	13,987	197,096			197,096
22	23	21	9	13	15	203	2		205
78	83	112	30	123	105	921			921
24	18	26	19	18	9	268	5		273
24,766	24,132	24,084	24,344	21,194	21,364	291,767	77		291,844
22,602	22,109	22,100	22,207	19,397	19,587	266,742			266,742
2,056	1,929	1,867	2,033	1,722	1,691	23,785	77		23,862
0	0	0	0	0	0	0			0
108	94	117	104	75	86	1,240			1,240
74,598	72,594	71,293	72,011	63,052	64,154	869,902	1,623		871,525
10,550	10,277	10,154	10,183	9,133	9,278	123,773	17		123,790
21,805	21,338	21,228	21,178	18,576	18,880	255,156	273		255,429
10,259	10,026	9,879	9,934	8,624	8,802	119,997	10		120,007
4,087	3,917	3,850	3,980	3,347	3,453	47,421	117		47,538
3	6	12	3	2	6	114	4		118
4,368	4,133	3,923	4,222	3,617	3,652	49,687	69		49,756
0	0	0	0	0	0	0	990		990
15,704	15,358	14,634	14,823	13,094	13,250	182,120			182,120
309	336	267	274	235	257	3,580	14		3,594
7,458	7,173	7,317	7,377	6,390	6,531	87,580	1		87,581
0	0	0	0	0	0	0			0
48	29	21	28	32	39	403	119		522
7	1	8	9	2	6	71	9		80
1,138	1,132	1,091	1,211	991	1,051	14,125	1,540		15,665
672	686	649	704	585	629	8,347	1,384		9,731
466	446	442	507	406	422	5,778	156		5,934
6,932	7,021	6,960	7,153	6,267	6,096	82,670	8,472		91,142
213	241	213	160	148	180	2,335	711		3,046
50	64	60	46	36	44	691	111		802
3,149	3,140	3,154	3,065	2,696	2,735	38,031	525		38,556
761	718	708	755	673	699	8,739	1,697		10,436
618	671	561	663	587	566	7,430	728		8,158
865	912	1,118	1,086	887	808	10,550	1,783		12,333
59	56	71	41	51	62	737	2,671		3,408
1,217	1,219	1,075	1,337	1,189	1,002	14,157			14,157
0	0	0	0	0	0	0	133		133
0	0	0	0	0	0	0	113		113
0	0	0	0	0	0	0			0
0	0	0	0	0	0	0			0
2,008	2,200	1,982	1,653	1,595	1,631	24,910	190		25,100
243	268	233	191	197	178	2,983			2,983
1,382	1,522	1,356	1,150	1,110	1,148	17,307			17,307
14	9	10	4	7	2	132	56		188
353	393	375	300	273	295	4,389	0		4,389
0	0	0	0	0	0	0	9		9
16	8	8	8	8	8	99	125		224
1,302	1,187	1,260	1,044	1,109	1,063	13,440	20		13,460
164	207	144	138	148	159	2,071			2,071
725	629	393	522	564	470	6,802	20		6,822
0	0	0	0	0	0	0			0
406	351	723	382	348	394	4,469			4,469
220	170	113	108	97	113	1,369			1,369
7	0	0	2	0	40	49			49
0	0	0	0	0	0	0			0
0	0	0	0	1	0	1			1
0	0	0	0	48	0	48			48
4	3	7	6	0	8	80	178		258
4	3	7	6	0	8	80			80
0	0	0	0	0	0	0	1		1
0	0	0	0	0	0	0	112		112
0	0	0	0	0	0	0	65		65
1,401	1,433	1,314	1,530	1,288	1,247	17,084	0		17,084
767	759	698	786	692	637	9,300			9,300
39	33	36	33	33	33	414			414
173	180	138	192	150	137	2,155			2,155
0	0	0	0	0	0	0			0
0	0	0	0	0	0	0			0
384	438	405	452	353	409	4,858			4,858
38	23	37	67	60	31	357			357
0	0	0	0	0	0	0			0
129,190	125,985	123,642	124,950	109,162	110,730	1,512,466	12,107	0	1,524,573

7 薬剤科業務

(1) 処方箋発行状況

区分 年度	外来				入院処方箋	入院及び外来 処方箋枚数	入院及び外来 注射箋枚数
	院内処方箋	院外処方箋	処方箋枚数	院外処方箋発行率			
平成29年度	6,674	64,132	70,806	90.57%	39,687	110,493	195,678
平成30年度	6,396	61,876	68,272	90.63%	44,124	112,396	210,277
令和元年度	5,145	57,107	62,252	91.74%	41,877	104,129	168,803

(2) 薬効別使用状況

薬効名（大）	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	金額（円）	構成比（%）	金額（円）	構成比（%）	金額（円）	構成比（%）
中枢神経系用薬	21,862,499	4.6%	21,989,233	4.5%	21,265,396	4.6%
循環器官用薬	22,705,557	4.8%	15,795,298	3.2%	9,980,663	2.2%
呼吸器官用薬	5,670,224	1.2%	6,424,303	1.3%	5,928,820	1.3%
消化器官用薬	36,400,240	7.7%	35,306,403	7.2%	32,475,240	7.1%
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	57,732,301	12.2%	56,652,204	11.6%	56,698,287	12.4%
ビタミン剤	687,847	0.1%	764,487	0.2%	553,585	0.1%
滋養強壮薬	8,677,309	1.8%	9,148,084	1.9%	9,758,151	2.1%
血液・体液用薬	29,389,423	6.2%	29,933,287	6.1%	28,921,633	6.3%
その他の代謝性医薬品	30,119,782	6.4%	28,635,503	5.9%	28,716,403	6.3%
腫瘍用薬	140,075,343	29.7%	156,368,503	32.1%	137,205,017	30.0%
アレルギー用薬	702,458	0.1%	540,718	0.1%	394,536	0.1%
抗生物質及び化学療法剤	48,242,800	10.2%	47,784,290	9.8%	58,805,044	12.9%
生物学的製剤	25,704,645	5.5%	33,814,165	6.9%	24,401,085	5.3%
診断用薬（体外診断用薬品を除く）	16,076,105	3.4%	15,727,550	3.2%	13,059,210	2.9%
その他	27,393,814	5.8%	28,132,072	5.8%	29,266,037	6.4%
合 計	471,440,347	100.0%	487,016,100	100.0%	457,429,107	100.0%

(3) 製剤数

年度	区分	内用散剤 （g）	外用液剤 （mL）	軟膏剤 （g）	注射剤 （mL）	坐剤 （個）	外用散剤 （g）	内用液剤 （mL）
平成29年度	製剤数量	0	41,310	24,025	0	0	0	0
	無菌製剤	0	6,850	0	694,678	0	0	0
平成30年度	製剤数量	0	49,190	30,363	0	0	0	0
	無菌製剤	0	7,770	0	523,004	0	0	0
令和元年度	製剤数量	0	38,110	22,009	0	0	0	0
	無菌製剤	0	7,100	0	481,524	0	0	0

(4) 麻薬使用量（麻薬年間届の数量）

【内用薬】

年度	MS コンチン	MS コンチン	オプソ内服液	オプソ内服液	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ
	10mg（錠）	60mg（錠）	5mg（包）	10mg（包）	10mg（錠）	原末（g）	10倍散（g）
平成29年度	692	54	390	555	0	0	0
平成30年度	460	56	342	956	74	0	0
令和元年度	200		580	54	7	0	0

年度	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコドン 徐放カプセル	オキシコンチン	オキノーム散	オキノーム散	オキノーム散
	5mg（カプセル）	10mg（カプセル）	20mg（カプセル）	40mg（カプセル）	40mg（錠）	2.5mg（包）	5mg（包）	10mg（包）
平成29年度	3,071	2,812	416		52	1,635	1,650	547
平成30年度	2,675	1,762	781	236	62	1,957	1,046	591
令和元年度	1,236	472	287	283		1,284	609	828

年度	ナルサス	ナルサス	ナルサス	ナルラピド	ナルラピド	アブストラ 舌下錠	アブストラ 舌下錠
	2mg（錠）	6mg（錠）	12mg（錠）	1mg（錠）	2mg（錠）	100μg（錠）	200μg（錠）
平成29年度						305	49
平成30年度	20					240	160
令和元年度	98	66	20	114	40	621	228

【外用薬】

年度	アンベック 坐剤	アンベック 坐剤	デュロテップ MTパッチ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ	フェントス テープ
	10mg（個）	20mg（個）	2.1mg（枚）	0.5mg（枚）	1mg（枚）	2mg（枚）	4mg（枚）	6mg（枚）	8mg（枚）
平成29年度	171	73	0		1,723	772	203	461	17
平成30年度	265	58	11		1,165	947	199	447	70
令和元年度	318	66		63	968	440	353	370	89

【注射薬】

年度	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	塩酸モルヒネ	オキファスト	オキファスト	ナルバイン
	10mg（A）	50mg（A）	200mg（A）	10mg（A）	50mg（A）	2mg（A）
平成29年度	873	259	25			
平成30年度	842	197	12	22	0	
令和元年度	816	133		250	178	533

年度	ペチジン	フェンタニル	アルチバ	ケタラール 静注用
	35mg（A）	0.1mg（A）	2mg（V）	200mg（V）
平成29年度	1,427	5,565	1,090	2
平成30年度	1,601	5,957	1,291	0
令和元年度	1,637	5,729	1,599	2

(5) 注射薬

区分 年度	室温保存品				冷所保存品			合計（本数）
	100mL未満	100mL～ 500mL未満	500mL以上	計（本数）	100mL未満	100mL以上	計（本数）	
平成29年度	209,490	43,810	68,466	321,766	8,708	10	8,718	330,484
平成30年度	236,769	42,885	69,912	349,566	8,519	108	8,627	358,193
令和元年度	238,464	43,725	65,633	347,822	8,069	6	8,075	355,897

(6) 採用品目数

年度	内用	外用	注射	計
平成29年度	603	219	490	1,312
平成30年度	593	216	489	1,298
令和元年度	586	216	496	1,298

(7) 後発品移行状況（後発品採用品目数）

年度	内用	外用	注射	計	総採用数	後発品採用率
平成29年度	81	17	36	134	1,312	10.21%
平成30年度	174	48	108	330	1,298	25.42%
令和元年度	176	58	116	350	1,298	26.96%

(8) 医薬品情報（D I）業務

（単位：件）

年度	問い合わせ件数	錠剤鑑別数
平成29年度	2,125	2,210
平成30年度	2,047	2,248
令和元年度	1,846	2,083

(9) 薬剤管理指導業務

令和元年度	指導患者数 （人）	全指導数 （件）	薬剤管理 指導料 （件）	薬剤管理算定回数患者数（人）				退院時薬剤 情報管理 指導料 （件）	麻薬加算 （件）
				1回	2回	3回	4回		
4月	342	602	438	260	64	14	2	172	2
5月	342	578	414	292	41	8	4	180	8
6月	380	676	475	301	62	14	2	218	4
7月	422	730	529	282	70	25	8	218	15
8月	402	665	449	327	42	10	2	219	6
9月	399	628	460	281	64	13	3	181	10
10月	419	766	507	290	70	15	8	192	5
11月	395	656	417	295	70	17	1	206	9
12月	360	551	376	249	53	7	0	202	6
1月	341	606	390	246	49	14	1	157	13
2月	356	606	405	253	55	10	3	169	6
3月	353	632	398	241	56	13	1	169	6
累計	4,511	7,696	5,258	3,317	696	160	35	2,283	90

(1 0) 薬剤管理指導・関連業務収益

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
薬剤管理指導業務算定件数	3,881	5,145	5,258
〃 収益 (円)	13,024,650	17,269,050	17,732,550
退院指導 (加算) 件数	795	1,743	2,283
〃 収益 (円)	715,500	1,568,700	2,054,700
麻薬指導 (加算) 件数	40	45	90
〃 収益 (円)	20,000	22,500	45,000
合計収益 (円)	13,760,150	18,860,250	19,832,250

病棟薬剤業務実施加算件数	1,905	11,783	11,131
--------------	-------	--------	--------

※平成30年2月より開始

(1 1) 無菌製剤業務 (抗がん剤混合等)

(単位: 件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成29年度	296	293	270	228	314	288	270	345	221	244	214	230	3,213
平成30年度	175	199	179	235	254	220	226	249	244	268	275	240	2,764
令和元年度	261	288	242	289	151	154	194	202	179	201	229	226	2,616

(1 2) 実習生受入状況

年度	Ⅰ期 (5月～7月)		Ⅱ期 (9月～11月)		Ⅲ期 (1月～3月)	
平成29年度	各1名	昭和薬科大学・星薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学
平成30年度	各1名	昭和薬科大学・星薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学

年度	Ⅱ期 (5月～8月)		Ⅲ期 (8月～11月)		Ⅳ期 (11月～2月)	
令和元年度	1名	昭和薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学	各1名	昭和薬科大学・横浜薬科大学

※コアカリキュラム改訂に伴う実習期間の変更

8 地域医療センター業務

地域医療センターは、従来からの地域医療連携室に加え、総合診療部・救命救急部・入退院支援センターを併設し運営をしています。

【地域医療連携室】

(1) 地域医療連携室業務実績の推移と地域活動の状況

〔医療連携業務〕

① 紹介患者データベース作成と管理

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
紹介受数	5,188	5,592	5,701
紹介出数	5,034	5,722	7,278
平均返信率	92.00%	97.20%	90.30%
平均紹介率	56.00%	64.30%	74.00%

② 紹介予約診療（FAXによる紹介予約件数）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
診療予約件数	535件	506件	524件
内視鏡予約件数	45件	40件	41件
エコー予約件数	5件	10件	17件

③ 近隣地域の医療機関・施設への訪問（連携医療機関・施設200箇所）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
訪問件数	62件	61件	75件

④ 脳卒中地域連携パス

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域連携件数	19件	18件	21件

⑤ 大腿骨近位部骨折地域連携パス

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域連携件数	80件	65件	66件

⑥ 肝疾患地域連携パス

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域連携件数	24件	25件	30件

*平成29年4月より開始、令和元年度3月にて中止

⑦ 歯科医師会との連携（周術期口腔機能管理件数）

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	術前	術後	術前	術後	術前	術後
管理Ⅰ（がん等にかかわる手術を実施する外来患者）	79	0	47	4	96	1
管理Ⅱ（がん等にかかわる手術を実施する入院患者）	80	100	145	116	144	132
管理Ⅲ（放射線治療や化学療法を実施する患者）	31		16		0	

⑧ 地域薬剤連携・地域栄養相談・地域リハビリ相談

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域薬剤連携 薬剤連携会議		4	4	4
地域栄養相談件数	入院14・外来 栄養サマリー	入院0・外来0 栄養サマリー0	入院1・外来0 栄養サマリー1	
地域糖尿病栄養相談件数		1	1	2
地域リハビリ相談件数		4	6	0

[看護保健部門・医療福祉部門の業務]

受診援助、退院後の療養の早期準備、地域との継続的・協働的な療養相談、在宅療養での救急対応、医療・福祉サービスの相談などの実践

医療福祉相談依頼件数	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入院	1,681件 延べ業務数19,663	2,339件 延べ業務数14,011	2,671件 延べ業務数14,052
外来 ※平成30年度より外来表記		延べ373人 延べ業務数880	延べ401人 延べ業務数653

[地域への広報活動]

- ・病院情報誌「かけはし」年3回発行（62号～64号）発行部数 各2000部
地域行政機関・医療機関・福祉施設・訪問看護ステーションなど204箇所配布
インターネットへ「かけはし」の掲載 正面玄関など院内各所へ設置
- ・研修会・研究会案内作成・発送
- ・病院・医院・施設等訪問・・・75箇所
- ・足柄歯科医師会との連携

[研修会・研究会を通じての地域との交流]

医療・介護地域連絡会・・・5回

※平成29年度より足柄上地区在宅医療・介護支援センターと共催で実施

地域薬剤師会地域医療連携会議への出席・・・4回

[看護保健部門 医療福祉部門の主な地域関連]

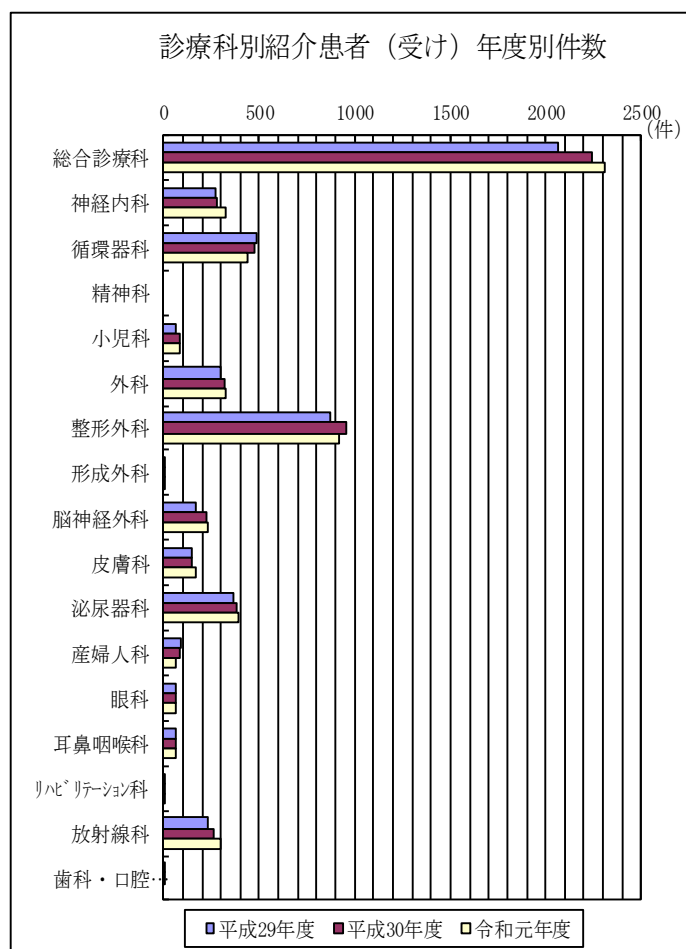
院外連携会議・・・30回

[その他]

医療通訳派遣システム事業・・・0件

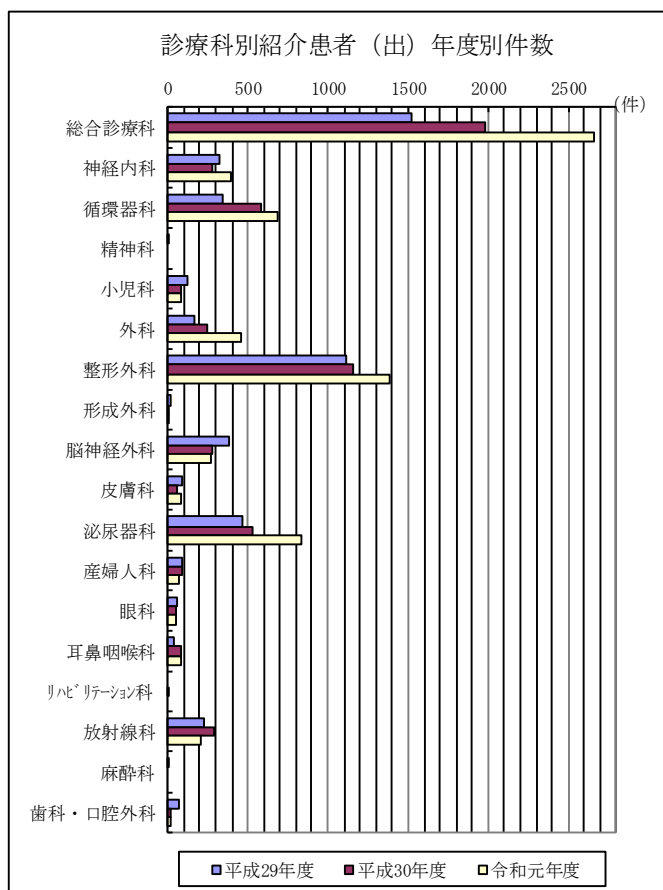
(2) 診療科別紹介患者（受け）件数

診療科	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総合診療科	2,061	2,243	2,310
神経内科	273	277	322
循環器科	486	480	444
精神科	0	0	0
小児科	61	78	85
外科	295	315	328
整形外科	870	959	916
形成外科	7	3	7
脳神経外科	166	226	233
皮膚科	150	144	170
泌尿器科	367	385	394
産婦人科	90	78	61
眼科	59	68	63
耳鼻咽喉科	64	68	67
リハビリテーション科	3	3	3
放射線科	235	264	298
歯科・口腔外科	1	1	0
合計	5,188	5,592	5,701



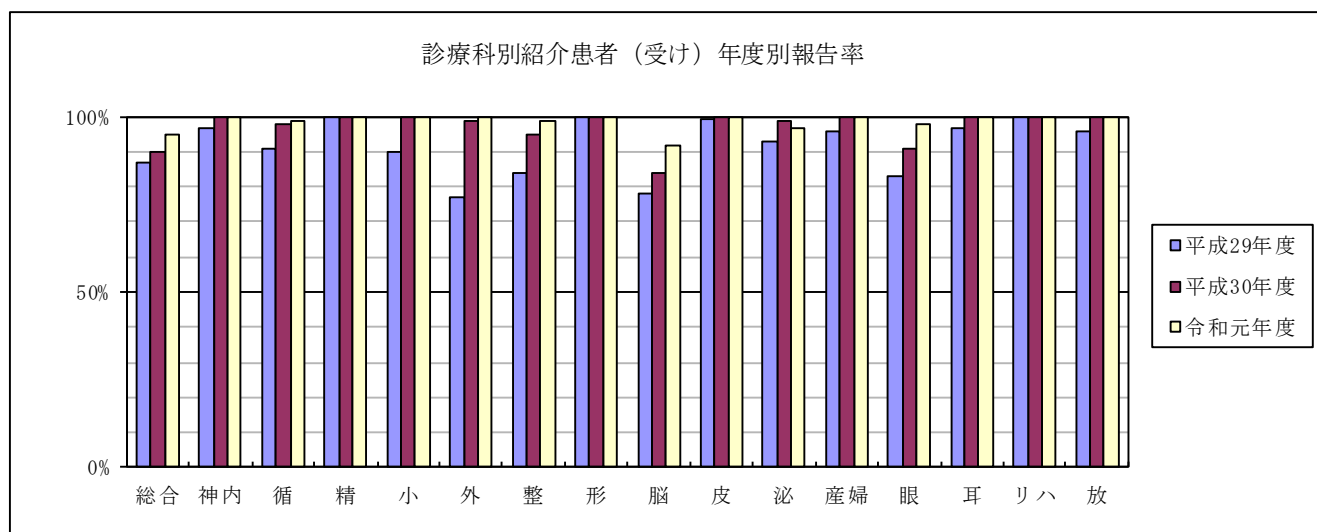
(3) 診療科別紹介患者（出し）件数

診療科	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総合診療科	1,519	1,981	2,656
神経内科	317	275	389
循環器科	341	579	685
精神科	4	0	0
小児科	122	86	82
外科	167	250	460
整形外科	1,115	1,156	1,390
形成外科	14	2	4
脳神経外科	387	274	273
皮膚科	89	61	78
泌尿器科	465	534	836
産婦人科	96	87	68
眼科	55	51	53
耳鼻咽喉科	41	77	77
リハビリテーション科	0	2	0
放射線科	232	285	204
麻酔科	1	0	0
歯科・口腔外科	69	22	23
合計	5,034	5,722	7,278



(4) 診療科別紹介患者報告率

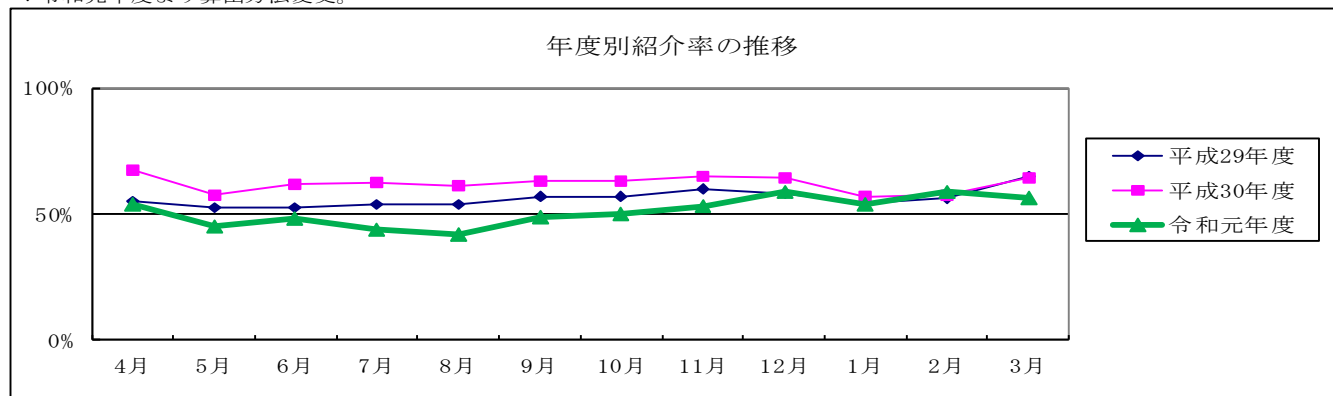
報告率	総合	神内	循	精	小	外	整	形	脳	皮	泌	産婦	眼	耳	リハ	放	歯科	平均
平成29年度	87%	97%	91%	100%	90%	77%	84%	100%	78%	99%	93%	96%	83%	97%	100%	96%	100%	92%
平成30年度	90%	100%	98%	100%	100%	99%	95%	100%	84%	100%	99%	100%	91%	100%	100%	100%	100%	97%
令和元年度	95%	100%	99%	100%	100%	100%	99%	100%	92%	100%	97%	100%	98%	100%	100%	100%	0%	93%



(5) 紹介率の推移

紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成29年度	55.1%	52.6%	52.6%	53.6%	53.5%	56.6%	56.7%	60.2%	58.0%	54.3%	56.0%	65.0%	56.0%
平成30年度	67.3%	57.2%	61.8%	62.7%	61.3%	62.9%	63.2%	64.9%	64.6%	57.1%	57.2%	64.3%	61.9%
令和元年度	53.8%	45.3%	48.2%	43.9%	41.7%	48.9%	49.8%	53.1%	58.9%	53.6%	58.6%	56.1%	50.3%

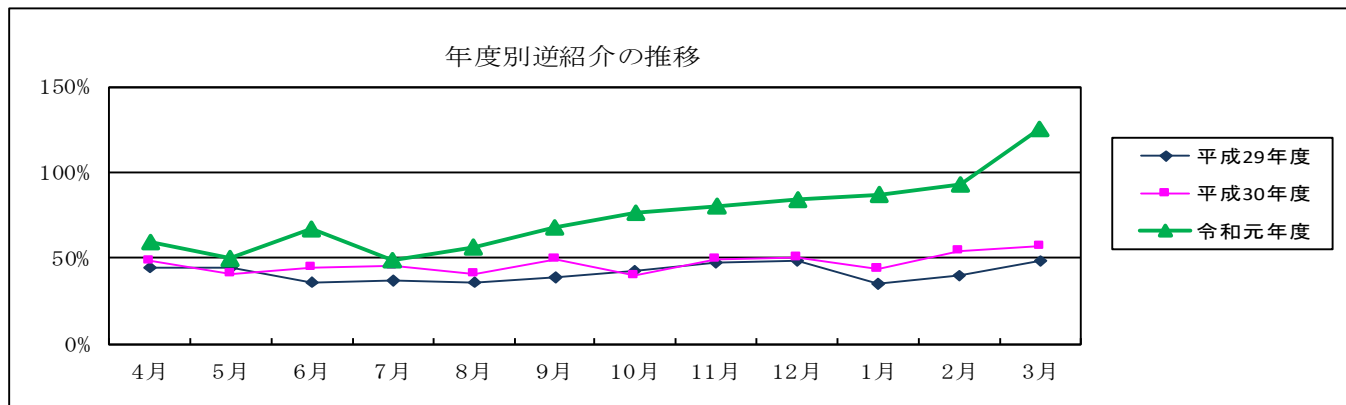
* 令和元年度より算出方法変更。



(6) 逆紹介率の推移

逆紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成29年度	45.0%	44.6%	36.2%	37.5%	35.9%	38.8%	43.2%	47.7%	48.2%	35.5%	40.0%	48.8%	41.5%
平成30年度	48.7%	41.3%	44.5%	45.9%	41.0%	49.9%	40.3%	49.1%	50.4%	43.4%	53.9%	56.8%	47.7%
令和元年度	59.6%	50.2%	66.8%	48.6%	56.4%	68.4%	76.9%	80.7%	84.2%	87.1%	93.3%	125.0%	71.8%

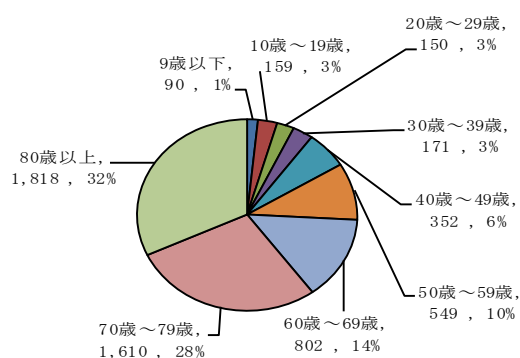
* 令和元年度より算出方法変更。



(7) 紹介患者（受け）年齢別件数

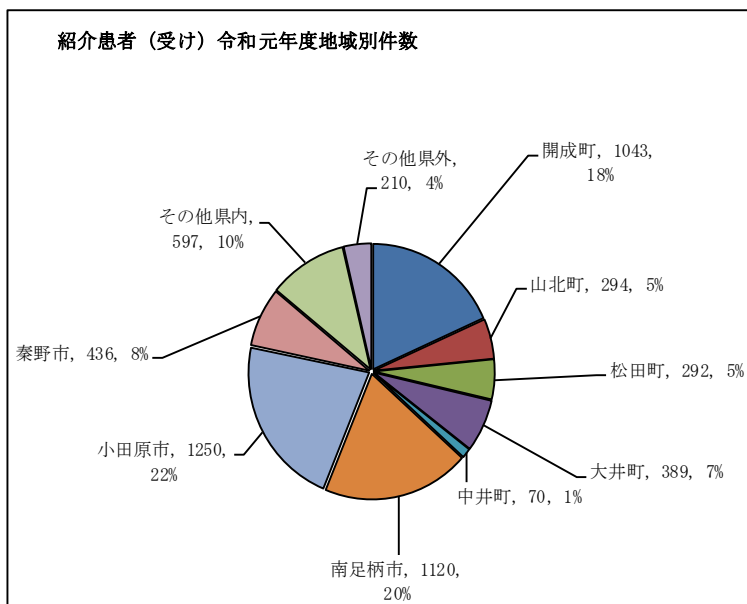
年齢	平成29年度	平成30年度	令和元年度
9歳以下	87	75	90
10歳～19歳	131	140	159
20歳～29歳	134	178	150
30歳～39歳	195	204	171
40歳～49歳	359	391	352
50歳～59歳	461	487	549
60歳～69歳	832	777	802
70歳～79歳	1,377	1,504	1,610
80歳以上	1,612	1,836	1,818
計	5,188	5,592	5,701

紹介患者（受け）令和元年度年齢別件数



(8) 紹介患者（受け）地域別件数

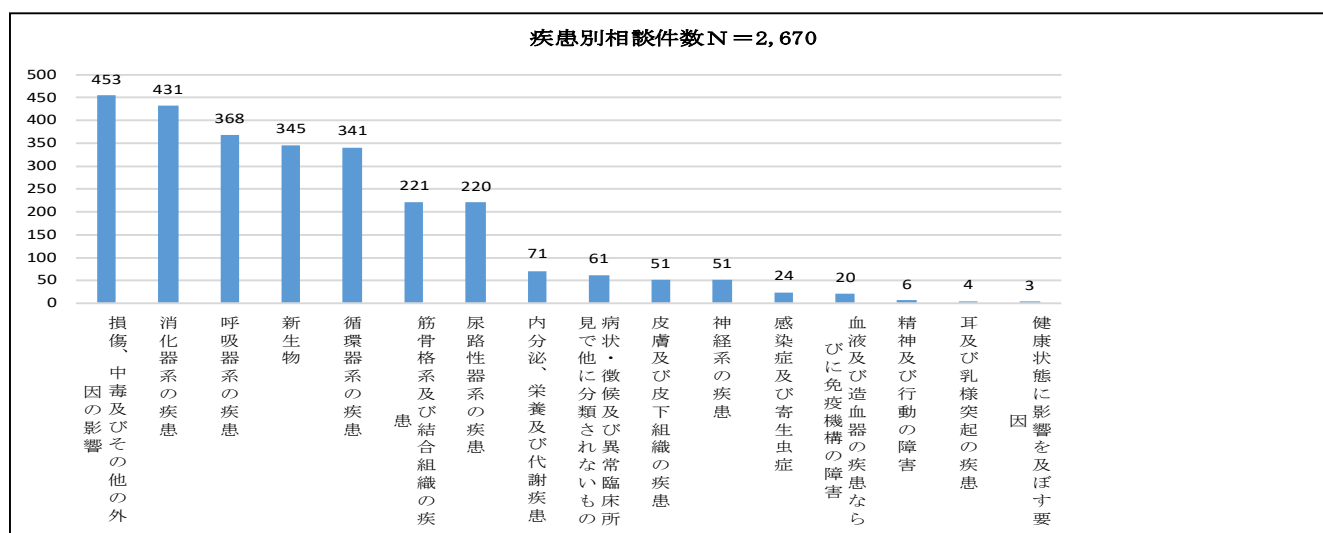
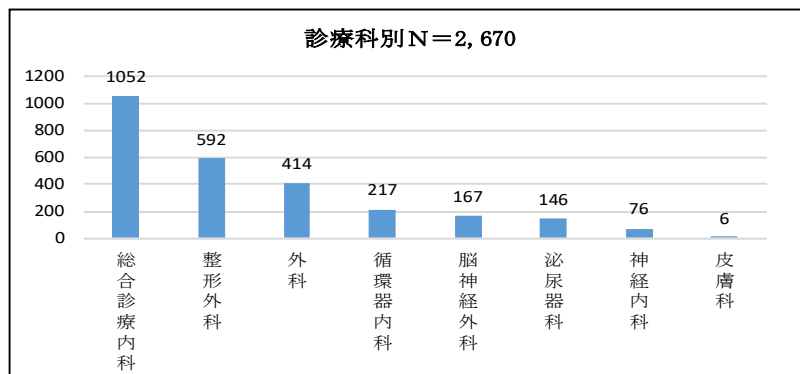
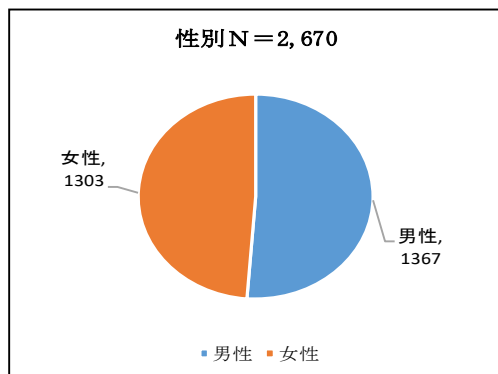
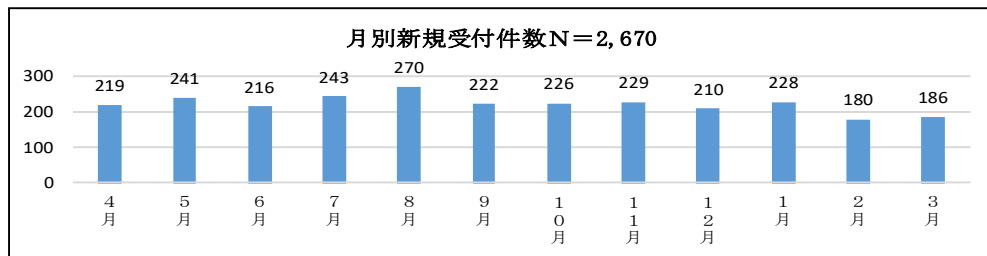
市町村	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開成町	755	1,061	1,043
山北町	552	285	294
松田町	455	216	292
大井町	541	364	389
中井町	46	75	70
南足柄市	1,317	1,008	1,120
小田原市	787	1,297	1,250
秦野市	410	419	436
その他県内	176	621	597
その他県外	149	246	210
計	5,188	5,592	5,701

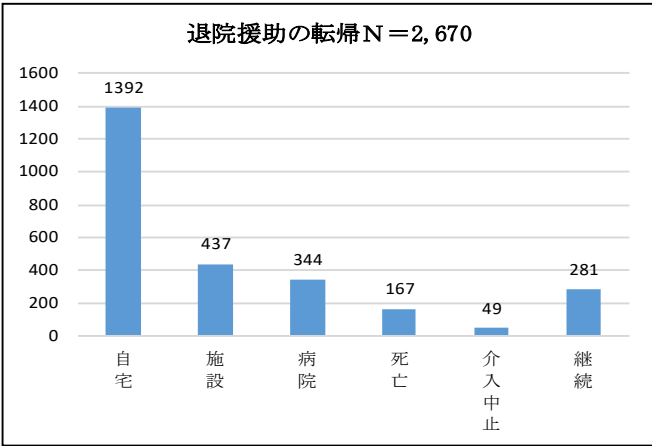
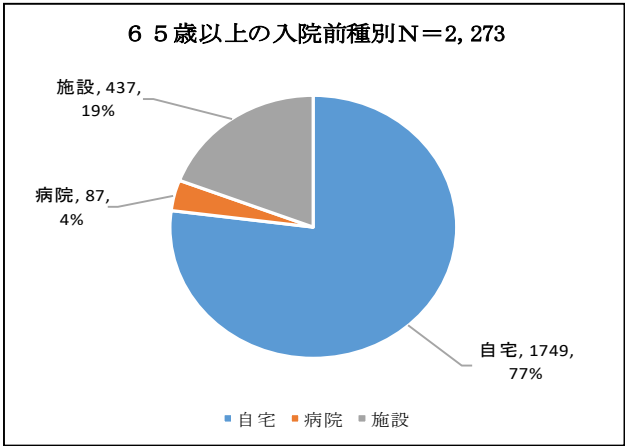
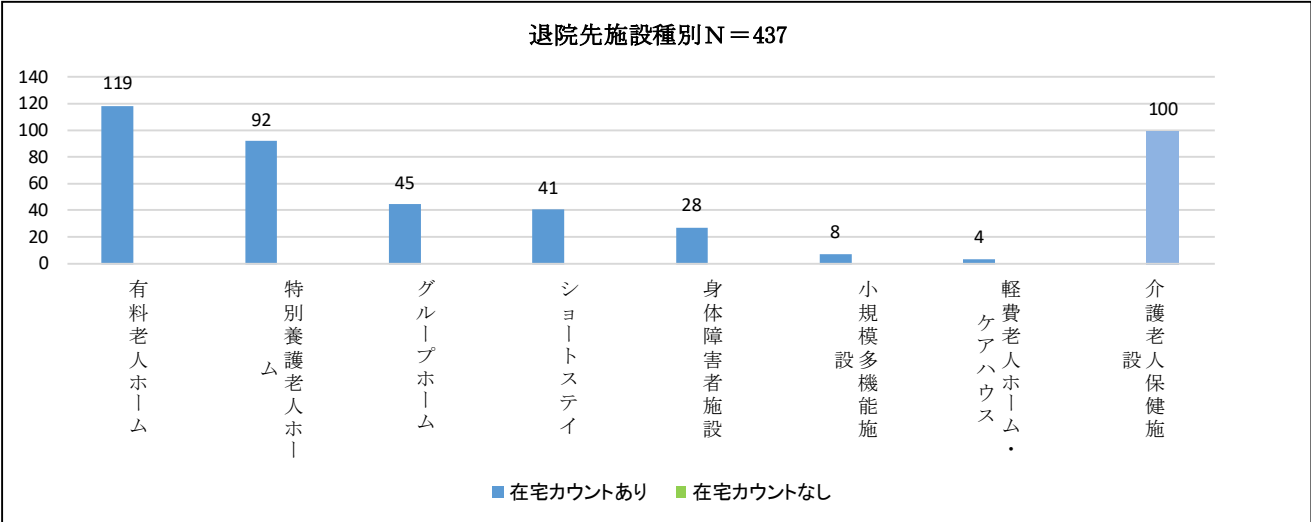


(9) 相談依頼受付状況

年齢群別

8歳～29歳	35
30歳～39歳	22
40歳～64歳	307
65歳～74歳	532
75歳～84歳	905
85歳～94歳	748
95歳以上	121
合計	2,670





(10) 神奈川県在宅難病患者受入病床確保事業・受入状況

受入疾患

大脳皮質基底核変性症	2名
混合性結合組織病	1名
多巣性運動ニューロパチー	1名

入院日数	34日
延べ人数	4人
実人数	3人
入院前訪問	0人
18,670円(1日当たり)×29日＝	541,430円
19,000円(1日当たり)×5日＝	95,000円
診療報酬	1,448,670円
合計	2,085,100円

(11) 患者さん相談室活動状況

1 令和元年度相談件数

～相談 7 割、苦情 3 割～

令和元年度の相談総数は 160 件であった。内訳は、「D 相談」が 104 件（65%）で最も多く、続いて「A 職員個人に対する苦情・意見」が 23 件（14%）、「C 病院への要望」が 22 件（14%）であった（表 1、図 1）。

また、「A 職員個人に対する苦情・意見」及び「B 特定の部署、職種に関する苦情・意見」の各項目について見ていくと、上位 3 項目「説明の不足、または説明内容」、「接遇（態度、言葉遣い、表情など）」、「コミュニケーション、人間関係」の合計が 7 割弱を占める（図 2）。ここから、患者さんは医療者の技術等に不満があるというより、その伝え方や伝わり方に齟齬が生じてクレームとなっているケースが多いと考えられる。

経年変化をみると、令和元年度の相談総数は過去 8 年間で最も多かった。内訳では、前年度に比べ「D 相談」が 26 件（33%）、また、「A 職員個人に対する苦情・意見」、「B 特定の部署、職種に関する苦情・意見」及び「C 病院への要望」の合計が 7 件（15%）増加している（図 3）。

患者さん相談室では、患者さんと職員的话をそれぞれ傾聴することで論点を整理し、問題解決に努めた。今後も患者さんからの相談を伺い、当事者同士の相互理解の促進に向けて支援していきたい。

表 1 令和元年度 相談総数内訳

項目	件数
A 職員個人に対する苦情・意見	23
1 接遇（態度、言葉遣い、表情など）	5
2 説明の不足、または説明内容	7
3 コミュニケーション、人間関係	2
4 他のスタッフとの連携	2
5 治療・看護の内容	3
6 技術・手技的な問題	1
7 倫理的な問題	1
8 その他	2
B 特定の部署・職種に関する苦情・意見	7
1 接遇（態度、言葉遣い、表情など）	3
2 説明の不足、または説明内容	2
3 コミュニケーション、人間関係	1
4 チームの連携	0
5 治療・看護の内容	0
6 技術・手技的な問題	0
7 倫理的な問題	0
8 その他	1
C 病院への要望	22
1 病院の方針、姿勢、対応	11
2 施設・設備などハード面	5
3 診療などのシステム、体制（ソフト面）	4
4 療養環境としての快適性	1
5 その他	1
D 相談	104
E 感謝	0
F その他	4
合計	160

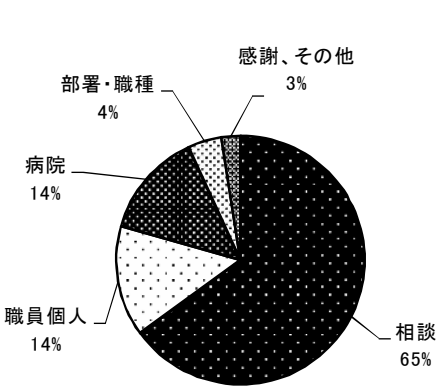


図 1 令和元年度 相談総数内訳

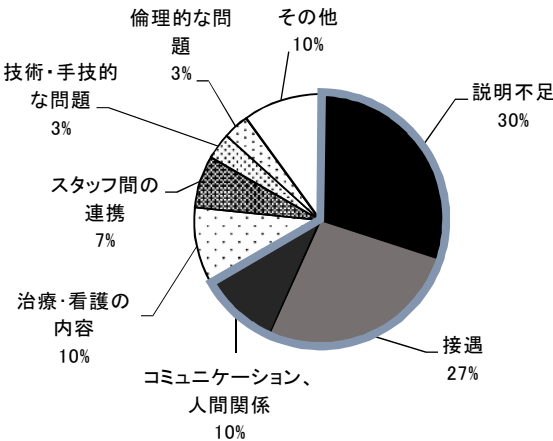


図 2 令和元年度 苦情内容内訳

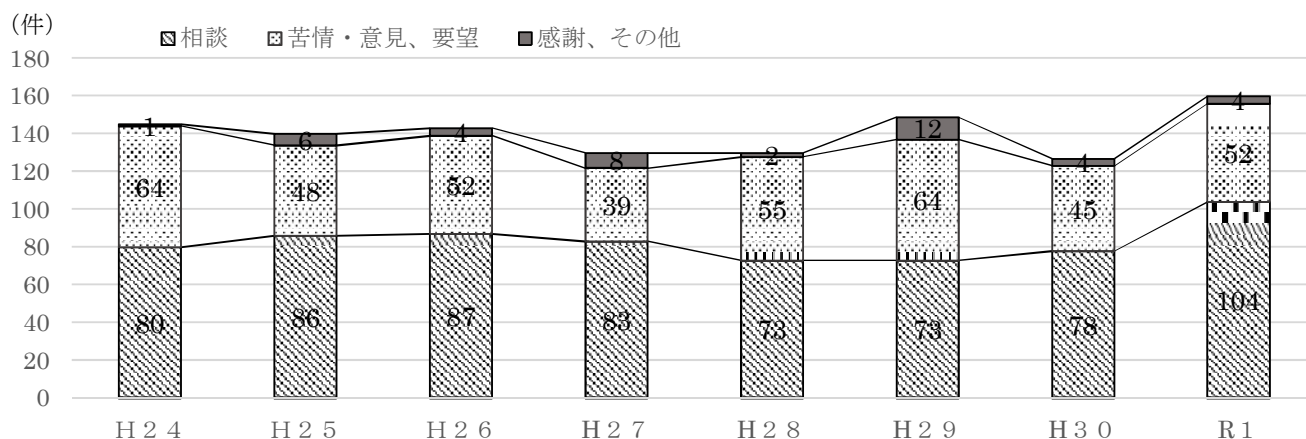


図3 相談件数内訳の経年変化

2 令和元年度投書件数

令和元年度はご意見箱（院内9箇所設置）に108件の投書が寄せられた。前年度に比べ3件（3%）増加している。内訳としては、「C 病院への要望」が全体の半数弱を占め、これに「A 職員個人に対する苦情・意見」と「B 特定の部署・職種に関する苦情・意見」を加えると全体の7割を超える。「E 感謝」は約2割であった（表2、図4）。

感謝と苦情の割合は、当院の提供する医療や環境にご満足いただけているかを示す指標の一つである。患者さんやご家族にご満足いただける病院に近づくよう、より良い医療、環境づくりに努めていきたい。

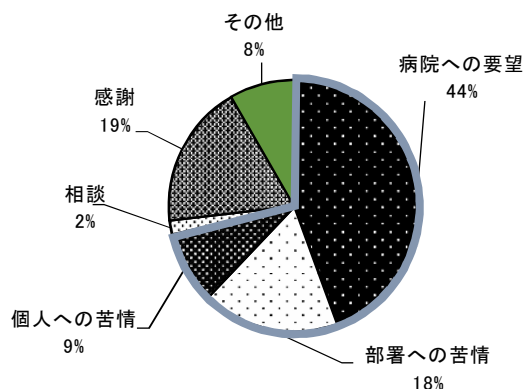


図4 令和元年度 投書内訳

表2 令和元年度 投書件数内訳

項目	件数
A 職員個人に対する苦情・意見	10
1 接遇(態度、言葉遣い、表情など)	7
2 説明の不足、または説明内容	0
3 コミュニケーション、人間関係	0
4 他のスタッフとの連携	0
5 治療・看護の内容	2
6 技術・手技的な問題	0
7 倫理的な問題	1
8 その他	0
B 特定の部署・職種に関する苦情・意見	19
1 接遇(態度、言葉遣い、表情など)	3
2 説明の不足、または説明内容	3
3 コミュニケーション、人間関係	7
4 チームの連携	1
5 治療・看護の内容	3
6 技術・手技的な問題	0
7 倫理的な問題	0
8 その他	2
C 病院への要望	48
1 病院の方針、姿勢、対応	4
2 施設・設備などハード面	19
3 診療などのシステム、体制(ソフト面)	5
4 療養環境としての快適性	18
5 その他	2
D 相談	2
E 感謝	20
F その他	9
合計	108

【入退院支援センター】

当センターは、入院前から退院後の療養生活を視野に入れ、患者・家族より情報を収集し、退院に向け起こりうる問題を早期に発見し、その情報を病棟看護師および専門職種と共有を図り、患者・家族の望む生活に向けて、入院中早期から退院支援・退院調整を開始することを目的としている。また、入院時予定される検査・手術が行われるように入院前から支援することや入院に関する業務の効率化も図っている。

1. 対応実績

① 予約入院

1) 実施内容

入院時、持参書類の記載がされているか確認をする。記載漏れがある場合はその場で追記載を促し、書類を完成させ、病棟へ案内する。

看護師は、持参した緊急連絡先および入院時間診票からアセスメントシートに入力をする。

2) 実施者

クラークおよび看護師

平成 29 年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	117	126	119	100	142	142	145	111	146	98	124	131	1,501

平成 30 年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	153	124	137	138	151	125	172	171	131	151	136	118	1,707

令和元年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	110	140	152	133	120	133	136	125	125	123	129	136	1,562

② 緊急入院

1) 実施内容

入院が決定した緊急入院の方を対象に、入院前の生活状況や病歴の聴取、今後の療養生活に関する考え等を病棟や関連部署と共有し、早期退院につなげる。

2) 実施者

看護師

平成 29 年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
面談件数 (件)	116	98	138	93	106	101	102	90	88	113	113	123	1,281
面談実施率 (%)	85.3	81.0	79.5	79.5	74.6	79.5	77.9	71.4	71.5	88.3	86.3	83.1	80.4
平均面談数/日	5.8	4.9	6.3	4.7	4.8	5.1	4.9	4.5	4.4	5.9	5.9	5.9	5.3

平成 30 年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
面談件数 (件)	124 (4)	173 (33)	170 (22)	169 (19)	185 (16)	140 (19)	155 (17)	140 (17)	153 (12)	140 (11)	147 (12)	140 (13)	1,836 (195)
面談実施率 (%)	93.2	96.6	96.6	96.6	94.0	95.0	96.9	94.0	90.0	95.2	99.3	91.5	95.0
平均面談数/日	6.2	8.2	8.1	8.0	8.0	7.8	7.0	6.7	8.1	6.7	7.7	7.0	7.5

() 内の数字は、16 : 30 以降に入院決定し、面談した数 (令和元年度も同様)。

令和元年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
面談件数 (件)	137	144	140	155	164	122 (4)	161 (12)	158 (14)	129 (9)	123 (8)	118 (8)	117 (7)	1,668 (62)
面談実施率 (%)	86.1	80.6	91.4	94.5	97.0	96.7	98.8	100	97.7	99.2	99.2	97.4	94.0
平均面談数/日	5.6	5.8	6.4	7.0	7.5	6.7	7.4	8.1	6.3	6.4	6.5	5.4	6.6

③入院時支援面接数

1) 実施内容

外来通院中に、入院 (手術または検査) が決定した患者に対し、予定された期間で退院できるように治療内容の説明や入院生活に関するオリエンテーション、入院前生活状況の把握、退院困難要因のスクリーニング、栄養状態の把握、内服薬の確認など多職種連携して行なっている。

平成 30 年度より開始し、現在外科系 4 科対応している。

2) 実施者

クラーク・看護師・栄養士・薬剤師

平成 30 年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	4	10	8	12	14	42	50	57	59	92	73	69	490
泌尿器科	4	10	8	11	13	16	9	17	7	21	13	12	141
整形外科				1	1	26	33	29	23	38	31	29	211
脳神経外科							8	11	11	6	11	8	55
外科									18	27	18	20	45
平均面談数/日		1.0	0.7	1.0	1.3	2.8	3.6	4.0	3.9	4.4	3.8	3.5	

令和元年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総件数	68	90	72	67	69	65	71	75	68	69	70	59	843
泌尿器科	11	14	14	12	14	9	11	15	10	24	16	12	162
整形外科	32	41	26	31	23	21	26	25	27	23	22	23	320
脳神経外科	11	16	10	7	9	8	14	7	9	7	12	7	117
外科	14	19	22	17	23	27	20	28	26	15	20	17	248
平均面談数/日	3.2	4.5	3.6	3.2	3.1	3.5	3.4	3.6	3.8	3.6	3.8	2.8	

④入院時支援加算件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	0	0	0	0	0	1	4	28	37	37	46	50	203
令和元年度	45	44	59	49	41	59	56	34	63	39	57	48	594

⑤周術期口腔機能管理算定件数

1) 実施内容

外来で手術が予定されたときに、医師が口腔外科の入院前受診を予約する。しかし、外科患者の受診率が伸びなかったため、令和元年11月より外科の手術前の患者に対して、医師の口腔外科の受診説明のあと、入退院支援センター看護師が予約をとることにした。

周術期等口腔機能管理（Ⅰ）術後、周術期口腔機能管理後手術加算は令和元年度より算定している。

周術期等口腔機能管理計画策定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	6	6	4	20	12	10	11	28	21	15	10	14	157
令和元年度	12	14	16	21	11	14	7	15	30	31	28	26	225

周術期等口腔機能管理（Ⅰ）術前

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	5	4	2	8	3	5	3	4	6	3	3	1	47
令和元年度	5	7	6	9	3	2	2	9	13	14	12	14	96

周術期等口腔機能管理（Ⅰ）術後

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

周術期口腔機能管理（Ⅱ）術前

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	4	5	6	14	12	6	13	27	19	14	10	15	145
令和元年度	7	8	12	16	6	15	6	7	18	18	16	15	144

周術期口腔機能管理（Ⅱ）術後

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	4	5	6	9	12	9	8	20	17	8	9	9	116
令和元年度	1	8	11	17	9	8	6	9	15	15	12	21	132

周術期口腔機能管理後手術加算

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	0	0	0	0	0	0	0	3	10	7	5	7	32

【在宅療養支援部門】

在宅療養後方支援契約状況

1. 契約数

平成29年度	36名
平成30年度	22名
令和元年度	20名

※契約前の死亡例は除く

2. 後方支援契約前に、急変等により当院からの訪問で在宅看取りを行った回数

平成29年度	7名
平成30年度	8名
令和元年度	12名

3. 診療科別数

平成29年度	内科	33名
	循環器内科	3名
平成30年度	内科	22名
令和元年度	内科	17名
	外科	3名

4. 訪問診療回数

平成29年度	92回
平成30年度	176回
令和元年度	141回

5. 軽症在宅短期パス使用数

平成29年度	21名	総訪問回数	41回
平成30年度	43名	総訪問回数	74回
令和元年度	13名	総訪問回数	16回

※平成28年度開始

【救命救急部門】

1. 救急患者のうち救急車で搬送された患者

平成29年度	3,164名
平成30年度	3,496名
令和元年度	3,073名

2. 救急患者数(第3章 患者の概況(8)救急患者取扱状況 参照)

9 看護局業務

(1) 看護局ミッション

地域住民の健康な生活を支え、地域に根ざし信頼される看護を提供します。

(2) 看護局ビジョン

- 1 信頼される医療の提供
患者さん、地域の方にとって信頼される安心な医療を提供するとともに、患者さん中心の看護を探求します。
- 2 円滑な組織運営
組織は人なりという考え方に立ち、組織人として期待される責務を果たすという信頼関係を基盤に、チーム医療や業務改善を推進して、円滑な組織運営の共創に努めます。
- 3 自律した看護師の育成
相互に人を大切に、共に育つようキャリア形成を支援し、主体的に学び行動する自律した看護師の育成を目指します。
- 4 ワークライフバランスの促進
仕事と生活を両立して働き続けられる環境を築き、良質な人材を確保して、質の高い安定した看護の提供につなげます。

(3) 令和元年度 看護局目標

- 1 安全で安心な看護の提供
- 2 円滑な病床管理
- 3 教育体制の充実
- 4 魅力ある職場環境づくり

(4) 令和元年度 看護局目標評価

1 安全で安心な看護の提供

患者個々のニーズに合わせた看護の実践のため、ヘンダーソン看護論に沿った標準看護計画の整備、および看護手順の見直しに取り組んだ。また褥瘡・摂食嚥下・NST・認知症ケアの各リンクナースを中心に、急性期及び高齢者看護ケアの質向上を図った。

他職種と安全で安心な療養環境の共創として、看護補助者の夜間配置を実施し看護補助者との連携を図り業務を進めている。また「足柄式看護提供方式」の運用基準を作成し、看護師がベッドサイドに長くいられる体制を整備した。

入院前から退院を見据えた看護システムの構築については、入退院支援の強化として退院支援カンファレンスの定着、また病棟看護師が責任をもってケアマネジャーとの連絡調整を実施する連携業務を手順化した。また入退院支援リンクナースが地域の訪問看護ステーションで訪問看護師のシャドウイング研修を実施し、当院の退院支援の課題を理解し看護実践に活かすことができた。

2 円滑な病床管理

適切な病床運営により病床利用率の向上を図った。「断らない救急」の実現のため、地域包括ケア病棟を活用しながらスムーズな救急および入院受入れ体制を構築した。また各病棟では足柄式看護提供方式を運用し、どの病床でも患者を受け入れるという方針のもとベッドコントロールを行った。また重症度、医療・看護必要度を意識したベッドコントロールにも取り組み、各病棟が看護必要度の基準を満たすよう適切な病床管理を行った。

3 教育体制の充実

平成30年度に作成した「足柄式教育体制」による共有文化の醸成に取り組んだ。スタッフが「足柄式教育体制」を理解しOJTで指導を担える人材となれるよう、フレッシュペア研修を見直し足柄式教育研修として実施した。また、平成30年度に作成した「看護師教育支援ガイド」に基づいてセクションでOJTによる研修の支援計画を実施した。これらの結果、各セクションで「共有」を意識した実践と体制作りが進み、新卒新採用者の離職はなかった。

またeラーニングを活用した学習では、セクションやリンクナース会議、看護補助者研修等において、それぞれの課題に応じた講義動画を選択して、知識の習得や確認をした。この結果eラーニングのアクセス数は昨年度に比べてほぼ倍増し、新人からベテランまで看護実践から看護研究などに幅広く活用できた。

4 魅力ある職場環境づくり

看護職員の確保対策充実のため、看護学生インターンシップの開催、実習環境の整備、就職説明会への参加と学校訪問などに取り組んだ。インターンシップでの看護師のシャドウイングは学生から高い評価を得、就職内定者のうち約半数はインターンシップ参加が就職先決定に影響を与えていた。また臨地実習では、実習目的や学生の到達度のスタッフへの周知、指導日誌の充実と活用を推進して実習環境を整え、教員や学生から高い評価を受けた。

ワークライフバランスの充実を推進するため、働きやすくやりがいを実感できる職場環境の整備に取り組んだ。ストレスチェックの集団分析結果をもとに各セクションが業務改善に取り組み、看護師一人当たりの月平均の超過勤務時間を減らすことができた。また夜勤拘束時間の短縮に向けた14時間夜勤の試行、勤務インターバル確保に向けた取り組みとして、3連続夜勤回数の削減、正循環、2交代夜勤への移行を試みた。

働き方改革推進のひとつとして、職員の意識変革を進めるためにヘルシーワークプレイスの考え方を理解する研修会を開催した。労働安全衛生ガイドライン及びヘルシーワークプレイスの概要と取組みを概ね理解することができ、自分自身の働き方を考えるきっかけとなった。

(5) 看護外来業務

ストーマ外来では、皮膚・排泄ケア認定看護師が中心となり、人工肛門や人工膀胱を持つ患者・家族に対して、日常生活に関わる相談、またトラブルが起きないように予測して対応している。患者が“自分らしさ”を大切にしながら日常生活を送れるためのサポートをしている。

区分 年度	ストーマ外来（人）
平成 29 年度	169
平成 30 年度	214
令和元年度	179

(6) 令和元年度研修・実習実績

院内研修実績

<キャリアラダー ステップ研修>

段階	要素	研 修 名		目的・目標	方 法	人数
ステップⅠ	実践	看護過程Ⅰ		患者を生活者として捉えるために、情報の分類・整理の方法がわかる 指導を受けながらアセスメントの考え方がわかる	講義、GW	16
	管理	メンバーシップ研修		チームメンバーの一人としての自己を振り返り、今後の取組みを見出す	シャドウイング	16
ステップⅡ	実践	看護過程Ⅱ		根拠に基づいた看護過程の展開ができる	事例展開	18
	教育	後輩育成Ⅰ		後輩に関心を持ち、関わるができる	講義、GW	19
	管理	リーダーシップ研修		リーダーシップ能力を養う	シャドウイング	17
ステップⅢ	実践	看護過程Ⅲ		看護実践力を養う	事例展開	7
	教育	後輩育成Ⅱ		後輩のレディネスに応じて関わる能力を養う	講義、GW	11
	管理	問題解決Ⅰ	医療安全	問題解決に向けた基礎的能力を養う 安全な医療を提供するため、医療事故防止に対する知識・技術を高め、組織の一員として医療事故防止における役割がとれる	講義、GW	2
			問題解決・リーダーシップ	問題解決に向けた基礎的能力を養う 看護管理に必要な知識を理解し、実践で活用することができる	講義、GW	2
	倫理研修		看護実践における倫理的問題の解決に向けた基礎能力を養う	講義、事例展開、GW	5	
ステップⅣ	実践／教育／管理	問題解決Ⅱ		看護局内の問題解決を通して問題解決能力を養う 問題解決に多職種を巻き込みながら、取り組むことができる	交流研修、問題解決過程の展開	3
ステップⅤ	実践／教育／管理	問題解決Ⅲ		組織の目標達成に向けて、問題解決の過程を実践し、看護管理能力を養う	交流研修、問題解決過程の展開	0

<役割研修>

研修名	目的・目標	方法	人数
フレッシュペア研修 (足柄式教育研修)	当院の看護師教育支援ガイドに基づき、教育支援体制を理解する 新人看護師教育を行う上での自らの役割を理解する	講義、GW	31
新主任研修	主任看護師の役割を理解し、役割遂行に向けた自己の課題を明らかにする	シャドウイング、GW	3
新看護科長代理研修	看護科長代理の役割を理解し、役割遂行に向けた自己の課題を明らかにする	シャドウイング、GW	5

<新採用者研修>

研修名	目的・目標	方法	人数
新採用看護職員 採用時研修	病院の組織・環境・業務に早く適応できるよう、当院の概要を知る 専門職業人としての自覚を持つ 安全な看護実践のための具体的な方法を学ぶ	講義・演習・GW	16
急変時の対応	急変の前兆に気づき、必要な初期対応がわかる	講義・演習	16
リフレッシュ研修	2ヶ月間の体験を振り返り、気持ちをリフレッシュし、今後への意欲がもてる	グループディスカッション	16

<オープンセミナー>

研修名	開催日	講師	人数 (院内)	人数 (院外)
がんの痛みを考えよう！ ～基礎編～	10月25日	がん性疼痛看護認定看護師 善波いづみ	5	2
がんの痛みを考えよう！ ～薬剤編～	11月22日	がん性疼痛看護認定看護師 丸岡陽子	3	2
がんの痛みを考えよう！ ～総集編～	1月24日	がん性疼痛看護認定看護師 香川仁美	9	2

学会・院外研修参加実績

<学会参加>

学 会 名 (分 野)	開催地	開 催 日	人数
日本クリティカルケア看護学会 学術集会	別府	6月15日、16日	1
日本看護学会 看護教育学術集会	和歌山	8月8日、9日	1
日本地域看護学会 学術集会	横浜	8月17日、18日	1
日本看護学会 ヘルスプロモーション学術集会	長野	9月19日、20日	1
日本母性衛生学会	千葉	10月11日	1
日本手術看護学会	岡山	10月11日、12日	1
日本看護学会 看護管理学術集会	名古屋	10月23日、24日	1
全国自治体病院学会	徳島	10月24日、25日	1
日本死の臨床研究会年次大会	神戸	11月3日、4日	1
日本認知症学会 学術集会(第38回)	東京	11月7日～9日	1
日本看護サミット 2019 訪問看護サミット 2019	神奈川	12月6日	2
日本クリニカルパス学会学術集会	熊本	1月17日、18日	1
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	静岡	2月22日、23日	1

<長期研修派遣>

受 講 分 野	日 程	人数
保健師助産師看護師実習指導者講習会 国際医療福祉大学小田原キャンパス	8月～12月	1
認定看護師教育課程 認知症看護コース 聖路加国際大学 教育センター 生涯教育学部	6月～3月	1
特定行為研修春期入学コース 日本看護協会 看護研修学校	4月～9月	1
家族看護学 CNS コース 東海大学大学院健康科学研究科	(研修中) ～3月	1
認定看護管理者教育課程ファーストレベル 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	4月～9月	1
認定看護管理者教育課程セカンドレベル 神奈川県看護協会	10月～3月	1
認定看護管理者教育課程セカンドレベル 昭和大学看護キャリア開発・研究センター	6月～9月	1
医療安全管理者養成研修 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	10月～1月	1
医療安全管理者養成研修 神奈川県看護協会	9月～10月	1

<神奈川県看護協会>

会場：神奈川県総合医療会館

研 修 名	日 程	人数
看護実践に活かせるフィジカルアセスメント	7月25日	1
在宅から見る退院支援	7月23日	1
学んでみよう災害看護 ～その時あなたはなにができますか～	7月24日	1
高次脳機能障害の理解と生活再生構築に向けた看護	9月24日	1
高齢者支援と認知症患者の看護	8月26日、27日	1
高齢者支援と認知症患者の看護	1月24日、27日	1
インターネット配信研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	8月6日、7日	1
事例から学ぼう褥瘡ケアの実際	1月10日	2
地域と病院をつなぐ外来看護	12月5日	1
教育担当者研修	11月15日、18日	1
看護補助者活用推進研修	6月25日	1
看護補助者活用推進研修	2月13日	1

<神奈川県立病院機構 看護職員研修>

コース名	日 程	会 場	人数
医療安全	6月14日 11月8日	神奈川県立病院機構本部	4
看護倫理・臨床倫理	6月24日 10月21日	神奈川県立病院機構本部	5
人材育成	6月10日 10月18日	神奈川県立病院機構本部	3
問題解決・リーダーシップ	6月17日 10月28日	神奈川県立病院機構本部	2

<神奈川県立病院機構 看護職員交流研修>

場 所	研 修 内 容	日 程	人数
神奈川県立精神医療センター	看護師実務研修	2019年1月～12月	1

<交流研修>

研 修 場 所	研 修 内 容	日 程	人数
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	ステップⅣ研修	8月13日	1
神奈川県立こども医療センター	ステップⅣ研修	9月3日	1
厚木市立病院	看護科長研修	9月24日	1
小田原市立病院	看護科長研修	9月25日	1
秦野赤十字病院	看護科長研修	10月4日	1
東京慈恵医科大学葛飾医療センター	看護科長研修	10月11日	1
厚木市立病院 患者支援センター	看護科長研修	10月29日	1
伊勢原協同病院	看護科長研修	10月29日	1
南足柄市訪問看護ステーション	訪問看護ステーション研修	7～9月 (各1日)	4
足柄上医師会訪問看護ステーション	訪問看護ステーション研修	7～9月 (各1日)	3
小田原医師会訪問看護ステーション	訪問看護ステーション研修	7月～10月 (各1日)	3
訪問看護ファミリー・ホスピス小田原	訪問看護ステーション研修	7～9月 (各1日)	3

<公開授業、施設見学>

研 修 場 所	研 修 内 容	日 程	人数
済生会横浜市東部病院	特定行為業務体制見学	9月13日	2
小田原市立病院	認知症ケア加算体制見学	9月25日	1
秦野赤十字病院	手術室体制見学	10月4日	1

＜その他研修等＞

主 催	研 修 名	日 程	人数
日本看護協会	新たな認定看護師制度に関する説明会	5月22日	1
神奈川ストーマ研究会	第35回神奈川ストーマリハビリテーション講習会	7月13日、 14日、15日	1
日本臨床看護マネジメント学会	重症度、医療・看護必要度院内指導者研修	6月30日	3
公益財団法人かながわ健康財団	神奈川県看護職員認知症対応力向上研修	7月16日、 29日、 8月28日	2
神奈川県	神奈川災害研修	7月26日	2
関東 JPTEC	第53回湘南 JPTEC プロバイダーコース	9月29日	2
神奈川県歯科医師会	医療分野における未病改善のためのオーラルフレイル対応型指導者育成研修会	10月16日	1
日本施設基準管理協会	施設基準読み解きセミナー	10月25日	1
神奈川県看護部長会	地域包括的視点に基づいた創造する医療・介護・福祉の連携と管理をめざして	11月14日	1
神奈川県歯科医師会	医療分野における未病改善のためのオーラルフレイル対応型指導者育成研修会	11月20日	1
神奈川県看護協会	診療報酬改定のポイント	11月29日	3
県 DMAT	DMAT - L 養成研修	12月13日、 14日	2

研修等受入実績

<看護職員交流研修等>

所 属	研 修 内 容	日 程	人数
神奈川県立精神医療センター	看護師実務研修	2018年10月～ 2019年11月	1
神奈川県立精神医療センター	看護師実務研修	2019年4月～ 2020年3月	1

<県西地区インターンシップ>

参加者	小田原高等学校1年生 1名 山北高等学校 3年生 1名
日 程	8月6日～8日 3日間
目 的	・医療現場について学ぶ体験を通して、医療職に魅力を持ち、将来の職業選択につながる ・患者と研修者の安全を守った研修環境を整える
内 容	体験（病棟と手術室）

<高校生インターンシップ>

参加者	新名学園 旭丘高等学校 3年生 3名
日 程	9月～11月（計9日）
目 的	・生徒が自ら職業を学び、実際に職業体験を行い、実社会で学んだことをレポート作成、相互に発表学習をする中で、職業準備（労働観の育成）をおこなう ・実社会での様々な職業を体験することで、その経験とこれまでの学んできた知識の統一を図る
内 容	看護師または看護補助者のシャドウイングおよび一部体験（ベッドメイキング等） 多職種（薬剤師、管理栄養士、放射線技師、臨床検査技師）のシャドウイング

<その他>

主 催 施 設	研 修 名	日 程	人数
神奈川県立平塚看護大学校	臨地実習にむけた専任教員の病院研修	4月24日	1

施設見学等受入実績

<インターンシップ>

	日 程	人数	参加者の在籍校
第1回	8月2日	43	神奈川県立平塚看護大学校、静岡県立看護専門学校、神奈川県立横浜看護専門学校、おだわら看護専門学校、厚木看護専門学校、たまプラーザ看護学校、神奈川県立保健福祉大学
第2回	2月29日	0	中止
第3回	3月23日	0	中止

<病院見学>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1	1	1	2	5	0	0	0	0	0	0	5	15

かもめのたまご計画（就職前支援）開催実績

対象者	当院の就職内定者（自由参加）
日 程	8月1日、3月13日（中止）
目 的	入職前に新入職者同士の顔合わせができ職場環境を知ること、入職に対する不安が軽減する
参加者	第1回（8月1日）：8名
内 容	第1回（8月1日） ・顔合わせ、自己紹介 ・学習支援eラーニング（看護技術、国家試験過去問題集）の紹介 ・スキルラボ（演習室）の紹介 ※12月～1月にかけて、看護師国家試験の模擬試験を通信教育で実施

復職支援研修開催実績

対象者	復職や転職を検討中の方、技術に不安がある方、最新の医療の動向に興味のある方
日 程	9月17日、10月1日（全2回）
参加者	1名
目 的	潜在看護師や転職を考えている看護師が医療の現状を知り、看護技術の再学習を行うことで、復職を前向きに考えてもらう
内 容	講話：1. 医療・看護・福祉の動向 2. 安全対策について 最新の知識、事故の種類と予防策 3. 感染対策について 最新の知識、標準予防策と感染経路別対策、オムツの取り扱い 病院見学：シャドウイング 演習：吸引、静脈穿刺（留置針）、点滴管理（輸液、輸液ポンプ）

2019

– 79 –

10 助産関連業務

助産師は院内助産の実施に伴い、満足度の高いお産ができることを目的とした妊婦健診と保健指導（助産師外来）や母乳育児の支援として母乳育児外来や相談業務を行い、出産前から後まで継続した支援を行っている。

区分 年度	院内助産	助産師 外来	ペア クラス	母乳育児 外来	おっぱい 大好き 倶楽部	産後育児支 援のための 電話訪問	骨盤体操 クラス
平成29年度	44人	470人	67人	102人	12組	21人	8月～開始 33人
平成30年度	53人	565人	66人	134人	16組	※	67人
令和元年度	29人	333人	59人	122人	39組	※	25人

※ 産後2週間目の検診を開始したため電話訪問を中止とした。

1 1 各種活動報告

(1) 感染対策会議（感染管理室）活動報告

院内感染とは医療機関において患者が現疾患と別に新たに得た感染症や職員が医療機関において感染した感染症のことである。当院では、院内感染防止のため①スタンダードプリコーション及び感染経路別予防策の実践②感染情報を共有③感染症発生状況の報告、分析、評価、この3点の考え方を基本とした感染対策を行い、患者・全職員・地域を含めた安全な環境確保を図る視点から感染防止に取り組んでいる。

感染管理室は感染管理室長（副院長・感染制御医師）、感染管理室室長補佐（内科医師・感染制御医師）1名、室員（感染管理認定看護師）1名で構成し活動している。

1. 感染防止対策に関する診療報酬について

感染防止対策加算1・地域連携加算を継続算定し、陽風会高台病院、財団報徳会西湘病院、綾和会間中病院と連携し、合同カンファレンスを4回/年実施した。地域連携加算相互評価では、平塚共済病院を当院が評価し、当院は湘南藤沢徳洲会病院による評価を受け、総合評価は「A:適切に行われている」であった。平成30年度より抗菌薬適正使用支援加算の新設により、抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship team, AST）の活動を開始した。

2. 神奈川県立病院機構感染防止対策会議（4回実施/年）

神奈川県健康医療局保健福祉部県立病院課担当、県立病院機構本部職員と6病院（当院・こども医療センター・精神医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター・神奈川リハビリテーション病院）の感染担当で、感染防止対策の推進に向けて情報共有、感染に関する教育の検討などを行った。

3. 感染対策会議（定例12回実施/年、臨時会議4回実施）

院内感染防止、感染症発生時の措置及び感染対策を推進する組織に関して必要な事項を定める会議である。感染制御チーム（Infection control team, ICT）ミーティングの報告や感染リンクナース会議の報告を受け、当院の方針を決定した。臨時会議ではインフルエンザ対策、新型コロナウイルス感染症対応等について検討した。

4. ICT ミーティング（51回実施/年）・AST ミーティング（51回実施/年）

メンバー構成は、感染管理室長、室長補佐1名、臨床検査技師（感染制御認定臨床微生物検査技師）1名、薬剤師（感染制御認定薬剤師）1名、事務職員1名、室員1名の計6名である。毎週木曜日にミーティングを開催し、血液培養結果検討、耐性菌検出者検討、抗菌薬の適正使用及びケースラウンド、院内ラウンドを実施した。院内感染防止対策マニュアルの改訂、新型インフルエンザ等対策、新型コロナウイルス感染症対策、結核接触者健診、その他の感染対策を検討し、感染対策会議に提案した。

5. その他

	項目		今年度	前年度	備考
①	耐性菌サーベイランス	MRSA（感染患者割合）	1.02	2.50	(延べ入院患者に対する感染患者数×1000)
②		ESBL（感染患者割合）	1.32	2.36	
③	血液培養件数		2121 件	2050 件	
④	血液培養 2 セット率		98.0%	99.1%	
⑤	特定抗菌薬届出提出率		94.1%	96.7%	
⑥	バンコマイシン治療薬物モニタリング (TDM)		25 名	35 名	
⑦	職員インフルエンザワクチン接種率		90%	89%	H30 年度 438 名接種
⑧	院内研修受講者数（延べ人数）		1866 名	1762 名	
⑨	院内研修実施回数		25 回	23 回	
⑩	感染対策便り発行		11 回	12 回	基本は月 1 回の発行

- ・サーベイランスは、①②に加え、厚生労働省院内感染防止対策サーベイランス（JANIS）検査部門・全入院患者部門及び手術部位感染（SSI）部門に継続参加した①②感染率は、新型コロナウイルス感染症対策に関連した入院患者の制限が影響していると考えます。
- ・平成 30 年度より抗菌薬適正使用支援チームが活動しており、前年度に比べて③は増加したが、④が低下した。血液培養 2 セット実施について推進していく。
- ・季節性インフルエンザ対策は、「神奈川県インフルエンザ定点報告数」と院内の入院患者状況から面会者にサージカルマスクの着用を義務付け、「咳エチケット」ポスター掲示等で啓発した。12 月中旬から院内面会禁止とした。2 病棟で感染拡大を認め、1 週間程度の病棟閉鎖を実施した。院内発生患者 23 名、予防内服患者 38 名、職員の予防内服 115 名であった。その後は、感染拡大はなかった。面会禁止に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で継続となった。
- ・結核対策では、3 件の事例に対し、延べ 13 名に接触者健診を実施した。
- ・院内研修では、非常勤職員や変則勤務者などが参加できるように、DVD 研修等を取り入れた。看護職には、e ラーニングを用いて標準予防策の学習を行い、手指衛生の推進を図った。

<院内研修>

主な研修テーマ（一部抜粋）		
新入職者等研修	新型インフルエンザ対策	結核の診断・治療・検査
泌尿器科軟性鏡洗浄手順	院内感染対策について	抗菌薬関連腸炎の診断と治療
肝炎について	針刺し・切創、血液曝露予防	新型コロナウイルス感染症

<院外研修>

施設	研修内容
神奈川県立中井やまゆり園	インフルエンザ・感染性胃腸炎
救急救命士	感染対策の基本

(2) 医療安全推進活動報告

- 医療安全研修は、技術演習、医療機器取り扱いと管理を中心に研修を実施した。全職員の84.5%（前年度83.9 +0.6%）が10ポイントの取得に至った。
- 医療安全マニュアルの見直しを行い、原理原則に基づく安全行動の実施を推進した。今後の課題はアレルギー情報収集と電子カルテでの情報の一元化、説明書・同意書の書式統一の検討、安全マニュアルの整備である。
- 電子カルテシステムダウン時の運用基準を周知し紙運用対応の整備を行った。紙運用書類を扱った経験のない職員が増えていることを踏まえ、書類の使用手順作成と紙運用書類を整備する。
- 患者誤認は前年度の約半数に減少した。H30 年度に患者認証システムが導入され、リストバンド認証による指示の確認が周知された結果と考える。
- 転倒・転落については前年度より 12 件増加した。転倒・転落発生率は0.41%増加、レベル2以上の発生率は0.21%増加した。転倒・転落防止ワーキングを立ち上げ、37の転倒・転落アセスメントスコアの評価項目から、7項目の転倒・転落の有無と関連があるアセスメント項目の抽出を行った。次年度は結果をもとに取り組み、成果を出す。
- 患者に適したベッド周囲環境の整備として、環境整備と離床センサーの電源入れ忘れ防止に努めた。
- せん妄を予防する眠剤の使用法の標準化に取り組んだ。ベンゾジアゼピン系睡眠薬を使用しない薬剤での検討を進め、ベルソムラを使用した不眠時指示の施行を開始した。次年度は効果を評価する。
- 離院・離棟時の対応の周知を図った。各病棟でマニュアルに沿った対応ができるようになった。

① 会議の開催

医療安全管理会議 毎月1回 第4水曜日 / リスクマネジメント会議 毎月1回 第3金曜日に開催
月毎のヒヤリハット・アクシデント報告、医療安全巡回と報告（6月、11月、2月）、事例検討（7月、10月、12月、2月）、医療安全推進ニュースの検討、医療安全マニュアルの見直し、医療安全対策地域連携相互評価の報告、医療安全推進会議及び医療安全ワーキングの報告、医療安全週間開催と実施報告

② 研修活動

	研修区分	対象	内 容	開催回数	参加 延べ人数
1	医療安全研修	全職員	薬品の安全管理	1	55
		全職員	ハミルトン勉強会 呼吸器モードの説明	1	24
		全職員	移乗動作の基本	1	6
		全職員	高機能エアマットレスの取り扱い方法	1	160
		看護補助者	看護補助職員研修	1	42
		医師・看護師	経鼻栄養チューブの挿入と管理	1	40
		全職員	ImSAFERの手順を用いて患者誤認事例を分析し改善策を話し合う研修	1	11
		全職員	JPTC勉強会	1	9
		全職員	2A病棟 ImSAFER分析	1	8
		全職員	急変時シミュレーション	1	16
		全職員	5A病棟 ImSAFER分析	1	12
		全職員	弾性ストッキングの正しい使用方法について	1	31
		医師・看護師	CVカテーテルについて ガイドラインを含めて	1	59
		全職員	フットペダルの正しい使用方法と管理	1	18
		全職員	BLS講習会	1	23
		全職員	BLSシュミレーション	1	39
		全職員	医療倫理について ～患者・家族に寄り添うために～	1	48
		全職員	BLS救急時対応シュミレーション	1	19
		全職員	コンプライアンス研修	1	32
		全職員	血液製剤の取り扱いと注意点 輸血副作用	1	11
		全職員	3A病棟 ImSAFER分析	1	8
		全職員	火災初期対応机上訓練	1	16
		全職員	窒息時の急変時対応 事例検討会	1	13
2	医療安全研修 セクション共同開催	全職員 一部対象限定 看護職員 研修医	エンタビオについて 試食会 ユマニチュード勉強会 褥瘡対策 認知症患者の意思決定支援 事例検討 分娩入院時の対応 心筋シンチ勉強会 内視鏡機器取り扱い 新生児の観察 熱中症 ACLS ドレーンと術後合併症 ネーザルハイフローの取り扱い 内視鏡用手圧迫法 IABP・PCPSの管理 人工肛門造設患者の病態と治療 口腔ケア勉強会等 計40研修	40	810
3	医療安全・感染防止研修	感染症対策委員会活動報告参照			
4	リスクマネジメント会議	会議構成員	リスクマネジメント会議の事例検討	4	63
5	採用時研修 (オリエンテーション)	転入・新採用職員 研修医	転入・新採用職員研修医採用時研修	2	79
		中途採用	中途採用者研修	1	4
6	DVD研修	全職員	医療安全DVD視聴	1	229

③ 医療安全週間（期間：令和元年11月6日～11月12日）

職員の医療安全に対する意識向上と、患者や家族等来院者の医療安全活動への参画を推進するために開催した。

- ・近隣児童生徒の絵画コンクール（応募作品8点）
- ・各部門による医療安全取り組みの展示（テーマ：正しい方法で患者さんを確認します）
- ・参加型イベントは手洗いチェッカーを使用した「正しい手洗い」

④ 令和元年度ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告

神奈川県立病院機構においては、ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの内容に応じて、そのレベルを以下のように設定しており、当院もそれに準じてデータをまとめた。

ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの分類レベル指標

区分	レベル	内 容
ヒヤリ・ハット	レベル0	間違ったことが発生したが、患者には実施されなかった場合
	レベル1	間違ったことが実施したが、患者には変化が生じなかった場合
	レベル2	実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった影響を与えた可能性があり、観察の強化や検査の必要性が生じた場合
	レベル3	a
b		実施された医療又は管理により、患者に予期しなかった若しくは予期していたものを上回る何らかの変化が生じ、濃厚な処置・治療の必要性が生じた場合
アクシデント	レベル4	実施された医療又は管理により、患者の生活に影響する予期しなかった若しくは予期していたものを上回る高度の後遺症が残る可能性が生じた場合
	レベル5	実施された医療又は管理により、予期せず患者が死亡した場合

ア 全体報告数（表1）

レベル0及び1が1,553件で前年度より221件減少し、レベル2以上が482件で前年度より116件（発生率は6.6%）増加した。特にレベル2においては104件増加しており、事象内訳では転倒・転落や軟膏処置等を必要とした褥瘡報告が増加している。アクシデント報告件数はレベル3bの3件であり、いずれも転倒・転落による骨折であった。

表1 インシデント・アクシデント年度別報告数

区分	レベル	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
ヒヤリ・ハット事例	0	303	1,514	285	1,774	273	1,553
	1	1,211		1,489		1,280	
	2	181	204	348	366	452	482
	3a	21		17		27	
アクシデント	3b	2		1		3	
	4	0		0		0	
	5	0		0		0	
合 計		1,718		2,140		2,035	
レベル0.1発生率 ※1		88.1%		82.9%		76.3%	
レベル2以上発生率 ※2		11.9%		17.1%		23.7%	

※1 レベル0, 1以上報告数/全体数

※2 レベル2以上報告数/全体数

イ 事象別事故報告（表2）

前年度と同様、療養上の場面が756件（+91件）37.1%と最も多く、うちその他については291件（+100件）14.3%で前年度より大きく増加した。内訳は軟膏処置等を必要とした褥瘡関連報告が137件と多く課題である。ドレーン・チューブ類使用・管理は507件（－3件）24.9%、転倒・転落は289件（+14件）14.2%であった。

表2 事象別事故報告件数

事象	①令和元年度		②平成30年度		①－② 件数
	件数	構成比	件数	構成比	
指示・情報伝達	40	2.0%	67	3.1%	－27
薬剤（処方・与薬・調剤・製剤管理）	350	17.2%	452	21.1%	－102
注射・点滴	120	5.9%	162	7.6%	－42
内服薬	213	10.5%	254	11.9%	－41
その他	17	0.8%	36	1.7%	－19
輸血	10	0.5%	9	0.4%	1
治療・処置・診察	52	2.6%	84	3.9%	－32
手術	36	1.8%	54	2.5%	－18
麻酔	4	0.2%	3	0.1%	1
その他治療	2	0.1%	2	0.1%	0
処置	9	0.4%	16	0.7%	－7
診察	1	0.0%	9	0.4%	－8
医療用具（機器）使用管理	41	2.0%	25	1.2%	16
ドレーン・チューブ類使用・管理	507	24.9%	510	23.8%	－3
検 査	235	11.5%	256	12.0%	－21
療養上の場面	756	37.1%	665	31.1%	91
転倒・転落	289	14.2%	275	12.9%	14
給食・栄養	176	8.6%	199	9.3%	－23
その他	291	14.3%	191	8.9%	100
その他	44	2.2%	72	3.4%	－28
合 計	2,035	100.0%	2,140	100.0%	－105

ウ 時間帯別事故割合

時間帯別では、8～9時台、次いで10～11時台、12～13時台と午前中から昼にかけて多く、勤務交代や検査・処置、食事時間の移乗や与薬などケアが重なる時間帯である。16時～23時までの事象件数は減少傾向で、今年度より看護補助者夜勤が導入されたことが影響していると考ええる。

(3) クリニカルパス検討会議

平成 30 年度より、電子カルテ運用となり、検討・修正を実施した。
使用実績は、1433 件であった。

令和元年度 クリニカルパス使用実績

診療科 名称	パス名称	件数	診療科 名称	パス名称	件数
総合診療 科	内視鏡的胃粘膜切除・粘膜下層剥離術	27	整形外科	橈骨遠位端骨折	25
	大腸内視鏡・粘膜切除術(1泊2日)	22		鎖骨骨折	14
	大腸内視鏡・粘膜切除術(2泊3日)	16		脊髄腔造影 頸椎 (整形外科)	7
	内視鏡的逆行性胆管膵管造影	6		足関節骨折	9
	腹部血管造影・肝動脈塞栓術	5		頸椎手術(整形外科)	4
	内視鏡下胃瘻造設・交換術	2	泌尿器科	前立腺針生検	77
	内視鏡的大腸粘膜剥離術	2		経尿道的膀胱手術	76
	ラジオ波焼灼術・経皮エタノール注入療法・肝生検	1		経尿道的前立腺切除術	29
	糖尿病2週間教育入院	1		排尿指導	20
	待機の食道静脈瘤結紮術(EVL)	1		局所麻酔下尿管ステント挿入・交換術	15
循環器科	心臓カテーテル検査	85		排尿指導 日帰り	14
	ペースメーカー新規植え込み	18		腰椎麻酔下尿管ステント挿入・交換術	12
	経皮的冠動脈形成術(PCI)	13		前立腺針生検+膀胱鏡	6
	ペースメーカー電池交換	10		結石破碎術	7
外科	成人鼠径ヘルニア根治術(前日) 最新版	102		前立腺全摘出術	3
	大腸癌	48		局所麻酔下尿管ステント挿入・交換術	2
	腹腔鏡下胆嚢摘出術(前日入院) 最新版	43		前立腺生検(膀胱鏡含む) 脊椎麻酔	2
	胃がん	25		腎摘出術	1
	虫垂炎手術(前日入院)	9		前立腺生検(膀胱鏡含む) 全身麻酔	1
	自然気胸	7	神経内科	内視鏡下胃瘻造設・交換術	2
	乳癌手術(前日入院)	7		脳血管撮影	1
	成人鼠径ヘルニア根治術	5	脳神経外 科	腰椎手術(脳神経外科)	27
整形外科	上肢骨折一般(左右なし、XPなし)	51		脊髄腔造影(脳神経外科)1泊2日	26
	大腿骨近位部骨折 観血の整復固定術	95		手根管症候群手術	20
	上肢抜釘術	40		脳血管撮影	19
	大腿骨頸部骨折 人工骨頭術	60		慢性硬膜下血腫当日用	18
	下肢抜釘術(左右なし)	26		頸椎手術(脳神経外科)	7
	腰椎手術(整形外科)	25	産婦人科	産褥クリニカルパス	28
	人工膝関節置換術	43	眼科	白内障手術(PEA+IOL)	94
	脊髄腔造影 腰椎 (整形外科)	21	皮膚科	帯状疱疹	24
	人工股関節置換術	27	集計		1,433

(4) 災害医療対策室

救急医療の現状については、第3章患者の概況「救急患者取扱状況」を参照。
研修・訓練等の取組みについては次のとおりです。

①院内防災訓練

大規模地震の発生を想定したトリアージ訓練及び、実態に則した設定での消防訓練を実施した。
(平成31年4月1日～令和2年3月31日 計6回 参加者延 333名)

②院内実災害対応

台風19号における災害対策本部活動

活動内容:大雨洪水被害を想定し、院内体制の整備、水囊の配置、情報収集、院内巡回等を行う。

③災害時派遣医療チーム(DMAT)活動

・令和2年2月7日、16日 ダイヤモンドプリンセス号における新型コロナウイルス陽性患者搬送業務
DMAT 計2隊(隊員内訳 医師3名、看護師4名、業務調整員3名(延人数))

場所:横浜港大黒埠頭

④DMAT 訓練、研修等

・令和元年6月18日～19日 統括 DMAT 技能維持研修参加 4名

場所:国立病院機構災害医療センター

概要:DMAT 隊員の災害医療の知識・技術の維持、資質の向上を図るため、継続した研修

・令和元年7月25日 令和元年度神奈川県災害時医療救護活動研修会参加 2名

場所:神奈川県総合医療会館

概要:災害時における医療の基礎的な知識や考え方を、実践的な災害対応の研修

・令和元年8月31日 ビッグレスキューかながわ(神奈川県・伊勢原市合同総合防災訓練)

DMAT1隊、DMAT・DMAT-L 混合1隊参加

場所:東海大学医学部附属病院、秦野赤十字病院、平塚市民病院、伊勢原市総合運動公園

概要:現場救護所の運営訓練、DMAT 活動拠点本部の運営訓練、傷病者の搬送訓練

・令和元年9月7日 大規模地震時医療活動訓練 DMAT1 隊参加

場所:東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

概要:首都直下型地震における具体的な応急対策活動に関する DMAT の参集、活動、消防・警察等、他機関と連携した広域医療搬送等実動訓練

・令和元年12月13日～14日 DMAT-L 隊員養成研修 3名受講し修了(医師1名・看護師2名)

・令和2年1月23日 DMAT 自衛隊実機訓練 DMAT1 隊参加

場所:群馬県(相馬原駐屯地)

概要:災害時における患者の広域搬送を自衛隊実機(CH-47)に搭乗し機内での活動訓練

(5) 褥瘡対策会議

褥瘡対策チーム活動

院内褥瘡発生患者における褥瘡対策の課題の 1 つに、患者個々に合わせた体圧分散寝具の選択（エアマットの機能設定等）がある。今年度は、体圧分散寝具（高機能エアマットレス等）の研修会を全 3 回開催した。その結果、褥瘡発生後エアマットレスに変更した事例は、昨年度 29 件から今年度 10 件に減少した。院内発生者の割合は、+0.15%となったが、早期発見（浅い褥瘡が 9 割以上を占める）により、早期介入・治癒につながっている。褥瘡発生増加の背景として、入院数に対する褥瘡危険因子保有者の割合、平均年齢ともに増加傾向がある。

平成 30 年度以降、医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）とスキン・テアの周知により報告が定着した。MDRPU1.3%（前年+0.7%）、スキン・テア 1.8%（前年+1.5%）は、ともに上昇した。令和 2 年度は、各セクションの現状分析をもとに、課題点を見つけ施策立案を行っていく。

褥瘡関連データ

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
褥瘡危険因子保有者数	2,172 名	2,501 名	2,432 名
褥瘡有病者数	211 名	255 名	282 名
院内発生(自重褥瘡)	73 名	81 名	81 名
院外発生	140 名	177 名	123 名
入院数に対する褥瘡危険因子保有者の割合	40.5%	44.6%	46.8%
入院数に対する褥瘡有病者の割合	3.9%	4.6%	4.1%
院内発生者(自重褥瘡)の割合	1.4%	1.4%	1.55%
褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定数	1,009 名	1,003 名	885 名

(6) ボランティア活動報告

5 団体が定期的に活動している

団体名	活動日	活動内容
病院ボランティア会 ランパス	毎週月曜日 13:30～	移動図書、外来本棚整理、病棟患者対応
松田絵手紙の会	第 4 金曜日 14:00～	絵手紙作成
受付介助ボランティア	月～金曜日 (平日のみ)	外来受付介助
写真掲示ボランティア	随時	2 号館渡り廊下に季節の風景写真を掲示
絵本と夢のおはなしボランティ ア	隔週木曜日	大人の絵本の読み聞かせと、スピリチュアルケア師による傾聴

(7) 臨床病理検討会 (CPC)

第63回 CPC 令和2年1月30日 16時00分より 研修室1

総合診療科 高橋 幸大先生 研修医 中原 江梨先生 病理診断科 青木 一郎先生 亀田 陽一先生
インフルエンザ肺炎で入院し、退院調整していたところ突然死した症例

出席者 29名

第64回 CPC 令和2年2月6日 16時00分より 研修室1

総合診療科 岩渕 敬介先生 研修医 井上 真光人先生 病理診断科 奥寺 康司(横浜市大)先生
「意識障害と血圧低下にて入院後、急変し死に至った頸部膿皮症の一例」

出席者 14名

(8) 「医学講座」・「出前講座」

医学講座・出前講座企画運営会議

令和元年度 地域住民対象「医学講座」「出前講座」開催実績

回	日時	テーマ	講師	会場	対象
医学 第34回	6月29日(土) 14:00～16:00	「備えあれば骨元気！ ～人生100歳時代に備える～」 ①「骨・関節の衰えは、寝たきり への危険信号」 ②「転ばぬ先の食事と運動」	病院長 牧田浩行 リハビリテーション室 PT 武田知仁	開成町 町民センター 3階大会議室	市民・町民
医学 第35回	10月10日(木) 14:00～16:00	「口からの健康予防 ～人生100歳時代に備える～」 ①「オーラルフレイル「口の衰 え、放置していませんか？大変な ことになりますよ！」」 ②「未病と生活習慣病予防～しっ かり食べて運動しよう～	歯科口腔外科 大橋伸英 副院長 加藤佳央	南足柄市 文化会館小ホール	市民・町民
出前 第1回	6月24日(月) 10:40～12:00	「子どもの病気や事故への対応に ついて」	地域医療連携室 助産師 佐藤良枝	開成町民センター	開成町ファミリーサポート会員 「まかせて会員・両方会員研修会」
出前 第2回	10月21日(月) 14:00～15:00	「内臓脂肪の悪影響について ～メタボリックシンドロームを理 解しよう～」	副院長 加藤佳央	開成町保健センター	開成町 健診結果配布される町民
出前 第3回	11月18日(月) 10:40～12:00	「子どもの病気や事故への対応に ついて」	地域医療連携室 助産師 佐藤良枝	開成町民センター	開成町ファミリーサポート会員 「まかせて会員・両方会員研修会」
出前 第4回	1月30日(木) 13:30～15:30	シニアセミナー 「オーラルフレイル」	歯科口腔外科 大橋伸英	南足柄市文化会館 大ホール	市内老人会の皆様
出前 第5回	2月21日(金) 10:00～12:00	「がん終末期支援 ～がんと共に家で暮らす～」	在宅訪問看護師 麻生みちる 緩和ケア認定看護師 桐生光代	山北町 健康福祉センター	元気で健康を楽しむ会
出前 第6回	2月25日(火) 14:00～17:00	健康保持増進講習会 「大腸がん検診～がん患者さんの復職 とその環境について～」	消化器内科担当部長 國司洋佑	おだわら市民交流センター 「UMECO」	地区地域の健康づくり関係者、 産業保健関係者、人事労務関係者

第 5 章 研 究 等

論 文 発 表

題 目	発 表 者	備 考
総 合 診 療 科 (内 科)		
「地域基幹病院における在宅療養後方支援制度の活用と在宅療養に関する報告」	高橋幸大、岩渕敬介 日下部明彦、吉江浩一郎 倉上優一、安田優 麻生みちる、鈴木美絵 太田光泰	癌と化学療法 46; 81-83: 2019
「No. 1 序-チーム医療について」	岩渕敬介	臨床栄養 136: 4-8, 2020
「No. 2 患者背景を把握する」	岩渕敬介	臨床栄養 136(2): 156-160, 2020
「No. 3 症候編 (1) バイタルサイン」	岩渕敬介	臨床栄養 136(3): 284-288, 2020
呼 吸 器 内 科		
Phase II study of bevacizumab, cisplatin, and pemetrexed in advanced non-squamous non-small cell lung cancer (NS-NSCLC) with EGFR wild-type.	Murakami S, Saito H Kondo T, Oshita F and Yamada K.	J Exp Ther Oncol 13:131 - 138, 2019
整 形 外 科		
Kienboeck病に対しMetaphyseal Core Decompressionを施行した1例.	境貴史, 瀧上秀威 篠原健太郎, 牧田浩行 坂野裕昭, 稲葉裕	日手会誌 36(2): 186-189, 2019.
検 査 技 術 科		
Clinicopathological Correlation of ARID1A Status With HDAC6 and Its Related Factors in Ovarian Clear Cell Carcinoma	Yano M, Katoh T, Miyazawa Mariko, Miyazawa Masaki, Ogane N Miwa M, Hasegawa K Narahara H, Yasuda M	Sci Rep. 2019; 9: 2397

学 会 発 表

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
総 合 診 療 科 (内 科)			
「急性胆管炎の受診契機に関する検討」	田中 聡	2019年 5月9～11日	第105回 日本消化器病学会総会
食事療法が治療の一助となった好酸球性腸炎の4例	大石梨津子	2019年 11月21～24日	第27回 日本消化器関連学会週間 (JDDW2019)
呼 吸 器 内 科			
et.al. Long-term results of a randomized phase II trial of CODE or AP after chemoradiotherapy for LD-SCLC (JCOG1011)	Sekine I, Oshita F	2019年7月	第17回日本臨床腫瘍学会総会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
et.al. Long-term Results of a Randomized Phase II Trial of CODE or Amrubicin plus Cisplatin Chemotherapy after Chemoradiotherapy for Limited-disease Small Cell Lung Cancer (JCOG1011).	Sekine I, Oshita F	27 Sep, 2019	ESMO 2019 Congress,
循 環 器 内 科			
胸背部痛を主訴に来院し、脊髄梗塞に非ST上昇型急性心筋梗塞を合併したと考えられた一例.	太田慶介	名古屋 2019年9月	日本心臓病学会
ヘルペス脳炎に続発した徐脈発作の一例.	関井隆介	東京 2019年12月	日本内科学会 第565回関東地方会
外 科			
小腸未分化癌の一例	高橋大志, 青山徹 沼田正勝, 玉川洋 菅原海, 串田好宏 高田賢, 鈴木喜裕 米山克也, 益田宗孝 利野靖	2019年 5月16日	癌免疫外科研究会
:癒着性腸閉塞の一例	池松真人, 鈴木喜裕, 三品善之, 森田順也 高田賢	2019年 6月4日	足柄上臨床医会
:Clinical features and prognosis of primary tracheal cancer at our institution' s experience.	Y, Mishina, H, Arai S, Nakamura, H, Masuda K, Shiino, K, Okudela T Iwasawa, M Tajiri M Masuda	2019 Barcelona, Spain	2019 World Conference on Lung Cancer September 7-10,
上行結腸癌同時肝転移症例に対して術中RFAを施行した一例	龍崎理誠, 池松真人 浅松達也, 田中玲於奈 三品善之, 森田順也 高田賢, 鈴木喜裕	2019年 10月2日	足柄上臨床医会
整 形 外 科			
人工膝関節置換術前後におけるMidflexion instablityの変化について	篠原 健太郎, 牧田 浩行, 瀧上 秀威, 中村 祐之, 近藤 直也, 境 貴史, 名取 修平	横浜 2019年4月7日	横浜手術手技研究会
尺骨可塑性変形に対し尺骨矯正骨切り術を施行した小児橈骨頭前方脱臼の3例	瀧上秀威, 牧田浩行 篠原健太郎, 中村祐之 近藤直也, 境貴史 名取修平	札幌 2019年4月18日	第62回 日本手外科学会学術集会
人工膝関節置換術後における柴苓湯の下肢浮腫に対する有効性	篠原健太郎、牧田浩行 瀧上秀威、中村祐之 近藤直也、境貴史 名取修平	横浜 2019年5月12日	第92回 日本整形外科学会学術総会
人工膝関節置換術後における柴苓湯の下肢浮腫に対する有効性	篠原健太郎、牧田浩行 瀧上秀威、中村祐之 近藤直也、境貴史 名取修平	横浜 2019年8月3日	納涼談話会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会 ・ 講 演 会 等
Results of total hip arthroplasties in patients aged 75 years or older. 15eme Association Franco-Japonaise d' Orthopédie,	Makita H, Ishida T Inaba Y	Lyon. France, 2019. 09. 14.	15eme Association Franco-Japonaise d' Orthopédie
Bipolar hemiarthroplasty through the anterior approach. - Evaluation of the learning curve-	Ishida T, Kajiwar T Makita H	Lyon. France, 2019. 09. 14.	15eme Association Franco-Japonaise d' Orthopédie
人工膝関節置換術患者における膝関節筋力の術後JKOMへの影響	三澤香織, 篠原健太郎 新井昌行, 米田富男 牧田浩行	徳島 2019年10月24日	第58回 全国自治体病院学会
AMIS - THAによる股関節外転筋力・膝関節伸展筋力の経時的変化 - 術前、術後1ヵ月、3ヵ月、6ヵ月の比較 -	新井昌行, 三澤香織 石田 崇, 牧田浩行	宮崎 2019年10月26日	第46回 日本股関節学会
Modern Cementing Technique ; 寛骨臼 & 大腿	牧田浩行	宮崎 2019年11月26日	第46回 日本股関節学会 ハンズオンセミナー
高齢者における人工膝関節置換術-術後の活動性と合併症発生頻度	倉兼猛, 牧田浩行 瀧上秀威, 篠原健太郎 中村祐之, 上野晃寛 境貴史	福岡 2020年2月21日	第50回 日本人工関節学会
CS型人工膝関節置換術における術中動作解析と不安定性の評価	篠原健太郎, 牧田浩行 瀧上秀威, 中村祐之 上野晃寛, 境貴史 倉兼猛	福岡 2020年2月21日	第50回 日本人工関節学会
セメントの基礎知識・安全使用	牧田浩行	福岡 2020年2月22日	第50回 日本人工関節学会 ハンズオンセミナー
脳 神 経 外 科			
当院における脊髄刺激療法の取り組み	稲垣 浩、田中 貴大 濱田 幸一	札幌 2019年6月	第34回 日本脊髄外科学会学術集会
痙縮治療導入時の課題	濱田幸一、波良勝裕 田中貴大、稲垣浩	大阪 2019年10月	第42回 日本脳神経外科学会
放 射 線 技 術 科			
冠動脈造影における3Dシェーマ画像システムの有用性の検討	岩佐 脩	徳島 2019年10月25日	第58回 全国自治体病院学会
リハビリテーション室			
人工膝関節置換術患者における膝関節筋力の術後JKOMへの影響	三澤香織, 篠原健太郎 新井昌行, 米田富男 牧田浩行	徳島 2019年10月24日	第58回 全国自治体病院学会
AMIS - THAによる股関節外転筋力・膝関節伸展筋力の経時的変化 - 術前、術後1ヵ月、3ヵ月、6ヵ月の比較 -	新井昌行, 三澤香織 石田 崇, 牧田浩行	宮崎 2019年10月26日	第46回 日本股関節学会
検 査 技 術 科			
子宮内膜癌における Cystathionine gamma-lyase (CTH) 発現の意義	大金直樹、矢野光剛 藪野彰、加藤智美 嶋志田伸吾、亀田陽一 長谷川幸清、安田政実	東京 2019年5月10日	第108回 日本病理学会総会

題 目	発 表 者	年 月 日	学 会・講 演 会 等
現行のgradeとp53の免疫組織化学の組み合わせによる、子宮体部類内膜癌の新たな層別化	矢野光剛、伊藤梢絵 藪野彰、加藤智美 大金直樹、宮澤麻里子 宮澤昌樹、長谷川幸清 檜原久司、安田政実	東京 2019年5月10日	第108回 日本病理学会総会
卵巣明細胞癌におけるARID1AとHDAC6の相関	矢野光剛、伊藤梢絵 三輪真唯子、加藤智美 宮澤麻里子、宮澤昌樹 大金直樹、長谷川幸清 檜原久司、安田政実	東京 2019年5月10日	第108回 日本病理学会総会
原発不明頭頸部/中咽頭癌における細胞診的アプローチ 一例報告と今後の展望	加藤智美、浜田芽衣 目黒葉子、扇田智彦 細沼佑介、菅野恵士 鎌倉靖夫、大金直樹 中平光彦、安田政実	東京 2019年6月9日	第60回 日本臨床細胞学会総会 (春期大会)
看 護 局			
新聞形式を用いたデジタルアーカイブ教材の開発計画 ～二次救急看護師のための研修以外での人材育成を実現する～	生田正美 松葉龍一、鈴木克明 喜多敏博（熊本大学教授システム学研究センター）	2019年9月8日	日本教育工学会 2019年秋季全国大会
ストレスチェック集団分析をふまえた職場環境改善の取り組み	田中純子	2019年10月16日	第38回 神奈川県病院学会
看護教育科における業務の可視化と共有による業務効率性の向上	曾我輝之、遠藤泰子 奥野令子、岸ひろみ	2019年10月16日	第38回 神奈川県病院学会
Work shop:Oncology Nursing Newman's Caring partnership with a daughter and her father in turmoil in a palliative care unit	Tomoko Miyahara	2019年10月21日	Nursing & Healthcare Summit
多職種協働による入院時支援体制の構築～組織変革プロセスモデルの検証～	丹伊田聖子、中村智恵美	2019年 10月24日、25日	第58回 全国自治体病院学会
高齢者の早期退院を支援する～退院後訪問を行って～	鈴木美絵、麻生みちる	2019年 10月24日、25日	第58回 全国自治体病院学会
「DNAR」指示に対する看護師の悩み・困難感	山口ひろみ	2019年 11月3日、4日	第43回 日本死の臨床研究会年次大会
エリア別看護提供方式による転倒転落防止の取り組み	ハツ橋のぞみ	2020年2月22日	第21回 神奈川県看護教育フォーラム

講 演

題 目	発 表 者	年 月 日	研 修・講 演 会 名
総 合 診 療 科(内科)			
足柄上病院における在宅療養後方支援制度の活用に関する報告	高橋幸大	2019年4月16日	足柄上医師会学術講演会
小 児 科			
全身性点状出血を主訴に受診したウイルス感染の小児2例	青木理加	2020年2月17日	小田原小児科医会 症例検討会

題 目	発 表 者	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
整 形 外 科			
骨・関節の衰えは寝たきりへの危険信号	牧田浩行	開成町 2019年6月29日	医学講座
インプラント選択（セメント）	牧田浩行	福岡 2019年9月28日	Zimmer-Biomet Hip Symposium
高位脛骨骨切り術について Opening wedge high tibial osteotomy	篠原健太郎	2019年9月30日	第10回 足柄地区整形外科研究会
高位脛骨骨切り術について	篠原健太郎	2019年10月1日	足柄上臨床医会
県西地域における医療の現状と課題 ー神奈川県立足柄上病院の取り組みー	牧田浩行	横浜市 2019年10月4日	地域医療を考える会
ナビゲーションシステムを用いた人工 膝関節置換術	篠原健太郎	2019年10月30日	湘南西部リウマチ性疾患症例検 討会
地域包括ケアシステムにおける足柄上 病院の取り組み	牧田浩行	松田町 2019年11月5日	地域医療懇話会
高齢者における人工膝関節置換術 - 術後の活動性と合併症発生頻度-	倉 兼 猛	2020年1月20日	第11回 足柄地区整形外科研究会
DXA導入による骨粗鬆症治療	瀧上秀威	2020年2月13日	第2回 足柄地区骨粗鬆症治療連携検討会
脳 神 経 外 科			
痙攣に対する治療戦略	濱田幸一 波良勝裕 田中貴大 稲垣浩	2019年10月1日	足柄上医師会合同研究会 足柄上病院
皮 膚 科			
帯状疱疹	北川太郎	2019年10月31日	令和1年度保健医療セミナー 足柄上合同庁舎
検 査 技 術 科			
細胞診における免疫染色の可能性	大金直樹	横浜市 2019年8月25日	第77回細胞検査士教育セミナー 記念講演
細胞診における免疫染色の可能性	大金直樹	大阪市 2019年9月8日	第78回細胞検査士教育セミナー 記念講演

研修会主催

研 修 名	担 当 者	年 月 日
整 形 外 科		
第7回足柄上地区リウマチ懇話会	牧田浩行	2019年7月11日
第10回足柄地区整形外科研究会	牧田浩行	2019年9月30日
第11回足柄地区整形外科研究会	牧田浩行	2020年1月20日
第2回足柄地区骨粗鬆症治療連携検討会	牧田浩行	2020年2月13日

講 師 等

内 容	講 師 名	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
小 児 科			
講師	青木理加	2019年6月16日	新生児蘇生法（NCPR）講習会Sコース
講師	青木理加	2019年9月29日	新生児蘇生法（NCPR）講習会Bコース
講師	青木理加	2019年6月20日	新生児の異常と初期対応について①
講師	青木理加	2019年7月12日	新生児の異常と初期対応について②
看 護 局			
講師	藤澤なお子	2019年6月20日	神奈川県看護協会 認定看護管理者養成課程ファーストレベル 人材管理Ⅰ 労務管理の基礎知識
講師	藤澤なお子	2019年 11月22日、28日 12月10日	神奈川県衛生学園看護学科 看護マネジメント
講師	藤澤なお子	2020年1月20日	神奈川県看護協会 認定看護管理者養成課程セカンドレベル 人材管理Ⅱ 人事・労務管理
助言者	向出哉美	2019年 6月14日、11月8日	神奈川県立病院機構看護職員研修 「医療安全」
助言者	石井奈穂子	2019年 6月10日、10月18日	神奈川県立病院機構看護職員研修 「人材育成」
講師	佐藤良枝	2019年 6月24日、11月18日	社会福祉法人青い鳥子育て事業部 開成町ファミリー・サポートセンター 「まかせて会員・両方会員研修会」 「病気や事故への対応について」
講師	佐藤良枝	2019年7月8日	静岡県立看護専門学校 「助産管理」

内 容	講 師 名	年 月 日	研 修・講 演 会 名
非常勤講師	佐藤良枝	2019年4月 ～2020年3月	北里大学看護学部 助産学実習
講師	宮原知子	2020年1月31日	公立学校共済組合関東中央病院 がん看護 ニューマン理論について
非常勤講師	宮原知子	2019年6月18日	横浜市立大学大学院 がん看護学特講Ⅰ がん看護に関する理論④ 全体性のパラダイムに基づく理論の理解と事例への適用 マーガレット・ニューマン理論
助言者	宮原知子	2019年 6月9日、7月28日 9月15日、11月24日 2020年 1月12日、3月1日	NP0法人ニューマン理論・研究・実践研究会 プレプラクシス マーガレット・ニューマン 変容を生み出すナースの寄り添い 看護が創りだすちがいがい学習会
査読	宮原知子	2019年 8月～9月	日本がん看護学会
講師	吉田郁子	2020年 2月3日	神奈川県看護協会 業務委員会研修会 「ユマニチュード®を活用した医療と看護の実践 について」～心をつなぐケア～
講師	城所かよ子	2020年 2月3日	神奈川県看護協会 業務委員会研修会 「ユマニチュード®を活用した医療と看護の実践 について」～心をつなぐケア～
講師	生田正美	2019年 5月9日、6月17日 7月8日	たまプラーザ看護学校 災害看護学
講師	遠藤泰子	2019年4月24日	神奈川県看護協会 訪問看護師養成講習会 感染管理
講師	遠藤泰子	2019年8月23日	医療法人社団敬仁会 介護老人保健施設“悠久” 「感染管理」～感染管理を基本から学ぶ～
講師	遠藤泰子	2019年9月11日	社会福祉法人 積善会 ルビーホーム 感染症拡大を防ぐため、日常生活でできる対策方法について学ぶ
アドバイザー	遠藤泰子	2019年 9月3日、11月18日	日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 神奈川ワーキンググループ 感染管理のポイント「自施設の手順書の見直しと作成」
講師	福田里美	2019年 11月13日、27日	小田原市消防 「感染防止対策について」
講師	福田里美	2019年12月6日	神奈川県立中井やまゆり園 「感染症の予防」

内 容	講 師 名	年 月 日	研 修 ・ 講 演 会 名
講師	山口ひろみ	2019年 5月23日、6月14日 9月4日、11月21日 12月18日 2020年2月7日	足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター 看取りの学習会
講師	山口ひろみ	2019年9月12日	第一三共株式会社 がん疼痛緩和ケア勉強会in秦野 終末期のせん妄の看護
講師	曾我輝之	2019年 5月23日、6月14日 9月4日、11月21日 12月18日 2020年2月7日	足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター 看取りの学習会
助言者	曾我輝之	2019年 6月24日、10月21日	神奈川県立病院機構 看護職員研修「看護倫理・臨床倫理」
講師	曾我輝之	2019年10月5日	富士フイルム生活協同組合 アドバンスケアプランニング ～看取りと人生会議について～
講師	村松良子	2019年 9月4日、18日	神奈川県立平塚看護大学校 発達看護論Ⅳ 「受療が必要な高齢者の看護、皮膚障害」
講師	村松良子	2019年11月8日	足柄上病院 地域連絡会 「褥瘡対策～当院の状況を踏まえて」
講師	善波いづみ	2020年2月7日	第8回神奈川県西部癌治療研究会 「サポート体制の乏しい高齢がん患者の意思決定 支援」

動 画 ・ 教 科 書

内 容	担当者	年月日
整 形 外 科		
THA Expert, Dall approach セメント人工関節 (THA) e-casebook LIVE, Heart Organization, https://www.e-casebook.com/watch?v=0c561f14-7660-4873-bde8-f2a65a23eabb ,	牧田浩行	2020年2月19日

執 筆 ・ マスコミ

内 容	担 当 者	年 月 日
看 護 局		
KANAGAWA看護だより 特集「ユマニチュード」の実践	城所かよ子	第188号 2019年 9 月
日本統合医療学会誌 第12 巻第1・2 号 (2019) 全体論のパラダイムに準拠するMargaret Newman の理論： 疾病と非疾病を合一化した健康ならびにケアリングパートナーシップに基 づく実践と研究事例紹介	宮原知子	
がん看護 Margaret Newmanの健康の理論に導かれたとき, あなたのがん看 護実践はさらに開かれる がん患者・家族とのケアリングパートナーシップを体験しよう(第6回) 4巻6号 Page595-598(2019.07) Newman理論に導かれた看護実践の根底に流れる倫理観 徳の倫理(解説)	宮原知子	

特 許

内 容	発 明 者	特 許 番 号	登 録 日
呼 吸 器 内 科			
上皮間葉系転換に着目した早期肺線癌悪性 度診断マーカーの利用	岡山明子、堀内弥生 平野 久、宮城洋平 尾下文浩、他	特許第6555511号	2019年7月19日